

目 次

目 次	1
I. 2018 (平成30) 年度の主な活動	3
*2018 (平成30) 年度入館者一覧	4
II. 資料の収集・利用	5
II-1 資料の収集	5
1) 受 贈	5
2) 寄 託	5
II-2 資料の利用	6
1) 貸 与	6
2) その他	6
III. 展示活動	7
III-1 総合展示	7
1) <京の歴史>ゾーン	7
2) <京のまつり>ゾーン	9
3) <京の至宝と文化>ゾーン	14
4) 3階展示室	26
5) ぶんぱく京都講座	28
III-2 特別展示	29
*2018(平成30) 年度特別展一覧	36
III-3 映 画	38
1) 常設上映	38
2) 特別企画・共催事業	39
3) 映像ギャラリー常設展示	42
III-4 その他	42
III-5 京都学・歴彩館における展示	43
IV. 調査研究活動	45
IV-1 学芸員の活動	45
1) 研 究	45
2) 出講・委嘱	45
3) 業 績	45
V. 普及活動	49
V-1 出版物	49
1) 研究紀要『朱雀』	49
2) 年報	49
3) 展覧会図録	49
V-2 音楽会	50
V-3 京都アートフリーマーケット	51
V-4 開館30周年記念イベント	51
V-5 学習普及外部連携室	52
1) ボランティア	52
2) 「ぶんぱく子ども教室」事業	52

3) 団体見学案内	53
4) 生き方探求チャレンジ体験	53
V-6 博物館実習	54
V-7 資料・情報公開	54
1) 資料閲覧室	54
2) ホームページによる広報とコンテンツの提供	54
V-8 外部連携活動	55
1) 他館との連携	55
2) 京都府内の学校との連携事業	55
3) 地域との連携	55
V-9 京都文化博物館友の会	57
1) 会 員	57
2) 事業概要	58
V-10 文化財保護基金室	59
1) 貸付け事業	59
2) 文化財に関する巡回よろず相談	59
3) 文化財保護の啓発普及	59
VI. ギャラリー事業	60
VI-1 5・6階展示室	60
1) 京都文化財団展示室運営委員会	60
2) 美術・工芸作家の利用	60
3) 生涯学習的発表期間の利用	61
4) 一般の利用	63
VI-2 別館ホール	63
VII. 管理・運営	65
VII-1 組織と職員	65
1) 組 織	65
2) 京都文化財団	65
3) 京都文化博物館	66
VII-2 施 設	67
1) 本館関係	67
2) 別館関係	67
VII-3 館内店舗	70
1) ろうじ店舗	70
2) 別館店舗一覧	70
3) 博和会・ろうじ行事	70
VIII. 2018(平成30)年度のあゆみ	71

※本文および表中の敬称は、一部略させていただいた。

I 2018(平成30)年度の 主な活動

昭和63年10月1日に開館して以来、京都府京都文化博物館は「平成」とともに歩みを進めてきた。平成30年には、開館30周年記念事業として、2つの特別展「華ひらく皇室文化展」「北野天満宮 信仰と名宝」を開催するとともに、当館の前身のひとつといえる平安博物館を回顧する企画展示を行った。あわせて、歌舞伎俳優・片岡秀太郎さんの特別講演会や落語会など多彩な記念イベントを開催した。当館に入店されている店舗で作る「ろうじ店舗博和会」も記念事業に取り組み、ビンゴキャンペーンの実施、古本市、陶器市、骨董品市などで30周年を盛り上げていただいた。

博物館の30回目の誕生日である10月1日は「華ひらく皇室文化展」の開会式に当たったため、開館30周年を祝して開会式会場で当館の歩みを回顧するポスターを展示するとともに、京都市立芸術大学卒業生による弦楽四重奏の演奏、記念グッズの配布などを行った。ポスター展示は、10月1日をはさんで約1か月にわたり本館1階ホール及び2階コネクションホールでも行い、入館者や関係者の皆さんにご好評をいただいた。「華ひらく皇室文化展」については、皇室に特別な注目が集まっていた時期に開催できたこと、彬子女王殿下のご講演をいただいたこともあり、印象深い展覧会となった。

こうしたイベントのほか、オリジナルコーヒーやふせん、マスキングテープなど知恵を絞ったオリジナルグッズを開発、販売した。さらに、これまで発行してきた年報のデジタル・アーカイブ化などを行った。

この項の結びとして、30周年を迎えるに当たり当館ホームページに掲載した挨拶文を再掲し記録にとどめ、これまで当館を支えていただいた府民の皆様、国内外から訪れていただいた多くの利用者の皆様に、改めて心からの感謝を表したい。



30周年事業記念ポスター展示

おかげさまで、京都府京都文化博物館は開館30周年を迎えます。これも府民の皆様、利用者の皆様のご愛顧とご指導の賜物と存じ、当館30年の歩みを支えていただいた全ての皆様に心から感謝申し上げます。

当館は昭和63年(1988)10月に、京都の歴史と文化をわかりやすく紹介する総合的な文化拠点として開館しました。京都の長い歴史を見守ってきた三条通、そのランドマークである旧日本銀行京都支店という明治の名建築を別館として擁し、歴史、考古学や民族文化、美術や映画・アニメ、さらには音楽と、京都に関わる文化芸術を学び、楽しんでいただく博物館として活動してきました。

平成23年(2011)には大規模なリニューアルを行い、多彩な特別展のほか、総合展として祇園祭の懸装品など貴重な品々を常設展示するなど、京都文化を多面的でユニークな視点でとらえる「ぶんぱく」ならではの企画の充実に努めてきました。また当館自慢のフィルムシアターでは、京都ゆかりの名画はもちろん、最新の映画や海外の映画を上映する機会を増やすなど、映画ファンや関係者が交流する映像文化の拠点を目指して取り組んでいます。

今後とも次の30年に向けて京都の文化芸術の創造・継承を使命とする博物館の未来像を描きながら、利用者の皆様、ボランティアや地域の皆様、日頃ご協力をいただいている関係機関、府内の学校や他の博物館・美術館等の皆様とともに成長していけるよう、さらなる努力を行いたいと考えていますので、ろうじ店舗も含め、京都文化博物館に対する皆様のさらなるご支援、叱咤激励のほど、よろしく願いいたします。

*2018(平成30)年度入館者一覧

年 月	総合展			特別展			計			ギャラリー				ろうじ 店舗	総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計		
2018.4	2,384	2,769	5,153	15,696	13,709	29,405	18,080	16,478	34,558	4,629	4,203	9,217	18,049	15,522	68,129
5	2,749	3,097	5,846	7,485	3,191	10,676	10,234	6,288	16,522	2,391	6,579	9,711	18,681	11,709	46,912
6	2,600	3,282	5,882	8,423	4,754	13,177	11,023	8,036	19,059	6,445	2,595	26,886	35,926	11,419	66,404
7	4,177	2,278	6,455	7,264	1,239	8,503	11,441	3,517	14,958	709	4,815	21,538	27,062	12,806	54,826
8	3,814	3,786	7,600	10,454	1,776	12,230	14,268	5,562	19,830	6,665	3,821	10,976	21,462	13,340	54,632
9	2,329	3,454	5,783	7,011	1,761	8,772	9,340	5,215	14,555	4,846	1,096	46,955	52,897	10,203	77,655
10	2,154	3,203	5,357	9,728	11,225	20,953	11,882	14,428	26,310	4,412	7,790	6,565	18,767	13,959	59,036
11	1,589	3,808	5,397	9,338	15,458	24,796	10,927	19,266	30,193	2,063	14,419	9,317	25,799	16,730	72,722
12	2,904	3,462	6,366	0	0	0	2,904	3,462	6,366	1,673	4,407	9,529	15,609	9,698	31,673
2019.1	3,735	3,239	6,974	2,632	29,930	32,562	6,367	33,169	39,536	563	3,579	40,903	45,045	7,892	92,473
2	3,162	4,236	7,398	2,785	13,661	16,446	5,947	17,897	23,844	1,463	6,331	5,724	13,518	10,505	47,867
3	2,300	3,702	6,002	9,839	8,633	18,472	12,139	12,335	24,474	3,962	3,754	42,598	50,314	14,090	88,878
年度計	33,897	40,316	74,213	90,655	105,337	195,992	124,552	145,653	270,205	39,821	63,389	239,919	343,129	147,873	761,207
1日平均 (総309日) (特223日)	110	130	240	407	472	879	403	471	874						



「華ひらく皇室文化—明治宮廷を彩る技と美」会場風景



「北野天満宮 信仰と名宝—天神さんの源流—」会場風景

Ⅱ 資料の収集・利用

当館の所管資料は、「館資料」と「管理資料」の二種に大別される。館資料は、埋蔵文化財の発掘調査で出土した考古資料を中心とする当館の所蔵・寄託品で、他に若干の絵画資料や歴史資料などを含む。対して管理資料とは、京都府立京都学・歴史館(旧京都府立総合資料館)所蔵・寄託資料のうち、当館が管理を委託されている美術工芸、歴史民俗資料等の文化資料(博物館資料)をいう。これらの管理資料については、当館設立以来その収集、管理、展示公開業務を総合資料館(現京都学・歴史館)より委託されている。同館において資料を管理しつつ、当館および京都学・歴史館の両館において展示公開するとともに、収集や利用等についての業務を当館で行っている。

2018年度末時点での管理資料は53,858点、寄託資料が1,015点、一時保管資料が49点であった。

Ⅱ-1 資料の収集

1) 受 贈

【管理資料】

分 野	作 者	資 料 名	点 数
染 織	朝倉美津子	「翠明」	1
漆 芸	冬木偉沙夫	「いざない天女幼想」ほか	2
染 織	伊砂 利彦	「山湖落日」ほか	3
日本画	—	「也阿弥ホテル」	1
歴 史	—	「御懇之御書(二巻之内)」ほか	16
陶 芸	村田 陶苑	「陶彫 軍鶏」ほか	30
陶 芸	木村 盛和	「天目釉皿」ほか	13
陶 芸	西村宗三郎	西村宗三郎一件資料	1
染 織	朝倉美津子	「Continuum and Difference」	3
日本画	田能村直入	「君子造愛帖」ほか	6
日本画	鈴木 松年	「鬼の念仏・座頭」	1
日本画、書、歴史、風俗	—	狩野安洪「和歌三神像」ほか	155
日本画	藤原 敏行	「幽深」	1
日本画	山口 華楊	「葉桜 大下絵」ほか	8
日本画	由里本 出	「海の風」ほか	2
日本画	幸田 暁治	「日向の兎と木陰」ほか	4
洋 画	中原史雄	「東風緑彩」	1

小計 248点

2) 寄 託

種 別	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	小 計
館蔵資料	日本画	10件 11点	古文書	21件 22点	典 籍	20件 233点	絵 図	19件 1274点	複製模本	1件 1点	96件 2145点
	貴重遺物	14件 501点	一般遺物	2件 6点	複製模型	3件 3点	参考資料	1件 1点	歴 史	5件 93点	
管理資料	日本画	8件 26点	陶 器	1件 89点	民 俗	3件 221点	武 具	1件 4点	染 織	2件 675点	15件 1015点

II - 2 資料の利用

1) 貸与

【館蔵資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
考古	西賀茂瓦窯出土軒瓦	2	向日市教育委員会	常設展
考古	平安京左京三条三坊十一町出土大甕	2	備前市教育委員会	備前市埋蔵文化財管理センター企画展
考古	石作・小塩窯出土資料	47箱	古代学協会	報告書作成など
考古	広隆寺旧境内出土資料	14	京都市考古資料館	企画展「京都の飛鳥・白鳳寺院」

【管理資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
日本画	野々内良樹「緑映」	1	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓接遇のため
日本画	入江西一郎「竹取物語」(「京の絵本」原画)ほか	36	浜松市秋野不矩美術館	展覧会「絵本にみる日本画」に出品のため
日本画	幸野樸嶺「山桜に群鳥図」ほか	2	京都市学校歴史博物館	展覧会「明治150年記念 京都画壇の明治」に出品のため
洋画	中原史雄「或る風色の残像 96-7」	1	中原史雄	展覧会「引き継がれるもの 中原史雄と絵画が語る20年」に出品のため
日本画	鈴木松年「八岐の大蛇退治図」	1	横須賀美術館	展覧会「集え！英雄豪傑たち展」に出品のため
陶芸	伊東慶「湖映」ほか	10	森田隆司(作家遺族)	展覧会「伊東慶遺作展」に出品のため
日本画	鹿見良陌「気」 野々内良樹「緑映」	2	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓接遇のため
日本画	七卿落図屏風	1	東京藝術大学大学美術館	展覧会「西郷どん」に出品のため
郷土玩具	「多度神社の弓矢」ほか	28	三重県総合博物館	展覧会「おもちゃ大好き！～郷土玩具とおもちゃの歴史～」に出品のため
日本画	中町力「あまのはしだて」ほか	7	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課	府民ギャラリー事業二役室展示のため
日本画	鈴木松年「見返り幽霊」ほか	3	香雪美術館	展覧会「鈴木松年—今蕭白と呼ばれた男」に出品のため
日本画	三橋節子「陶器登り窯」ほか	3	大津市長等創作展示館・三橋節子美術館	展覧会「絶筆・余呉の天女～辞世の画」に出品のため
日本画	横山華山「富士山図」ほか	5	東京ステーションギャラリー、宮城県美術館	展覧会「横山華山」に出品のため
日本画	来野あぢさ「久美浜湾」ほか	7	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課	府民ギャラリー事業二役室展示のため
日本画	広田多津「おしろい」ほか	2	京都市学校歴史博物館	展覧会「開館20周年記念 画題で見る 近代の日本画表現」に出品のため
日本画	木下章「光悦寺の秋」	1	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓接遇のため
郷土玩具	伏見人形「布袋」	7	京都国立博物館	展覧会「京のかたな」に出品のため
日本画	秋野不矩「ヴィシヌブル寺院」	1	浜松市秋野不矩美術館、田辺市立美術館	展覧会「秋野不矩—あふれる生命の輝き」に出品のため
日本画	復元コロタイプ複製 尾形光琳筆風神雷神図、酒井抱一筆夏草草図屏風	1	尾形光琳筆「風神雷神図屏風」復元複製里帰り実行委員会	「ジャポニズム2018」の一環「コロタイプ複製による日本文化・美術の紹介」事業に出品のため
日本画	久保嶺爾「清風くつわ池」	1	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓接遇のため
風俗	黒漆塗紋時絵茶弁当	1	一般財団法人今日庵 茶道資料室	展覧会「旅する茶道具」に出品のため
漆芸	堂本漆軒「百合花色紙短冊箱」ほか	3	京都府立堂本印象美術館	展覧会「漆軒と印象」に出品のため
日本画	幸野樸嶺「次郎左衛門雛之図」ほか	6	笠岡市立竹橋美術館	展覧会「幸野樸嶺が伝えたこと」に出品のため
日本画	中尾英武「三岳寺金光寺」ほか	7	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課	府民ギャラリー事業二役室展示のため
日本画	磯田湖庵「遊女対鏡図」ほか	4	奈良県立美術館	展覧会「姿の美、衣装の美…肉筆浮世絵」に出品のため
染織	中井貞次「巨木積雪」	1	染・清流館	展覧会「イメージを染める 中井貞次の世界」に出品のため
染織	「黒紹羽織」(河鍋暁斎羽裏付)	1	サントリ美術館	展覧会「河鍋暁斎 その手に描けぬものなし」に出品のため
日本画	堂本元次「鐘の鳴り響く街」ほか	18	中信美術館	展覧会「堂本元次展」に出品のため
人形、風俗	古今雛ほか	10	京都府商工労働観光部観光政策課	「御食国×京都 和食の祭典」のうちの展示に出品のため
日本画	三谷十糸子「女」ほか	4	京都府立堂本印象美術館	展覧会「絵になる姿」に出品のため
日本画	上村松篁「花の中」ほか	2	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓接遇のため
日本画	岸竹堂「糸桜に小禽図」、ほか	3	京都国立近代美術館	展覧会「明治150年展 明治の日本画と工芸」に出品のため

合計 31件 177点

2) その他

寄託資料一時持ち出し・貸与					
	分野	資料名	点数	申請者	使用目的
館資料	日本画	諏訪神事図扇面	1	サントリ美術館、山口県立美術館	展覧会
	日本画	北野経王堂図扇面	1	東京国立博物館	展覧会
	日本画	上村松園「夕暮」	1	浜松市美術館	展覧会
管理資料	歴史	天冠ほか	15	四条町大船鉾保存会	修復・調査
	歴史	天冠ほか	一式	四条町大船鉾保存会	祭礼

Ⅲ 展示活動

Ⅲ-1 総合展示

当館の「総合展示」は、リニューアル前の「常設展示」に替わって設けられた。いつ来館しても、同じテーマや内容に添った展示品を見ることが出来るという従来のいわゆる常設展示は、展示面積を縮小し、〈京の歴史〉ゾーンに集約された。そして、〈京の歴史〉ゾーンだけでは十分に語りきれないテーマやこぼれ落ちている内容などについての企画展示が、従来の「特別陳列コーナー」を一新し、且つ展示面積の大幅な拡張の上に、実施されることとなった。

企画展示は、祇園祭など京の祭礼行事を紹介する〈京のまつり〉ゾーン、京都の歴史や文化にかかわる名品類を中心とした〈京の至宝と文化〉ゾーン、そして展示内容やボリュームによって3階展示室も柔軟に利用しながら、それぞれ1ヶ月半～3ヶ月程度の期間で次々と展示内容を変え、実施されている。

「総合展示」の展示品は、館蔵資料、管理資料、寄託資料のほか、他の博物館や美術館などが所蔵している貴重な資料(国宝や重要文化財含む)であり、展示品数や規模は小さいものの、いわゆる特別展示の構成と変わらない。リニューアル後、大きな力点がおかれることになったのが「総合展示」であり、多様且つ奥深い京都文化をできるだけ総合的に紹介できるように試みられている。

1) 〈京の歴史〉ゾーン

本エリアは、平安京の成立から近代都市として脱皮を遂げた明治・大正期までの京の歴史を概観する展示である。展示構成としては、平安時代から江戸時代における都市・京都の姿を描いた絵画資料を用い、大画面でその様子を伝える「絵巻回廊」、通史的な都市形態の変遷をCGで叙述した「京のかたち」、時代ごとの政治的・文化史的な要素を豊富なグラフィックで紹介しながら実物資料を配置する各展示ケースで構成され

る。狭小な展示スペースながら、隣接する「京のまつり」「京の至宝と文化」の各ゾーンで展開する展示活動の歴史的な核となるよう運用を行っている。



〈京の歴史〉ゾーン



「絵巻回廊」

【〈京の歴史ゾーン〉展示資料】

	コーナー名	No.	資料名	員数	所蔵／寄託
	イントロダクション	1	平安時代の軒丸瓦 平安京跡出土	3点	〈**〉
デジタル資料	絵巻回廊	2	駒競行幸絵巻	1点	和泉市久保惣美術館
		3	一遍上人絵伝	1点	東京国立博物館
		4	洛中洛外図屏風 歴博甲本	1点	国立歴史民俗博物館
		5	洛中洛外図屏風 歴博F本	1点	国立歴史民俗博物館
		6	古写真 八坂神社から見る四条通	1点	国際日本文化研究センター
	7	古写真 新京極の風景 昭和初期	1点	京都府立京都学・歴史館	
	8	古写真 円山公園 明治末～大正期	1点	京都府立京都学・歴史館	
	9	古写真 平安神宮地鎮祭余興 明治29年	1点	平安神宮	
	10	古写真 四条寺町をまがる船鉾	1点	京都府立京都学・歴史館	
	11	古写真 大丸前を巡行する長刀鉾 大正2年頃	1点	京都府立京都学・歴史館	
	12	動画 祇園祭風景 大正期	1点	大阪芸術大学映像復元プロジェクト	
	13	動画 時代祭風景 昭和8年	1点	〈**〉	
	近代都市京都の誕生	14	古写真 三代事業起工式 明治41年	1点	京都市上下水道局
		15	古写真 疎水舟だまり風景 明治25年	1点	京都市上下水道局
		16	古写真 東丸太町での水道管敷設 明治43年	1点	京都市上下水道局
		17	古写真 四条烏丸を走る市電 大正初期	1点	京都府立京都学・歴史館
		18	古写真 7年 ウィーン万国博覧会 日本参加団集合写真	1点	有田町歴史民俗資料館
		19	古写真 柳池小学校 明治20年頃	1点	京都府立京都学・歴史館
		20	古写真 英学校及び女紅場	1点	京都府立京都学・歴史館
		21	古写真 絵画専門学校授業風景 明治42年	1点	京都市立芸術大学 芸術資料館
		22	古写真 京都帝国大学	1点	京都府立京都学・歴史館
		23	古写真 同志社大学クラーク記念館	1点	同志社社史資料センター
		24	動画 京都駅など町並み 昭和5年頃	1点	〈**〉
		25	古写真 朱雀二条商店街の盛況 昭和35年頃	1点	世界人権問題研究センター
	実物資料	京のかたち	26	京都文化博物館近辺の土層はざとり標本	1点
平安京の造営		27	磚(敷瓦) 西賀茂瓦窯跡出土	18点	〈**〉
		28	鬼瓦 平安宮朝堂院・豊楽院跡出土	2点	〈**〉
		29	緑釉軒瓦 平安宮朝堂院・豊楽院跡出土	5点	〈**〉
平安貴族のくらしと文化		30	池亭記(複製資料)	1巻	〈**〉
		31	土器 雲林院跡出土	37点	〈**〉
		32	緑釉陶器耳皿 雲林院跡出土	1点	〈**〉
		33	中国製青磁碗 雲林院跡出土	1点	〈**〉
		34	中国製白磁碗 雲林院跡出土	1点	〈**〉
中世都市市民の生活		35	常滑大甕 平安京左京五条三坊十五町跡出土	1点	〈**〉
		36	備前大甕 平安京左京三条三坊十一町跡出土	1点	〈**〉
		37	中国製四耳壺 平安京左京八条三坊二町跡出土	1点	〈**〉
		38	埋納銭 平安京左京八条三坊七町跡出土	一式	〈**〉
		39	鑄造関連遺物(刀装具、仏具、鏡等) 平安京左京八条三坊二町跡出土	一式	〈**〉
		40	中国製磁器 平安京左京八条三坊二町跡出土	一式	〈**〉
近世町人のなりわい		41	金箔押瓦 聚楽第跡出土	4点	〈**〉
		42	京童	1冊	〈**〉
		43	都名所図会	1冊	〈**〉
		44	つぼつぼ	9点	〈**〉
	45	でんぼ	1組	個人	
	46	伏見人形 布袋	1点	〈**〉	
	47	伏見人形 饅頭喰い	2点	〈*〉	
	48	鏡師工房関連遺物 京都市下京区坂東屋町出土	一式	〈**〉	
	49	柄鏡	1点	〈*〉	

※所蔵欄 〈*〉印の資料は京都府立京都学・歴史館蔵(当館管理)、〈**〉印の資料は当館蔵

2)〈京のまつり〉ゾーン

① 祇園祭－蠅螂山の名宝－

会 期：2018年4月7日(土)～6月17日(日)
 前期展示：4月7日(土)～5月13日(日)
 後期展示：5月16日(水)～6月17日(日)

概 要：「祇園祭山鉾巡行で人気の

蠅螂のからくりを搭載した山」

蠅螂山は、応仁の乱以前の文献に既に登場しており、室町時代に描かれた洛中洛外図屏風にもその姿が描かれるなど、祇園祭に登場する山鉾の中でも古い由緒をもつ山である。天明8年(1788)の大火で蠅螂山は焼失するが、ただちに復興がはかれる。その時に整えられた御所車の破風板には、享和2年(1802)6月の銘がみられる。ところが、幕末に蠅螂山は衰退し、安政5年(1858)以降は巡行への参加滞りがちとなり、元治元年(1864)の大火か

ら明治維新を経て、明治5年(1872)からは長らく休み山となってしまった。しかし、第二次世界大戦の終戦を経て、昭和50年代頃から蠅螂山復活への機運が次第に盛り上がり、昭和52年(1977)には残っていた御所車の修理がおこなわれ、翌昭和53年には蠅螂山保存会が発足、昭和56年(1981)に蠅螂山は見事に復活を遂げ、山鉾巡行への参加を果たした。その後も蠅螂山には、人間国宝の羽田登喜男氏製作の懸装品などが整えられてゆき、華麗な姿を披露している。今回の展示では、江戸時代の蠅螂山の様子を伝える資料のほか、羽田登喜男作の懸装品など復興後の優品も出品した。

出品資料数：24点

担当者：橋本章

【「祇園祭－蠅螂山の名宝－」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時代	員数	指定等	展示期間
1	胴懸「瑞苑浮遊之図」 羽田登喜男 作	昭和59年(1984)	1枚		後期
2	胴懸「瑞光孔雀之図」羽田登喜男 作	昭和59年(1984)	1枚		後期
3	前懸「瑞祥鶴浴之図」 羽田登喜男 作	昭和57年(1982)	1枚		後期
4	後懸「瑞兆遊泳之図」 羽田登喜男 作	平成16年(2004)	1枚		前期
5	見送「巨岩遊禽図」 皆川月華 作	昭和55年(1980)	1枚		前期
6	見送「瑞苑飛翔之図」 羽田登喜男 作	平成3年(1991)	1枚		後期
7	水引「吉祥橋蠅螂図」 羽田登喜男 作	平成11年(1999)	4枚		後期
8	水引「雅楽 還城楽」 佐々木洋一 作	昭和54～56年(1979～81)	4枚		前期
9	かまきり(新)	昭和56年(1981)	1台		後期
10	かまきり(旧)	昭和52年(1977)改修	1台		前期
11	御所車旧胴巻裂 鳳凰花卉文様刺繍胴幕 額装	江戸時代後期	2枚	京都市指定文化財	前期
12	旧金幣	文政12年(1829)頃	1対	京都市指定文化財	前期
13	旧角飾金具 西洋紋章図角金具	文政12年(1829)	3点	京都市指定文化財	前期
14	破風板貼布 火馬および麒麟図刺繍裂	享和2年(1802)	2枚	京都市指定文化財	前期
15	三龍図切付刺繍小幕	江戸時代後期	1枚	京都市指定文化財	前期
16	御所車部材 ・唐破風造両流屋根 ・勾欄 紅塗木彫草花極彩色 ・轆 鎌倉彫変形／前横木黒漆塗 ・龍頭台座 ・道成寺模様裂貼 ・鯨彫刻 屋根飾 ・車輪	享和2年(1802)	4点	京都市指定文化財	後期
17	錫御神酒德利	明治9年(1876)	一対		前期
18	蠅螂山模型	江戸時代	1台		通期
19	角飾金具 彫金蠅螂飾付		4点		後期
20	見送飾金具 小林尚珉作		9点		後期
21	旧鯨彫刻		一対	京都市指定文化財	前期
22	旧飾房	享和2年(1802)	8点	京都市指定文化財	前期
23	角飾房		8点		後期
24	文箱 黒漆塗紋時絵	昭和56年(1981)	1点		後期

② 祇園祭・山鉾巡行の歴史と文化－明治維新と山鉾巡行－

会 期：2018年6月23日(土)～8月5日(日)

概 要：「明治維新、それは祇園祭の

山鉾巡行にとって大きな危機でした」
 京都の歴史とともに現代まで連続と受け継がれてきた祇園祭は、日本を代表する祭礼として名高いもので、絢爛豪華な装飾品で飾られた山鉾は「動く美術館」とも称され、国内はもとより遠く東アジアや中近東、そしてヨーロッパの美術工芸の粋が集結している。この祇園祭の歴史は京の歴史と共にあった。京都は歴史の舞台としてたびたび戦火にみまわれ、その影響は祇園祭の山鉾にも及んだ。特に江戸時代末期には、京都は元治元年(1864)

の禁門の変と、慶応4年(1868)の鳥羽伏見の戦いの二度にわたって戦場となり、禁門の変では市街地が大火にみまわれ、多くの山鉾が焼失している。

今回の展示では、今年が明治150年にあたるのを契機として、幕末維新の動乱期に京都と山鉾町が経てきた苦難の歴史を振り返るとともに、その後近代化の波の中で祇園祭の山鉾がいかんして復興を遂げていったのかについても紹介し、山鉾にまつわる歴史や文化の様相に迫った。

出品資料数：16点

担当者：橋本章

【「祇園祭・山鉾巡行の歴史と文化－明治維新と山鉾巡行－」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時代	点数	所蔵
1	洛中洛外図屏風(松居家本)	江戸時代後期	六曲一双	個人蔵
2	月鉾前懸 玉取獅子の図／斜め格子牡丹唐草図	江戸時代中期	1枚	公益財団法人月鉾保存会
3	月鉾水引 下水引 緋羅紗地花鳥霊獣図刺繍 二番水引 金地鶏頭文様錦織 三番水引 紺地蜀江文様錦織	江戸時代後期	1枚	公益財団法人月鉾保存会
4	月鉾模型	明治時代	1台	京都文化博物館
5	月鉾模型	昭和時代	1台	京都府(京都文化博物館管理)
6	後の祇園祭船鉾之図 中島莊陽 画	昭和7年(1932)	1幅	公益財団法人四条町大船鉾保存会
7	『都名所図会』	安永9年(1780)	5冊	京都文化博物館
8	『琵琶湖疏水圖誌』	明治23年(1890)	1冊	京都府立京都学・歴史館
9	蛤御門の変使用銃弾	元治元年(1864)	2点	京都府(京都文化博物館管理)
10	焼瓦	元治元年(1864)	12点	京都文化博物館
11	『秋の日照』	元治元年(1864)	1冊	京都文化博物館
12	甲子兵燹図	江戸末～明治時代	2巻	京都文化博物館
13	「祇園祭稚児の社参」矢野家写真資料	大正時代	1枚	京都府立京都学・歴史館 京の記憶アーカイブより
14	「祇園祭山鉾巡行」黒川翠山撮影写真資料	明治41年(1908)	1枚	京都府立京都学・歴史館 京の記憶アーカイブより
15	「祇園祭山鉾巡行」石井行昌撮影写真資料	明治時代後期	1枚	京都府立京都学・歴史館 京の記憶アーカイブより
16	「祇園祭山鉾巡行」石井行昌撮影写真資料	大正2年(1913)	1枚	京都府立京都学・歴史館 京の記憶アーカイブより

③ 祇園祭－油天神山の名宝－

会 期：2018年8月11日(土・祝)～10月22日(月)

前期展示：8月11日(土・祝)～9月24日(月・祝)

後期展示：9月27日(木)～10月22日(月)

概 要：「町の名前にゆかりの天神様を祀る山」

天神様をのせて巡行し、町が油小路通にあることから油天神山と呼ばれるこの山は、天神様を勧請した日が丑の日であったことに因んで、牛天神山とも呼称されてきた。油天神山には、

正面に朱塗りの鳥居をそなえた黄金色に輝く社殿が搭載され、社殿の中には円鏡が供えられ、御神体の天神像はその奥に鎮座する。油天神山には、天神様にゆかりの梅の花が立てられるほか、梅に牛の姿を象った飾金具を有する欄縁が装着されるなど、随所に天神様との関わりの深さがあらわされている。

油天神山には多彩な懸装品が伝来する。例

えば宮廷園遊図毛綴織の見送は、西洋の王侯貴族の姿を綴織で描いたもので、文化12年(1815)に新調された品で、また油天神山には三国志の英雄劉備玄徳の三顧の礼の故事の様子を描いた雪中楼閣山水劉備図を刺繍で施した見送もある。ほかに中央アジアのカザフスタン製で独等の模様を有する絨毯二種が胴懸として伝え残されてきたのも、油天神山の

懸装品をめぐる大きな特徴である。そのほか、金地有職丸文様の刺繍が美しい天保12年(1841)製の水引や、龍鳳凰文様が肉入刺繍された水引など、魅力あふれる品々が、その時代ごとに油天神山を彩ってきた。展覧会ではこれらゆかりの品々を紹介した。

出品資料数：22点
担当者：橋本章

【「祇園祭－油天神山の名宝－」展 出品資料一覧】

番号	資料名	時代	員数	指定等	展示期間
1	見送 宮廷園遊図毛綴織	文化12年(1815)	1枚		前期
2	見送 雪中楼閣山水劉備の図刺繍 縁：緋羅紗地百鳥図	文化年間(1804~18) 以前	1枚		後期
3	水引 金地有職丸文様刺繍 二番水引・緋羅紗地角龍文様刺繍	天保12年(1841)	3枚		前期
4	水引 龍鳳凰文様刺繍	江戸時代	3枚		後期
5	前懸 波濤飛龍文様錦織官服直	17世紀中頃	1枚		後期
6	前懸 八角飾連文様額玉取獅子図中国近辺絨毯	17世紀前半	1枚		前期
7	胴懸(西) 波濤飛龍文様中国錦織婦人官服	17世紀前半	1枚		後期
8	胴懸(東) 波濤に飛龍文様中国錦織婦人官服	17世紀中頃	1枚		後期
9	胴懸(西) 鈎菱三連メダリオン文様カザフ族絨毯	19世紀初頭	1枚		前期
10	胴懸(東) 星に鈎菱文様カザフ絨毯	19世紀初頭	1枚		前期
11	角房掛 松皮菱文に竹図	天保6年(1835)	12点	重要有形民俗文化財	通期
12	見送飾金具 花喰鶴文様鍍金金具	天保6年(1835)	1対	重要有形民俗文化財	前期
13	見送飾金具 松樹図文様	明治39年(1906)	1対		後期
14	幣串金具 黒漆塗梅樹文様鍍金		1対		前期
15	五鈎鈴 銅製	天保6年(1835)	2点	重要有形民俗文化財	後期
16	欄縁飾金具 彫金梅花文様鍍金	天保4年(1833)	4点	重要有形民俗文化財	前期
17	欄縁飾金具 彫金梅花竹文様鍍金	明治6年(1873)	4本		後期
18	釣燈籠 銅製梅鉢唐草文	文政11年(1828)	1対		後期
19	神号「八阪皇大神」	明治17年(1884)	1幅		前期
20	扁額「天神山」 伝妙法院堯然法親王筆	寛政7年(1795)	1枚	重要有形民俗文化財	前期
21	くじ箱 木製黒漆塗梅鉢金泥書	寛政7年(1795)	1点		通期
22	扁額「油天神山」 井上八千代筆	昭和46年(1971)	1枚		後期

III - 1 総合展示 ▶ 2)〈京のまつり〉ゾーン

④ 祇園祭－八幡山の名宝－

会 期：2018年10月27日(土)～2019年1月14日(月・祝)

前期展示：10月27日(土)～11月25日(日)

後期展示：11月28日(水)～1月14日(月・祝)

概 要：「黄金色に輝く八幡神を祀る社を載せる山」

八幡山は町内で祀られてきた八幡社を搭載する山で、巡行の際には朱鳥居に黄金の社殿が美しく映え、沿道の人びとを魅了してきた。八幡山には、波濤に飛龍文様の刺繍を施した中国伝来の見送や、嬉遊婦女図に日輪鳳凰文額のついた見送、そして3枚の昇龍文様の綴織をつないだ胴懸など、近世後期の優れた懸装品が多く伝え残されている。また飾金具にも八木奇峰の下絵による灵芝文様の見送裾金具や笹文様の轆先金具など、目を引く品物が

数多く伝来しているのが特徴である。

また八幡山を出す三条町で宵山に拝見できる屏風の中でもとりわけ目を引くのが「祇園祭礼図屏風」。六曲一隻の屏風には、金雲によって巧みに画面が分けられ、上段には後祭の巡行をする山鉦が四条通りを西へと向かう様子が描かれ、下段には三条通りを東進する三基の神輿が描かれる。この屏風の作者は桃山時代の高名な絵師・海北友松の息子である海北友雪(1598—1677)。展覧会では、この「祇園祭礼図屏風」をはじめとする八幡山伝来の名品を出陳した。

出品資料数：24点
担当者：橋本章

【「祇園祭－八幡山の名宝－」展 出品資料一覧】

番号	資料名	員数	時代	備考	展示期間
1	見送 嬉遊婦女園の図 番い鳳凰額 中国綴織掛物	1枚	天明5年(1785)	重要有形民俗文化財	前期
2	見送 波濤に飛龍文様中国絹紋織官服直し	1枚	宝暦年間(1751～64)		後期
3	見送 慶壽裂 八幡図	1枚	元禄3年(1690)		後期
4	胴懸 昇龍文様綴織 三点継	2枚	文化元年(1804) ／文化11年(1814)	重要有形民俗文化財	後期
5	前懸 平和の鳩図綴錦	1枚	昭和32年(1957)	重要有形民俗文化財	後期
6	前懸 紺羅紗地唐獅子図刺繍	1枚	元文5年(1740)		前期
7	胴懸 紺羅紗地麒麟図刺繍	1枚	元文5年(1740)		前期
8	水引 金地花鳥堂閣図刺繍	1枚	文化6年(1809)		前期
9	水引 金地鹿図刺繍	1枚	文化6年(1809)		後期
10	八幡宮祠	一式	天明年間(1781～89)	重要有形民俗文化財	前期
11	木彫漆箔法相華文鳳凰文見送飾	2点	天保8年(1837)	重要有形民俗文化財	後期
12	木彫漆箔花丸文様角飾房掛	4点	天保8年(1837)	重要有形民俗文化財	前期
13	木彫漆箔松皮菱文様角飾房掛	4点	天保8年(1837)	重要有形民俗文化財	前期
14	岩文彫金角飾房掛金具	4点	天保9年(1838)	重要有形民俗文化財	前期
15	霊芝文様見送裾飾房掛金具	7点	天保9年(1838)	重要有形民俗文化財	後期
16	笹文轆先金具	8点	天保9年(1838)	重要有形民俗文化財	後期
17	雲鶴文欄縁金具	一式	天保9年(1838)	重要有形民俗文化財	後期
18	祇園祭礼図屏風 海北友雪筆	六曲一隻	明暦年間(1655～58)	京都市指定文化財	前期
19	祇園祭礼図屏風(複製)	六曲一隻	平成23年(2011)		後期
20	文箱	2点	元禄17年(1704) ／文政7年(1824)		前期
21	鳩 (新・旧)	各1対	(旧)江戸時代 ／(新)平成24年(2012)		後期
22	額「八幡宮」木製漆箔	2点	寛文元年(1661) ／天保9年(1838)	重要有形民俗文化財	前期
23	矢 伝・島左近所用	1点(2本)	安政4年(1857)奉納		前期
24	掛軸「八幡大神」	1幅			前期

Ⅲ - 1 総合展示 ▶ 2)〈京のまつり〉ゾーン

⑤ 祇園祭－郭巨山の名宝－

会 期：2019年1月19日(土)～3月31日(日)
 前期展示：1月19日(土)～2月17日(日)
 後期展示：2月20日(水)～3月31日(日)

概 要：「二十四孝のひとり郭巨の物語を

題材にした趣向の山」

郭巨山は、二十四孝のひとりである郭巨の釜掘りの故事にちなんだもので、鍬を持った郭巨の姿が再現されて、またその傍には黄金の釜も置かれている。我が子を犠牲にしてでも母を守ろうとした郭巨の物語は都の人びとも広く知られており、郭巨山は「釜掘り山」とも呼ばれ親しまれてきた。

郭巨山には、日覆いの障子屋根が取り付け

られており、また欄縁の下に乳かくしという華やかな宝相華文様を施した板絵が装着されるなど、他の山鉾とは異なる独自の意匠を有しているのが特徴である。郭巨山には、江戸時代中期の著名な絵師である石田幽汀の下絵による胴懸「陳平飼虎図・刺繍」と「呉道子猫籠図・刺繍」など歴史と伝統を伝える装飾品が数多く伝来している。本展覧会では、郭巨の意匠にちなんだ諸道具のほか、近世以来の懸装品や明治期の飾金具、そして上村松篁原画の懸装品など多彩な優品を紹介した。

出品資料数：26点

担当者：橋本章

【「祇園祭－郭巨山の名宝－」展 出品資料一覧】

番号	資料名	点数	時代	指定等	展示期間
1	見送「慶寿詩文」中国刺繍	1枚	寛政4年(1792)		後期
2	見送「日輪双鳳凰額唐山水人物図」綴織 円山応震下絵	1枚	文化13年(1816)	重要有形民俗文化財	前期
3	見送「万葉の春」綴錦 上村松篁原画	1枚	平成6年(1994)	重要有形民俗文化財	後期
4	前懸 中央・婦女嬉遊図総刺 周田・波濤鳥文様刺繍補子	1枚	天明5年(1785)	重要有形民俗文化財	前期
5	胴懸「陳平飼虎図」刺繍 石田幽汀下絵	1枚	天明5年(1785)	重要有形民俗文化財	前期
6	胴懸「吳道子描龍図」刺繍 石田幽汀下絵	1枚	天明5年(1785)	重要有形民俗文化財	前期
7	前懸「秋草」綴錦 上村松篁原画	1枚	昭和53年(1978)	重要有形民俗文化財	後期
8	胴懸「花の汀」綴錦 上村松篁原画	1枚	昭和57年(1982)	重要有形民俗文化財	後期
9	胴懸「春雪」綴錦 上村松篁原画	1枚	昭和62年(1987)	重要有形民俗文化財	後期
10	御神体旧衣裳(郭巨)	1領	寛永18年(1641)		前期
11	御神体衣裳(童子)	1領		重要有形民俗文化財	前期
12	牡丹造花	1点	大正15年(1926)	重要有形民俗文化財	前期
13	唐団扇	2点		重要有形民俗文化財	前期
14	郭巨殿持物 鍬 漆塗銀時絵	1本		重要有形民俗文化財	前期
15	御釜	1台		重要有形民俗文化財	前期
16	欄縁 黒漆塗桜桐菊文様鍍金金具付	4本	明治23年(1890)	重要有形民俗文化財	前期
17	欄縁 黒漆塗雲形厚板鍍金金物付	4本	明治11年(1878)		後期
18	乳隠 金地彩色宝相華文様	4本	明治23年(1890)	重要有形民俗文化財	後期
19	見送上部飾金具 鉄線唐草文様鍍金	2点	明治22年(1889)	重要有形民俗文化財	後期
20	見送飾裾部金具 窠巴紋鍍金	計11点	昭和56年(1981)	重要有形民俗文化財	後期
21	角飾金具 牡丹文様鍍金	4点	明治23年(1890)	重要有形民俗文化財	前期
22	轆先金具 釜鍬文様	16点	明治23年(1890)	重要有形民俗文化財	通期
23	五鈷鈴	2点	昭和32年(1957)	重要有形民俗文化財	後期
24	くじ箱	1点			前期
25	扁額「郭巨山」 六代目清水六兵衛筆	1枚			後期
26	掛軸「祇園牛頭天王」	1幅			前期



「祇園祭－蟻螂山の名宝－」展示風景



「祇園祭－八幡山の名宝－」展示風景

3)〈京の至宝と文化〉ゾーン

① 桂離宮のモダニズム

会 期：2018年5月12日(土)～7月1日(日)
 概 要：戦後、日本の写真界に大きな影響を与えた写真家・石元泰博は、1953年から54年にかけて桂離宮を撮影した。数寄屋造の書院、回遊式の庭園、茶室がほぼ完成されたときの形のまま残る桂離宮。ニューバウハウスで学んだ石元は、バウハウス流のモダニズムの視点で、簡素でありながらも細部まで創意が凝らされた桂離宮の美を鋭く捉え、その写真作品は国内外で高く評価されている。今回の展示では、高知県立美術館に所蔵される石元自身の手によるオ

リジナル・プリントで、桂離宮を紹介した。
 協 力：高知県立美術館
 出品資料数：56件
 担当者：植田憲司

【関連行事】

〔1〕ギャラリートーク

日時：6月8日(金)、6月22日(金)

午後6時～(30分程度)

場所：本館2階展示室内

担当：植田憲司

参加者数：それぞれ35名、26名

【「桂離宮のモダニズム」出品資料一覧】

番号	作家名	作品名	撮影年・年代	所蔵者
1	石元泰博	桂離宮 御腰寄前中坪と庭園部分を仕切る高塀の潜り	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
2	石元泰博	桂離宮 古書院東の庭から御殿を見る	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
3	石元泰博	桂離宮 中書院東の庭から御殿を見る	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
4	石元泰博	桂離宮 古書院 二の間西面と鍵の間を見る	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
5	石元泰博	桂離宮 古書院 二の間から月見台を見る	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
6	石元泰博	桂離宮 古書院 月見台と沓脱石につながる飛石	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
7	石元泰博	桂離宮 古書院 広縁	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
8	石元泰博	桂離宮 古書院 北面縁座敷の連子窓	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
9	石元泰博	桂離宮 古書院 東面外観(月見台の側面)	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
10	石元泰博	桂離宮 古書院南端から見た中書院と新御殿	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
11	石元泰博	桂離宮	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
12	石元泰博	桂離宮 中書院 一の間の変棚	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
13	石元泰博	桂離宮 中書院 三の間	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
14	石元泰博	桂離宮 中書院 障子窓	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
15	石元泰博	桂離宮 楽器の間 襖の松葉形引手	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
16	石元泰博	桂離宮 楽器の間 広縁と高欄	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
17	石元泰博	桂離宮 楽器の間 東面外観	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
18	石元泰博	桂離宮	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
19	石元泰博	桂離宮 新御殿 南面外観	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
20	石元泰博	桂離宮 新御殿 東面外観(部分)	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
21	石元泰博	桂離宮 新御殿 東面外観	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
22	石元泰博	桂離宮 新御殿南西面	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
23	石元泰博	桂離宮 松琴亭 一の間床・戸棚・石炉	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
24	石元泰博	桂離宮 松琴亭 襖	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
25	石元泰博	桂離宮 松琴亭 水屋附近石組	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
26	石元泰博	桂離宮 賞花亭内部	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
27	石元泰博	桂離宮	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
28	石元泰博	桂離宮 笑意軒 中の間西面と次の間を見る	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
29	石元泰博	桂離宮	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
30	石元泰博	桂離宮 月波楼 中の間からの眺め	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
31	石元泰博	桂離宮 穂垣	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
32	石元泰博	桂離宮 御幸道(部分)	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
33	石元泰博	桂離宮 中門の乗越石	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
34	石元泰博	桂離宮	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
35	石元泰博	桂離宮 延段と飛石(部分)	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション

36	石元泰博	桂離宮		1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
37	石元泰博	桂離宮		1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
38	石元泰博	桂離宮	賞花亭に導く飛石	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
39	石元泰博	桂離宮	園林堂横飛石	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
40	石元泰博	桂離宮	畳	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
41	石元泰博	桂離宮		1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
42	石元泰博	桂離宮	新御殿 東面外観	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
43	石元泰博	桂離宮		1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
44	石元泰博	桂離宮	新御殿南西面	1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
45	石元泰博	桂離宮		1953-54年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
46	石元泰博	桂離宮	亀の尾の住吉の松	1981-82年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
47	石元泰博	桂離宮	中書院東の庭から楽器の間と新御殿を見る	1981-82年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
48	石元泰博	桂離宮	新御殿 折曲り入側縁西面	1981-82年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
49	石元泰博	桂離宮	月波楼 中の間から土間と膳組所を見る	1981-82年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
50	石元泰博	桂離宮	御幸道の霰石敷き	1981-82年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
51	石元泰博	日本の「かたち」		1957年頃	高知県立美術館 石元泰博コレクション
52	石元泰博	日本の「かたち」		1957年頃	高知県立美術館 石元泰博コレクション
53	石元泰博	日本の「かたち」		1959年頃	高知県立美術館 石元泰博コレクション
54	石元泰博	日本の「かたち」		1959年頃	高知県立美術館 石元泰博コレクション
55	石元泰博	日本の「かたち」		1957年頃	高知県立美術館 石元泰博コレクション
56	石元泰博	日本の「かたち」		1957年頃	高知県立美術館 石元泰博コレクション

番号	参考出品資料	年代	所蔵者
57	『源氏物語 立花本 松風』	江戸時代	京都文化博物館
58	高桑義生『桂離宮』(推古書院、1950年) 写真:岡本東洋	1950年	個人蔵
59	堀口捨己『桂離宮』(毎日新聞社、1952年) 撮影:佐藤辰三	1952年	京都文化博物館
60	ブルーノ・タウト『タウト全集 第1巻 桂離宮』(育生社弘道閣、1952年)	1952年	個人蔵
61	『桂 日本建築における伝統と創造』(造型社、1960年) 写真:石元泰博 (石元泰博旧蔵)	1960年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
62	『桂 日本建築における伝統と創造』(中央公論社、1971年) 写真:石元泰博 (石元泰博旧蔵)	1971年	高知県立美術館 石元泰博コレクション
63	『アサヒカメラ年鑑1957』(朝日新聞社、1957年)	1957年	京都文化博物館
64	石元泰博が桂離宮を撮影したカメラ リンホフ テヒニカ4×5とレンズ(石元泰博旧蔵)		高知県立美術館 石元泰博コレクション
65	石元泰博が使用していた三脚(石元泰博旧蔵)		高知県立美術館 石元泰博コレクション
66	『桂離宮 空間と形』(岩波書店、1983年) 解説:磯崎新 写真:石元泰博	1983年	京都文化博物館
67	『芸術新潮』1982年4月号	1982年	個人蔵
68	森蘊『桂離宮模型』	1963年	京都文化博物館
69	森蘊『桂離宮』(東都文化出版、1955年) 撮影:汐瀬謙哉	1955年	京都文化博物館

② 信長上洛—京都・織田信長入京から450年—

会 期：2018年7月7日(土)～9月2日(日)

前期展示：7月7日～8月5日

後期展示：8月7日～9月2日

概 要：永禄11年(1568)9月26日、織田信長が足利義昭を奉じて京都の東寺に入った。室町幕府の実権を握っていた三好勢は各所で抵抗を試みるが、織田の軍勢に圧倒されて敗退を重ね、間もなく京都は織田信長が制圧するところとなった。そして10月18日には足利義昭が征夷大將軍となり、室町幕府は信長の軍勢力を背景にようやく秩序を回復させた。この後、信長は抵抗する諸勢力と戦いを繰り返して、ついには

足利義昭を京都から追放し、天正10年(1582)に本能寺で最期を迎えるまでおよそ14年間京都周辺を中心に活動した。

織田信長の上洛は、日本史上大きなインパクトとして広く知られている。旧来の秩序を破壊し新たな時代を切り開いた改革者としての織田信長の人物評は、おそらくこの上洛の一件以降の事象から想起されたものであろう。信長の上洛をもって近世が始まったと唱えた歴史研究者もあり、信長の上洛はその事実以上に大きな意味を後世にもたらしている。果たして「信長上洛」とは何であったのだろうか。

この展覧会では、織田信長の上洛前後の様相を伝える古文書を中心に、当時の京都の世相を伝える資料を展示すると共に、織田信長という人物とその行動が後の世にどのように語られていったのかについて、検証していった。

作品件数：47件
担当者：橋本章

【関連行事】

〔1〕シンポジウム「信長上洛の歴史的インパクトを考える」
日時：7月8日(日)午前10時30分～正午

場所：京都文化博物館3階フィルムシアター
基調講演：松下浩氏(滋賀県教育委員会)
パネリスト：松下浩氏・大塚活美氏(京都府立京都学・歴史館)

〔2〕ギャラリートーク

日時：7月13日(金)、8月10日(金)
午後6時～(30分程度)
場所：本館2階展示室内
担当：橋本章
参加者数：それぞれ8名、12名

【「信長上洛—京都・織田信長入京から450年—」出品資料一覧】

番号	資料名	員数	時代	所蔵	備考(函番号ほか)	展示期間
1	色々威腹巻	1領	室町時代後期	京都府(京都文化博物館管理)	武具Y0103 吉川観方コレクション	前期
2	紺絲威胴丸	1領	室町時代	京都府(京都文化博物館管理)	歴史資料1128	後期
◎ 3	三好長慶折紙	1通	弘治2年(1556)12月27日	京都府立京都学・歴史館	リ函/115/ 東寺百合文書	前期
4	三好長慶書状	1通	(年未詳)12月12日	京都市歴史資料館	燈心文庫	後期
◎ 5	三好義継禁制	1通	永禄8年(1565)7月	京都府立京都学・歴史館	せ函/武家御教書並達/84/ 東寺百合文書	前期
◎ 6	三好長逸等連署禁制	1通	永禄8年(1565)12月	京都府立京都学・歴史館	リ函/118/ 東寺百合文書	後期
◎ 7	松永久秀書状	1通	(年未詳)2月27日	京都府立京都学・歴史館	リ函/130/ 東寺百合文書	前期
◎ 8	松永久秀書状	1通	(年未詳)4月11日	京都府立京都学・歴史館	リ函/136/ 東寺百合文書	前期
◎ 9	松永久秀書状	1通	(年未詳)12月5日	京都府立京都学・歴史館	リ函/186/ 東寺百合文書	後期
10	松永久秀書状	1通	(年未詳)10月9日	京都市歴史資料館	燈心文庫	後期
◎ 11	三好康長等連署書状案	1通	(永禄10年[1567])3月3日	京都府立京都学・歴史館	イ函/141/ 東寺百合文書	前期
12	三好宗渭・長逸書状	1通	(年未詳)12月7日	京都市歴史資料館	燈心文庫	前期
◎ 13	一乗院覚慶(足利義昭)禁制	1通	永禄8年(1565)10月11日	京都府立京都学・歴史館	せ函/武家御教書並達/85/ 東寺百合文書	後期
14	一乗院覚慶(足利義昭)書状	1通	(永禄8年[1565])12月29日	京都市歴史資料館	和田家文書	前期
15	足利義秋書状	1通	(永禄9年[1566])卯月18日	京都市歴史資料館	和田家文書	通期
16	足利義秋書状	1通	(永禄9年[1566])6月11日	京都市歴史資料館	和田家文書	通期
◎ 17	織田信長禁制	1通	永禄11年(1568)9月	京都府立京都学・歴史館	せ函/武家御教書並達/86/ 東寺百合文書	前期
◎ 18	織田信長朱印状案	1通	永禄12年(1569)4月21日	京都府立京都学・歴史館	リ函/119/ 東寺百合文書	前期
○ 19	織田信長書状	1通	(元亀2年[1571])8月14日	京都府立京都学・歴史館	革嶋家文書18 (2-1中館古004)	後期
○ 20	織田信長朱印状	1通	元亀元年(1570)4月23日	京都府立京都学・歴史館	革嶋家文書19 (2-2中館古004)	後期
○ 21	織田信長朱印状	1通	元亀3年(1572)9月3日	京都府立京都学・歴史館	革嶋家文書20 (2-3中館古004)	後期
○ 22	織田信長朱印状	1通	(元亀3年[1572])9月28日	京都府立京都学・歴史館	革嶋家文書21 (2-4中館古004)	後期
23	織田信長奉行衆連署書状	1通	(永禄12年[1569])4月16日	京都市歴史資料館	立入家文書	前期
24	織田信長奉行衆連署書状	1通	(永禄12年[1569])4月18日	京都市歴史資料館	立入家文書	後期
○ 25	細川藤孝書状	1通	(年未詳)正月7日	京都府立京都学・歴史館	革嶋家文書28 (3-4中館古004)	前期
○ 26	細川藤孝書状	1通	(元亀4年[1573])2月11日	京都府立京都学・歴史館	革嶋家文書27 (3-3中館古004)	前期
○ 27	細川藤孝請文	1通	(年未詳)3月9日	京都府立京都学・歴史館	革嶋家文書26 (3-2中館古004)	前期
○ 28	長岡(細川)藤孝折紙写	1通	天正元年(1573)9月14日	京都府立京都学・歴史館	革嶋家文書58 (10-1中館古004)	前期
○ 29	村井貞勝書状	1通	(年未詳)10月2日	京都府立京都学・歴史館	革嶋家文書51 (5-9中館古004)	前期
○ 30	明智光秀書状	1通	(年未詳)2月14日	京都府立京都学・歴史館	革嶋家文書31 (4-1中館古004)	後期
○ 31	明智光秀書状	1通	(年未詳)2月24日	京都府立京都学・歴史館	革嶋家文書32 (4-2中館古004)	後期
○ 32	明智光秀書状	1通	(年未詳)6月17日	京都府立京都学・歴史館	革嶋家文書33 (4-3中館古004)	後期

○	33	明智光秀書状	1通	(年未詳)10月9日	京都府立京都市学・歴史館	草嶋家文書34 (4-4中館古004)	後期
◎	34	木下秀吉折紙案	1通	元亀元年(1570)8月19日	京都府立京都市学・歴史館	せ函/武家御教書並達/87/ 東寺百合文書	後期
◎	35	朝倉景健禁制	1通	元亀元年(1570)9月9日	京都府立京都市学・歴史館	せ函/武家御教書並達/88/ 東寺百合文書	前期
	36	元龜二年御借米之記	1冊	元龜2年(1571)	京都市歴史資料館	立入家文書	通期
	37	江州姉川合戦	1枚	江戸時代	京都府立京都市学・歴史館	60-館古367 当進軒文庫旧蔵絵図	前期
	38	長篠合戦図	1枚	江戸時代	京都府立京都市学・歴史館	46-館古367 当進軒文庫旧蔵絵図	後期
	39	絹本着色 豊臣秀吉画像 都路華香画	1幅	近代	京都府(京都文化博物館管理)	日本画Y0062	通期
	40	絹本着色 織田信長像 (「十偉人像」より)	1幅	江戸末～明治時代	京都府(京都文化博物館管理)	吉川観方コレクシヨン	通期
	41	『織田信長譜』	1冊	寛永18年(1641)刊	京都府立京都市学・歴史館	貴重書庫F 和I930I37I/687591	前期
	42	『信長記』	1冊	元和8年(1622)刊	京都府立京都市学・歴史館	貴重書庫保管庫 費IIIIT65/624432	前期
	43	『繪本拾遺信長記』	23冊	享和3年(1803)刊	京都府立京都市学・歴史館	貴重書庫F 和I923I42I1-1/684057	後期
○	44	『政典』	1点	明治8年(1875)	京都府立京都市学・歴史館	明08-0001 京都府行政文書	前期
○	45	『建勲神社建築一件』	1点	明治8年(1875)	京都府立京都市学・歴史館	明09-0036-002 京都府行政文書	後期
○	46	『建勲神社建築一件』	1点	明治9年(1876)	京都府立京都市学・歴史館	明09-0036-001 京都府行政文書	後期
	47	「千百年記念祭 時代風俗行 列」石井行昌撮影写真資料	1枚	明治28年(1895)	京都府立京都市学・歴史館 (京の記憶アーカイブより)	石井行昌撮影写真資料	通期

※◎は国宝、○は重要文化財です。

III-1 総合展示 ▶ 3 (京の至宝と文化)ゾーン

③ 京・後藤家の軌跡

会 期：2018年7月7日(土)～9月9日(日)

前期展示：7月7日(土)～8月5日(日)

後期展示：8月7日(火)～9月9日(日)

概 要：後藤家は祐乗を始祖として、室町時代の足利義政のころに興り、以後十七代で江戸時代末期に及んだ一族である。祐乗以来、後藤家は日本の金工界において常に中枢をなしており、その影響力は絶大なものであった。本展はあらたに京都府所蔵資料となった後藤勘兵衛家旧蔵資料を核として、金工師・豪商として活躍しつつ、有力大名とも交渉をもった当

該一族の姿と都市文化の関わりを展観した。

出品資料数：30件

担当者：西山剛

【関連行事】

〔1〕ギャラリートーク

日時：7月13日(金)、8月10日(金)

午後6時～(30分程度)

場所：本館2階展示室内

担当：西山剛

参加者数：それぞれ9名、14名

【「京・後藤家の軌跡」出品資料一覧】

番号	名称	成立年代	所蔵	員数	展示期間
1	後藤家譜	江戸時代17世紀	個人蔵(後藤家)	一卷	通期
2	系図	江戸時代後期18世紀	京都府(京都文化博物館管理)	一枚	通期
3	後藤庄三郎より一札力条ノ控	原本・慶長元年(1596)3月	後藤家蔵(京都大学総合博物館寄託)	一冊	前期
4	後藤徳兼書状	江戸時代17世紀	京都府(京都文化博物館管理)	一幅	通期
5	後藤家屋敷(擁翠亭)図	江戸時代末期～明治時代19-20世紀	京都府(京都文化博物館管理)	一枚	通期

6	後藤家屋敷(擁翠亭)図	江戸時代末期 19世紀	京都府(京都文化博物館管理)	一枚	通期
7	後藤長乗夫妻像	江戸時代前期 17世紀	常德寺	二軀	通期
8	後藤徳乗像	寛永8年10月13日	後藤家蔵(京都大学総合博物館寄託)	一幅	前期
9	後藤妙求寄進 楊弓の的	嘉永4年(1851)寄進	常德寺	一点	通期
10	太刀 銘加州住藤原光国	江戸時代前期 17世紀	京都府(京都文化博物館管理)	一振	通期
11	笄図	江戸時代末期～明治時代 19-20世紀	京都府(京都文化博物館管理)	一点	通期
12	刀装具取調書	江戸時代末期～明治時代 19-20世紀	京都府(京都文化博物館管理)	一枚	通期
13	刀装具取調書	江戸時代末期～明治時代 19-20世紀	京都府(京都文化博物館管理)	一枚	通期
14	後藤家所蔵 目貫	江戸時代末期～明治時代 19-20世紀	個人蔵(後藤家)	三点	通期
15	後藤一乗作 飾金具	明治6年(1873)	個人蔵(後藤家)	一点	通期
16	系図書并彫物秘伝書	江戸時代中後期 18-19世紀	後藤家蔵(京都大学総合博物館寄託)	一冊	前後期 冊替
17	金座極印	江戸時代前期 17世紀	個人蔵(後藤家)	五点	通期
18	慶長小判	江戸時代 17世紀	京都府(京都文化博物館管理)	七点	通期
19	百両大判模型	江戸時代後期 19世紀	後藤家蔵(京都大学総合博物館寄託)	一点	前期
20	五拾両大判模型	江戸時代後期 19世紀	後藤家蔵(京都大学総合博物館寄託)	一点	後期
21	拾両大判模型	江戸時代後期 19世紀	後藤家蔵(京都大学総合博物館寄託)	一点	後期
22	墨判書付	江戸時代後期 19世紀	後藤家蔵(京都大学総合博物館寄託)	一点	前期
23	片桐且元・前田利光書状巻	江戸時代 17世紀	京都府(京都文化博物館管理)	一卷	通期
24	小堀遠州 書状(後藤寛乗宛)	江戸時代 17世紀(無年号)9月19日	京都府(京都文化博物館管理)	一幅	通期
25	小堀遠州 書状(後藤勘兵衛宛)	江戸時代 17世紀(無年号)8月8日	京都府(京都文化博物館管理)	一幅	通期
26	小堀遠州簡便後藤勘兵衛書状	江戸時代 17世紀	京都府(京都文化博物館管理)	一幅	通期
27	加藤清正 書状(後藤勘兵衛宛)	江戸時代 17世紀	京都府(京都文化博物館管理)	一幅	通期
28	大名衆より銀子返弁割符帳	天和2年(1682)～貞享2年(1685)	後藤家蔵(京都大学総合博物館寄託)	一冊	前期
29	御懇之御書(二巻之内)	江戸時代 17～18世紀	京都府(京都文化博物館管理)	一卷	通期
30	前田家歴代御書集	江戸時代 17～18世紀	京都府(京都文化博物館管理)	一卷	通期

④ 近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝 8

会 期：2018年9月9日(土)～11月4日(日)
 前期展示：9月9日(土)～10月8日(月・祝)
 後期展示：10月11日(木)～11月4日(日)

概 要：陽明文庫は、近衛家に伝わった平安時代以来の貴重な資料を数多く所蔵している。本展では、「近衛家熙の書画」をテーマに、父基熙と母常子内親王(後水尾天皇皇女)の間に生まれた近衛家熙(1667～1736)の書画作品と、歌合巻第六(十巻本)、類聚歌合巻五・十五、神楽和琴秘譜、古謡集、御堂関白記、春日権現霊験記絵巻等を展示して、近衛家に伝わった王朝文化の世界を紹介した。

協力：公益財団法人陽明文庫
 出品資料数：27件
 担当者：長村祥知

【関連行事】

〔1〕ギャラリートーク

日時：10月19日(金)

午後6時30分～(30分程度)

場所：本館2階展示室内

担当：長村祥知

参加者数：18名

【「近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝 8」出品資料一覧】

番号	指定等	資料名	筆者等	制作期	員数	会期
1	国宝	御堂関白記 自筆本 寛弘二年上巻	藤原道長筆	平安時代 寛弘2年(1005)	1巻	前期
2	国宝	御堂御記抄	藤原師実筆 伝藤原頼通筆	平安時代 11世紀	1幅	前期
3	国宝	御堂関白記 自筆本 寛仁三年下巻	藤原道長筆	平安時代 寛仁3年(1019)	1巻	後期
4	国宝	御堂関白記 古写本 寛仁三年巻		平安時代 11世紀	1巻	後期
5		春日権現靈験記絵巻 巻第七	詞書：近衛家熙筆 絵：渡辺始興画	江戸時代 享保20年(1735)	1巻	通期
6		春日権現靈験記絵巻 巻第八	詞書：近衛家熙筆 絵：渡辺始興画	江戸時代 享保20年(1735)	1巻	通期
7		嬰兒図(唐子図)	近衛家熙画	江戸時代 享保6年(1721)	1幅	通期
8		萩に月図	近衛家熙画賛	江戸時代 18世紀	1幅	通期
9		蓮鷺図	近衛家熙画	江戸時代 18世紀	1幅	通期
10		忠孝	近衛家熙筆	江戸時代 17-18世紀	1幅	通期
11		百寿	近衛家熙筆	江戸時代 17-18世紀	1幅	通期
12		宝蓮華	近衛家熙筆	江戸時代 18世紀	1幅	通期
13		墨竹図	近衛家熙画賛	江戸時代 17-18世紀	1幅	通期
14		新三十六歌仙	近衛家熙筆	江戸時代 17-18世紀	1幅	通期
15		隷書心経	近衛家熙筆	江戸時代 元禄15年(1702)	1幅	通期
16		鍾馗図	近衛家熙画	江戸時代 延宝4年(1676)	1幅	通期
17		和歌懐紙「盧橘薫風・夏月易明・山家客来」	近衛家熙筆	江戸時代 17-18世紀	1幅	通期
18		近衛家熙像	九峰自端賛 寛深画	江戸時代 18世紀	1幅	通期
19	重要美術品	予楽院臨書手鑑	近衛家熙臨	江戸時代 17-18世紀	1帖	通期
20	国宝	歌合巻第六(十巻本歌合)	伝宗尊親王筆	平安時代 11世紀	1巻	前期
21	重要文化財	四条宮歌合序		平安時代 12世紀	1巻	後期
22	国宝	類聚歌合(二十巻本) 巻第五		平安時代 12世紀	1巻	前期
23	国宝	類聚歌合(二十巻本) 巻第十五		平安時代 12世紀	1巻	後期
24	重要文化財	五絃琴譜		平安時代 11世紀	1巻	前期
25	国宝	神楽和琴秘譜	伝藤原道長筆	平安時代 10世紀末-11世紀初	1巻	後期
26	重要文化財	琴歌譜		平安時代 天元4年(981)	1巻	前期
27	重要文化財	古謡集		平安時代 承徳3年(1099)	1巻	後期

⑤ 桂

会 期：2018年9月15日(土)～11月4日(日)

前期展示：9月15日(土)～10月14日(日)

後期展示：10月16日(火)～11月4日(日)

概 要：京都府の収蔵品には、公家の生活を物語る服飾資料が数多くあるが、小袖等と比較すると展示の紹介の機会は少ないのが現状である。今展示ではそれら公家の服飾に関連する収蔵資料の中から、女性の表着である桂、細長、袴などをとりあげた。また、本展示は、開催中の特別展示「華ひらく皇室文化」とあわせて

宮廷文化に対する来館者の理解を助けることも意図した企画であった。

出品資料数：14件 ほか参考出品2件

担当者：林智子

【関連行事】

〔1〕ギャラリートーク

日時：10月19日(金)午後6時～(30分程度)

場所：本館2階展示室内

担当：林智子

参加者数：8名

【「桂」出品資料一覧】

番号	作品名	時代	展示期間	備考
1	桂 幸菱鳳凰丸文様	明治時代	前期	
2	桂 小葵菱菊枝文様	明治時代	後期	
3	桂 雲立涌梅丸向尾長鶏文様	明治時代	通期	
4	桂 花菱亀甲牡丹丸文様	明治時代	通期	
5	桂 三重襷鳳凰丸文様	明治時代	後期	

6	袷 臥蝶丸文様	明治時代	前期	
7	細長 雲立蒲公英藤文様	明治時代	通期	
8	切袴	江戸時代後期～明治時代	通期	
9	掻取 枝垂桜春草文様	江戸時代後期～明治時代	前期	
10	掻取 桜萩文様	明治時代	後期	
11	雛人形(大礼雛)	昭和2(1927)	通期	
12	雛人形(有職雛)	江戸時代後期	前期	
13	雛人形(有職雛)	江戸時代後期	後期	
14	雛人形(有職雛)	江戸時代後期	通期	
参考出品	衣裳人形 官女と犬	明治時代	通期	
参考出品	紫陽花牡丹	明治時代～昭和時代	通期	制作：川島織物 意匠：神坂雪佳

京都文化カプロジェクト事業・明治150年記念 伝統と創生—無形文化財保持者たちの作品展

会 期：2018年11月10日(土)～12月24日(月・祝)
 前期展示＝11月10日(土)～12月2日(日)
 後期展示＝12月4日(火)～12月24日(月・祝)

概 要：本展では、明治150年を記念、2021年の京都への文化庁の移転に先駆けて、物故者を含めた国、京都府から指定を受けた無形文化財保持者たちの作品を一堂で紹介した。戦後、技術の継承に取り組み育んできた成果を展覧し、伝統とは守り伝えるだけではなく、常に「今」という時代を意識し新しい物づくりを積み重ねることによって紡ぎだされるものであるということを、作品を通して発信。工芸美の魅力に触れ、工芸文化を考える機会となる展示とした。

主 催：京都文化カプロジェクト実行委員会、京都文化博物館、京都府無形文化財保持者会

後 援：京都府教育委員会

出品資料数：35名 43点

担当者：洲鎌佐智子

【関連行事】

- [1] 出品作家によるギャラリートーク
- ◇ 1回目：11月11日(日)午後2時～(30分程度)
石橋裕史氏、羽田登氏
 - ◇ 2回目：12月8日(土)午後2時～(30分程度)
竹中浩氏、村上良子氏、渡邊明氏
- 場所：本館2階展示室内
 参加者数：それぞれ52名、28名
- [2] 出品作家との交流会
- ◇ 1回目：11月24日(土)午後2時～
北村武資氏、林駒夫氏、村山明氏
 - ◇ 2回目：12月9日(日)午後2時～
清水保孝氏、森口邦彦氏
- 場所：本館7階サロン
 参加者数：それぞれ16名、17名
- [3] 次世代育成事業(京都市立高倉小学校との連携)
- ◇ 1回目：12月10日(月)午前10時40分～12時20分
場所：京都市立高倉小学校
講師：洲鎌佐智子
 - ◇ 2回目：12月18日(日)午前10時50分～正午
場所：本館2階展示室内および別館1階ホール
講師：坂井修氏、石橋裕史氏
参加者数：それぞれ小学校5年生116名

【「京都文化カプロジェクト事業・明治150年記念 伝統と創生—無形文化財保持者たちの作品展」出品資料一覧】

番号	作 者	作品名	制作年	展示期間	所 蔵
1	石黒 宗磨	鉄絵大皿「麦」	1955～64年頃	全期	※1
2	石田 亘	鑄込み硝子八角合子「松露」	2016年	全期	
3	石橋 裕史	彩刻磁鉢	2017年	全期	
4	稲垣 稔次郎	野草模様着物	1961年	全期	京都国立近代美術館
5	植田 参稔	鵝起四分一・銀接合せ鉢	1999年	全期	
6	上野 為二	近江八景模様振袖	1933年	全期	丸紅株式会社 (京都丸紅寄託)

7		柿模様着物	1936年	全期	丸紅株式会社 (京都丸紅寄託)
8	江里 佐代子	萬象放輝	1981年	全期	※1
9	喜多川 俵二	有職二陪織物菱襷花菱鳥の丸文小袷 皇太子妃夏の料	1993年	前期	
10		有職二陪織物小袷 夏の料	2008年	後期	※1
11	喜多川 平朗	蒨黄勝見菱地蝶文二倍織物袷	1981年	前期	※1
12		若松唐草地鳳凰丸文二重織物小袷	1982年	後期	※1
13	北村 武資	青緑地透文羅「籬格子」	2013年	全期	
14	木原 明	戸隠への道	1998年	全期	
15	木村 盛伸	鉄軸掛分組鉢	2017年	全期	
16	黒田 辰秋	朱螺鈿大名縞手筥	1970年代	全期	京都国立近代美術館
17	近藤 悠三	山噴煙染付花瓶	1964年	全期	※1
18	斎田 梅亭	截金波頭文飾筥	1967年	全期	※1
19	坂井 修	友禅訪問着「燦光」	2016年	前期	
20		友禅訪問着「奏原」	2012年	後期	
21	清水 卯一	青磁大鉢	1974年	全期	※1
22	清水 保孝	鉄軸掛分白亀遊文扁壺	2018年	全期	
23	志村 ふくみ	紬着物「月輪」	1983年	前期	※1
24		クロイツェル・ソナタ	2013年	後期	
25	竹中 浩	白磁シノギ大壺	2012年	全期	
26	三代田畑 喜八	一越縮緬地鳳凰桐文振り袖	1954年	全期	京都国立近代美術館
27	富本 憲吉	色絵金彩羊歯模様大飾壺	1960年	全期	京都国立近代美術館
28	中川 清司	神代杉紐合わせ中次茶入	1978年	全期	※1
29	羽田 登喜男	友禅訪問着「大原春芳(菜の花に蝶)」	2002年	前期	
30		友禅訪問着「鴛鴦春光(紅葉に鴛鴦)」	2001年	後期	
31	羽田 登	友禅訪問着「芳彩」	2018年	前期	
32		友禅訪問着「古都街衝」	2018年	後期	
33	五世早川尚古齋	菱透文様花籃	1987年	全期	※1
34	林 駒夫	神ノ坐ス森	1993年	全期	
35	深見 重助	日本染七桁唐組十菱並列続平緒	1932年	全期	
36	福田 喜重	繡箔訪問着 亀甲菱文様	2014年	全期	
37	細見 華岳	綴帯「春花」	1992年	全期	※1
38	村上 良子	紬織着物「鷗」	2006年	前期	
39		紬織着物「立春」	2018年	後期	
40	村山 明	櫛拭漆飾棚	2017年	全期	
41	森口 華弘	友禅訪問着「春光」	1999年	全期	
42	森口 邦彦	友禅訪問着「開花」	2003年	全期	
43	渡邊 明	積層プラチナ彩切子器「漂煌」	2018年	全期	

※1は京都府蔵(京都文化博物館管理)、そのほか特に表記のないものは個人蔵

⑦ 小牧源太郎展

会 期：2019年1月5日(土)～3月3日(日)

概 要：小牧源太郎(1906—1989)は、京都府中郡口大野村(現京丹後市)にあるちりめん問屋の第三子として生まれた。29歳で画家としての歩みを始めた小牧の作品は、シュルレアリスムへの関心が高まった1930年代、仏教に主題を得た1940年代を経て、極めて土俗的なイメージとなって現れる。日本の近現代美術史の中で個性豊かな存在感を示す小牧の画業を、京都府が所蔵する初期から晩年の作品を中心に紹介した。

出品資料数：20件(資料を除く)

担当者：清水智世

【関連行事】

〔1〕ギャラリートーク

日時：2月15日(金)、2月22日(金)
午後6時～(30分程度)

場所：本館2階展示室内

担当：清水智世

参加者数：それぞれ10名ずつ

【「小牧源太郎」展 出品資料一覧】

絵画作品リスト

番号	作者	作品名	制作年	材質	所蔵
1	小牧源太郎	城崎風景	1935年	油彩、カンヴァス	京都府(京都文化博物館管理)
2	小牧源太郎	裸婦習作	1936年	油彩、カンヴァス	京都府(京都文化博物館管理)
3	須田国太郎	戸外の静物	1941年	油彩、カンヴァス	京都府(京都文化博物館管理)
4	小牧源太郎	大仙院の石庭(盛砂)	1986年	油彩、カンヴァス	京都府(京都文化博物館管理)
5	小牧源太郎	民族系譜学	1937年	油彩、カンヴァス	京都市美術館
6	小牧源太郎	民族病理学(折り)	1937年	油彩、カンヴァス	京都市美術館
7	北脇昇	海上へ(好奇) — 集団制作「浦島物語」より	1937年	油彩、カンヴァス	京都市美術館
8	小牧源太郎	郷愁を訴ふ(倦怠) — 集団制作「浦島物語」より	1937年	油彩、カンヴァス	京都市美術館
9	小牧源太郎	多義図形	1940年	油彩、カンヴァス	京都市美術館
10	小牧源太郎	木の葉仏	1945年	油彩、カンヴァス	京都府(京都文化博物館管理)
11	小牧源太郎	塞の神図	1951年	油彩、カンヴァス	京都府(京都文化博物館管理)
12	小牧源太郎	花・鼻・羽根・ナルチスムス	1953年	油彩、カンヴァス	京都府
13	小牧源太郎	影絵日記	1957年	油彩、カンヴァス	京都府(京都文化博物館管理)
14	小牧源太郎	エスピリト・サント No.7-11	1959年	油彩、カンヴァス	京都府(京都文化博物館管理)
15	小牧源太郎	アルマ No.17	1962年	油彩、カンヴァス	京都府
16	小牧源太郎	妙法掌蔵間人華鬘日輪相呪	1969年	油彩、カンヴァス	京都府(京都文化博物館管理)
17	小牧源太郎	景観 No.10	1970年	油彩、カンヴァス	京都府(京都文化博物館管理)
18	小牧源太郎	景観80 No.5	1980年	油彩、カンヴァス	京都府(京都文化博物館管理)
19	小牧源太郎	八つ目に非ず遠目	1981年	油彩、カンヴァス	京都府(京都文化博物館管理)
20	小牧源太郎	バット・バルマNo.6	1983年	油彩、カンヴァス	京都府(京都文化博物館管理)

関連資料

番号	資料名	発行年	所蔵
1	TOILE_独立美術京都研究所機関紙 7号	1936. 7.1	京都市右京中央図書館
2	原稿「エメ・ボイ紀行」(小牧源太郎)	1961. 8.1	京丹後市
3	原稿「ブラジルの俗信」(小牧源太郎)	1962. 8.1	京丹後市
4	吉井忠と北脇昇の写真(京都・大徳寺にて)	1942.11.1	個人蔵

*その他、雑誌、書籍など

⑧ 古社寺保存法の時代

会 期：2019年1月5日(土)～3月3日(日)

前期展示：1月5日(土)～2月3日(日)

後期展示：2月5日(火)～3月3日(日)

概 要：明治時代に制定された古社寺保存法は、近現代の日本における文化財保護の礎となった法律である。そこでは、江戸時代以来成熟していた様々な学問や文化事業の経験が大いに生かされ、京都を中心とする関西の人々が大きな役割を果たした。本展では、京都や奈良に残る各種の資料や記録などを展示しつつ、近代という激動の時代を背景に生まれ出た日本の文化財保護の歩みと様々な社会的取り組みを紹介した。

協 力：京都府教育庁文化財保護課、京都府立大学文学部歴史文化学科、一般社団法人国宝修理装潢師連盟、公益財団法人美術院

出品資料数：64件

担当者：森道彦

【関連行事】

〔1〕ギャラリートーク

日時：1月20日(日)、2月17日(日)、2月24日(日)、
3月3日(日)午後2時～(40分程度)

場所：本館2階展示室内

担当：森道彦、京都府立大学文学部歴史学科学生

参加者数：それぞれ25名、18名、35名、30名

〔2〕連続講座

第1回「京都府の文化財保護」

日時：1月20日(日)午前10時30分～正午

場所：本館3階フィルムシアター

講師：岸岡貴英氏(京都府教育庁文化財保護課)

参加者数：30名

第2回「文化財修理の過去と現在」

日時：2月17日(日)午前10時30分～正午
 場所：本館3階フィルムシアター
 講師：山本記子氏(一般社団法人国宝修理装演師連盟)
 参加者数：50名

第3回「近代の博物館と京都」

日時：3月3日(日)午前10時30分～正午
 場所：本館3階フィルムシアター
 講師：村野正景(当館学芸員)
 参加者数：26名

〔3〕シンポジウム「宝物と政権の歴史的諸相」

日時：1月6日(日)午前10時30分～午後5時
 場所：別館ホール
 パネリスト：家塚智子氏(宇治市源氏物語ミュージアム)、稲本泰生氏(京都大学)、土屋貴裕氏(東京国立博物館)、中野慎之氏(京都府教育庁文化財保護課)増記隆介氏(神戸大学)、森道彦(当館学芸員)
 参加者数：78名

【「古社時保存法の時代」出品資料一覧】

番号	指定ほか	作者	名称	制作期	所蔵
1		松平定信 編	集古十種	江戸時代(19世紀)	京都府蔵(京都文化博物館管理)
2			御宝物図絵 南都法隆寺	江戸時代 天保十三年(1842)	京都府蔵(京都文化博物館管理)
3		冷泉為恭 画	東大寺正倉院宝蔵刀剣模写	江戸時代 安政六年(1859)	京都府蔵(京都文化博物館管理)
4			色々威腹巻	室町時代(15～16世紀)	京都府蔵(京都文化博物館管理)
5	重要文化財		布令書<明01-09-02>神仏分離は破仏の趣意に非ず(京都府行政文書)	近代 慶応四年(1868)	京都府立京都学・歴史館
6	重要文化財		制法<明02-07>神仏分離は破仏の趣意に非ざること(京都府行政文書)	近代 明治二年(1869)	京都府立京都学・歴史館
7	重要文化財		廃寺院銘簿<明06-34>(京都府行政文書)	近代 明治六～九年(1873～1876)	京都府立京都学・歴史館
8	重要文化財		布令書<明04-11-01>太政官符令 古器旧物保全(京都府行政文書)	近代 明治四年(1871)	京都府立京都学・歴史館
9	重要文化財		布告留<明03-21>古器旧物保全致すべき事 別紙条目(京都府行政文書)	近代 明治四年(1871)	京都府立京都学・歴史館
10	重要文化財		京都府史 第一編第五十五号<京都府史056>歴世蔵貯するところの古器旧物を保全せしめ、蔵貯あれば品目及び主名を具申せしめらるるを布告す(京都府行政文書)	近代 明治期(19世紀)	京都府立京都学・歴史館
11	重要文化財		布令書<明05-06>古器旧物保全のための調査について(京都府行政文書)	近代 明治五年(1872)	京都府立京都学・歴史館
12			大倭画名巻競	近代 明治十七年(1884)	京都府蔵(京都文化博物館管理)
13		福沢諭吉 著	西洋事情	近代 明治期(19世紀) *慶應四年(1868)成立	京都府蔵(京都文化博物館管理)
14			博覧会品目録	近代 明治五年(1872)	京都府立京都学・歴史館
15			京都名所順覧	近代 明治十年(1877)	京都府蔵(京都文化博物館管理)
16			都の魁	近代 明治十六年(1883)	京都府蔵(京都文化博物館管理)
17			二相對面図	桃山時代(16～17世紀)	京都府蔵(京都文化博物館管理)
18	重要文化財		上京区社寺所蔵什器宮内省検印物目録<明22-38>(京都府行政文書)	近代 明治二十年(1887)	京都府立京都学・歴史館
19	重要文化財		明治廿一年 上京烏丸以西三條以北 紀伊乙訓線喜久世相案各郡 宝物取調書<社寺宝物3>(京都府行政文書)	近代 明治二十一年(1888)	京都府立京都学・歴史館
20	重要文化財		寺社宝物展覧<社寺宝物展覧1>(京都府行政文書)	江戸～近代(19世紀)	京都府立京都学・歴史館
21	重要文化財		親展来書<明21-10>社寺宝物保管方の件(京都府行政文書)	近代 明治二十三年(1890)	京都府立京都学・歴史館
22	重要文化財		社寺宝物展覧目録其他<明27-64>(京都府行政文書)	近代 明治二十七年(1894)	京都府立京都学・歴史館
23		安達真速 画	鳥獣人物戯画模本	近代 明治二十六年(1893)	京都府蔵(京都文化博物館管理)
24			やまとのひかり	近代 明治二十八年(1895)	京都府蔵(京都文化博物館管理)
25		森寛齋 画	武田信玄像模本	近代 明治期(19世紀)	京都府蔵(京都文化博物館管理)
26		竹内恒吉(栖鳳) 画	賢聖障子模本	近代 明治十七年(1884)	京都府蔵(京都文化博物館管理)
27	重要文化財		東上中進達綴<明21-11>京都居住画家、皇居・離宮障壁画拝観・臨模懇願に付上申(京都府行政文書)	近代 明治二十四年(1891)	京都府立京都学・歴史館
28			平安通志	近代 明治二十八年(1895)	京都文化博物館
29	重要文化財		京都府古社寺取調書 上京区下京区神社之部<京都府古社寺取調書1>(京都府行政文書)	近代 明治二十八年(1895)	京都府立京都学・歴史館
30			古社寺保存及び古社寺保存会組織請願・古社寺保存二関スル請願・古社寺保存会組織二関スル請願(上野家文書)	近代 明治二十八年(1895)	京都府立京都学・歴史館
31	重要文化財		訓令綴 官省之分<明28-02>京都及奈良帝国博物館落成に備へ社寺宝物寄託の件(京都府行政文書)	近代 明治二十八年(1895)	京都府立京都学・歴史館
32			帝国京都奈良博物館社寺什宝受託規則(藤野大吉家旧蔵資料)	近代 明治二十八年(1895)	京都府立京都学・歴史館
33	重要文化財		什宝寄託一件<明29-90>(京都府行政文書)	近代 明治二十九年(1896)	京都府立京都学・歴史館
34			帝国京都博物館開館観覧招待状(上野家文書)	近代 明治三十年(1897)	京都府立京都学・歴史館
35	重要文化財		閣省令達<明31-01>古社寺保存法により社寺に下付したる保存金の管理に付其方法を定め報告方の件	近代 明治三十年(1897)	京都府立京都学・歴史館
36	重要文化財		三十五年閣省通牒<明35-03>社寺の宝物古器物古文書目録帳の物件加除の件(京都府行政文書)	近代 明治三十五年(1902)	京都府立京都学・歴史館

37	重要文化財		三十五年閣省通牒(明35-03)古社寺保存法により特別保護建造物及国宝に指定せる物件監守の件(京都府行政文書)	近代 明治三十五年(1902)	京都府立京都学・歴史館
38	重要文化財		寺院什宝物(明40-49)大徳寺大仙院什宝売却について(京都府行政文書)	近代 明治四十年(1907)	京都府立京都学・歴史館
39			古社寺保存便覧	近代 明治三十六年(1906)	
40			美術院看板	近代(20世紀)	公益財団法人美術院
41			明治三十二年十二月ヨリ 第一号 宝物修繕費原簿(美術院資料)	近代 明治三十二年(1899)	奈良国立博物館
42			第二号の一 国宝修繕関係書類 四天王寺蔵扇面古写経修繕設計書(美術院資料)	近代 明治三十三年(1900)	奈良国立博物館
43			明治三十三年 第二号ノ二 国宝修繕関係書類 岡倉覚三宛新納忠之介書簡(美術院資料)	近代 明治三十三年(1900)	奈良国立博物館
44			明治三十五年一月起 第三号ノ一 国宝修繕関係書類 一乗寺蔵聖徳太子天台高僧像修繕契約書(美術院資料)	近代 明治三十五年(1902)	奈良国立博物館
45			明治三十六年一月起 第三号ノ二 国宝修繕関係書類(美術院資料)	近代 明治三十六年(1903)	奈良国立博物館
46			明治三十七年一月起同三十八年二至ル 第四号ノ一 国宝修繕関係書類(美術院資料)	近代 明治三十七年~三十八年(1907~1908)	奈良国立博物館
47			大正十一年九月始 要書綴 日本美術院第二部組織並規定	近代 明治三十九年(1906)頃	公益財団法人美術院
48		救生天泉 画	扇面古写経模写	近代 明治~大正期(20世紀)	古代学協会
49			法隆寺金堂飛天壁画模写	近代 明治~大正期(20世紀)	奈良国立博物館
50			法隆寺夢殿行信僧都切開図	近代 明治~大正期(20世紀)	奈良国立博物館
51			紀州新宮速玉神社神像図	近代 明治四十三年(1910)	奈良国立博物館
52			新納忠之介調査手帳	近代 明治~大正期(19~20世紀)	公益財団法人美術院
53			新納忠之介肖像写真	近現代 昭和期(20世紀)	公益財団法人美術院
54	重要文化財		十六羅漢図(第一・二・三・四尊者)	鎌倉時代(13世紀)	滋賀・長寿寺
55			滋賀県警察本部 盗難品触書 ぬすまれしな 長寿寺	近代 明治二十一年(1888)	
56	重要文化財		前田玄以像	桃山~江戸時代(17世紀)	京都・大雲院
57	重要文化財		寺院国宝(明44-68)国宝修理済進達按(大雲院)(京都府行政文書)	近代 明治四十四年(1911)	京都府立京都学・歴史館
58	重要文化財		洞院公定日記	南北朝時代 応永七年(1374) 永和三年(1377)	京都・毘沙門堂
59	重要文化財		寺院什宝物(明39-43)什物寺外持出許可按(毘沙門堂)(京都府行政文書)	近代 明治三十九年(1906)	京都府立京都学・歴史館
60	重要文化財		寺院国宝(明44-69)国宝修理の件達案(毘沙門堂)(京都府行政文書)	近代 明治四十一(1908)	京都府立京都学・歴史館
61			什器宝物関係書類綴	近代 明治~昭和期(19~20世紀)	京都・毘沙門堂
62	重要文化財		国宝(昭05-51-01)醍醐寺文書修理について(京都府行政文書)	近代 大正~昭和期(20世紀)	京都府立京都学・歴史館
63			伴能十全堂関係資料	近代 明治~昭和期(19~20世紀)	伴能十全堂
64			京都府誌	近代 大正四年(1915)	京都文化博物館

⑨ 京都文化博物館開館30周年記念 京都府内の学校所蔵考古・歴史資料展 2

会 期：2019年3月9日(土)~4月21日(日)

概 要：京都の学校にはとても多くの考古・歴史関連資料が保管されている。それは、学校の教員や生徒あるいは地域住民が収集し、研究し、今まで継承されてきたもので、学校の歴史や地域の記憶を語りうる貴重なものである。そこで本展では、2016年度に続き、府内の複数の学校等と協力しながら、こうした学校に所在する考古関連資料やその収蔵にまつわる歴史・物語を紹介した。

協 力：京都府立鴨沂高等学校

後 援：京都府教育委員会、京都市教育委員会

出品資料数：42件

担当者：村野正景

【関連行事】

〔1〕映画上映とトークイベント

『北白川こども風土記』出版60周年 学校・地域・物語
—『北白川こども風土記』から探る

日時：3月9日(土)午後1時30分~4時30分

場所：別館ホール

講師：池側隆之氏(京都工芸繊維大学)、石神裕之氏(京都造形芸術大学)、一色範子氏(佛教大学)、菊地暁氏(京都大学)、黒岩康博氏(天理大学)、佐藤守弘氏(京都精華大学)、谷本 研氏(成安造形大学)、中村裕太氏(京都精華大学)、福島幸宏氏(京都府立図書館)、堀内寛昭氏(北白川小学校学校運営協議会)
主催：京都歴史文化施設クラスター実行委員会
協力：京都市立北白川小学校、北白川小学校学校運営協議会、共同映画株式会社、株式会社山口書店

担当：村野正景

参加者数：150名

〔2〕映画『北白川こども風土記』上映

日時：3月16日(土)午前10時30分～(1時間程度)

場所：本館3階フィルムシアター

担当：村野正景

参加者数：45名

〔3〕学芸員によるギャラリートーク

日時：3月15日(金)、3月29日(金)、4月12日(金)

午後2時～(30分程度)

場所：本館2階展示室内

担当：村野正景

参加者数：それぞれ7名、15名、45名

【「京都文化博物館開館30周年記念 京都府内の学校所蔵考古・歴史資料展2」出品資料一覧】

番号	資料名	年代	所蔵・保管
1	鶏卵紙写真	明治時代	京都府立鴨沂高等学校
2	絵葉書	明治～昭和時代	京都府立鴨沂高等学校
3	北白川こども風土記	昭和34年(1959)	株式会社山口書店・個人蔵
4	児童自筆の原稿	昭和34年(1959)頃	京都市立北白川小学校
5	北白川こども風土記発刊について	昭和34年(1959)	京都市立北白川小学校
6	北白川綴方風土記の目次類	昭和34年(1959)頃	京都市立北白川小学校
7	北白川愛郷会会誌 愛郷	昭和36年(1961)刊行開始	京都市立北白川小学校
8	社会科学習指導計画	昭和38年(1963)頃	京都市立北白川小学校
9	学校創立の周年記念誌	昭和～平成時代	京都市立北白川小学校
10	映画『北白川こども風土記』シナリオ(準備稿・検討用)	昭和35年(1960)頃	京都市立北白川小学校
11	北白川廃寺近辺出土の古瓦	白鳳～平安時代	京都市立北白川小学校
12	学校近辺出土の縄文土器	縄文時代前期	京都市立北白川小学校
13	滋賀県の縄文時代資料	縄文時代早期・中期	京都市立北白川小学校
14	(映像)郷土学習のしかた	昭和33年(1958)頃	北白川小学校学校運営協議会
15	重ね石 拓本 作：谷本研・京都精華大学大学院生	平成30年(2018)	個人蔵
16	白川道中膝栗毛 作：谷本研・中村裕太	平成28年(2016)	個人蔵
17	古瓦 長岡宮跡・平安宮跡出土	奈良～平安時代	銅駝史料館
18	太田2号墳出土の埴輪	古墳時代	京都府教育委員会
19	坪倉利正氏収集の石器 浜詰遺跡・奈具遺跡出土	縄文～弥生時代	京都府立峰山高等学校
20	丹後出土の縄文土器 平遺跡出土	縄文時代	京都府立峰山高等学校
21	丹後各地発見の考古資料	古墳～鎌倉時代	京都府立峰山高等学校
22	五箇小学校旧蔵の須恵器	古墳時代	京都府立峰山高等学校
23	古墳時代遺物模型 縮尺：約1/3～原寸	大正時代～昭和時代初期	京都府立網野高等学校
24	宮ノ下遺跡出土品	縄文時代	京都府立網野高等学校
25	浜詰遺跡出土品	縄文時代	京都府立網野高等学校
26	松ヶ崎遺跡出土品	弥生時代	京都府立網野高等学校
27	離山古墳出土品	古墳時代	京都府立網野高等学校
28	勝山古墳出土品	古墳時代	京都府立網野高等学校
29	相谷古墳1号墳出土品	古墳時代	京都府立網野高等学校
30	熊野郡模型地図	大正時代～昭和25年(1950)頃	京都府立久美浜高等学校
31	学校の校地出土の土器 橋爪遺跡出土	弥生時代	京都府教育委員会
32	神明山古墳出土の埴輪片	古墳時代	京都府立久美浜高等学校
33	狐塚古墳群出土品	古墳時代	京都府立久美浜高等学校
34	島賽の神出土資料	古墳時代	京都府立久美浜高等学校
35	土師製筒形容器 永留・郷出土	鎌倉時代	京都府立久美浜高等学校
36	円頓寺焼の窯道具	江戸時代	京都府立久美浜高等学校
37	金銅製飾履模型 縮尺：原寸	昭和6年(1931)頃	大阪大学総合学術博物館
38	家形石棺模型 縮尺：約1/20	昭和6年(1931)頃	大阪大学総合学術博物館
39	勾玉及び管玉製作順序 縮尺：原寸	昭和6年(1931)頃	大阪大学総合学術博物館
40	日本石器時代遺物各種模型 縮尺：原寸	昭和6年(1931)頃	大阪大学総合学術博物館
41	日本古墳発見各種遺物模型 縮尺：原寸	昭和6年(1931)頃	大阪大学総合学術博物館
42	踏絵模型 縮尺：原寸	昭和6年(1931)頃	大阪大学総合学術博物館

4) 3階展示室

① 京都文化博物館30周年 平安博物館回顧展 —古代学協会と角田文衛の仕事—

会 期：2018年7月10日(火)～9月9日(日)
休館日：月曜日
会 場：3階展示室
入館料：一般500円(400円) / 大高生400円(320円)
高校生以下は無料
*()内は20名以上の団体料金
主 催：京都府、京都文化博物館、
公益財団法人古代学協会
担当者：村野正景、長村祥知
入場者：22,278人(1日平均405人)

【概要】

平成30年(2018)に京都文化博物館は30周年を迎えた。当館の前身の一つが、昭和43年(1968)に古代学協会が設立した平安博物館である。平安文化という非常に特色あるテーマを掲げた博物館活動を約20年にわたって展開し、平安京跡を主とした国内外の考古発掘調査、『源氏物語』や『七条令解』など多数の重要資料の収集・調査で大きな成果をあげた。現在、平安博物館で展示・研究されていた資料の多くは当館に引き継がれ、平安博物館の建物(重要文化財 旧日本銀行京都支店)は当館の別館として活用されている。

本展覧会では、平安博物館でかつて展示された貴重な資料の数々や研究成果を回顧するとともに、その設立・運営にあたった古代学協会の歴史と最新の活動、さらに同協会を率いた角田文衛の没後10年にあたり氏の仕事などを紹介した。

【展覧会の構成と主な出品作品】

1. 土地の由来

平安博物館の所在する場所の歴史を縄文時代から明治時代まで紹介。

平安博物館界隈の発掘出土品 縄文～江戸時代 当館蔵
日本銀行京都支店の建材資料 明治時代 当館蔵 ほか

2. 平安博物館の設立へ

古代学協会の創設から平安博物館の設立前までの歴史を紹介。

財団法人古代学協会設立趣意書 昭和31年(1956)
古代学協会蔵

平安博物館設立趣意書 昭和42年(1967) 古代学協

会蔵

京都府登録博物館登録関係資料 昭和43年(1968)
古代学協会蔵 ほか

3. 平安博物館の開館

平安博物館の内容・構成を当時の展示品類を用いて紹介。

第1室 始原時代

ヨーロッパ・アフリカの旧石器 旧石器時代 古代学協会蔵(当館寄託)

縄文土器 青森県石亀貝塚・茨城県福田貝塚出土
縄文時代 当館蔵

弥生土器 京都市長刀鉾町遺跡出土 弥生時代 当館蔵 ほか

第2室 遷都前の山城



「平安博物館回顧展 —古代学協会と角田文衛の仕事—」ちらし

平尾城山古墳出土遺物(石釧・鉄製品・土師器) 古墳時代 当館蔵

骨壺 宇治市木幡出土 奈良時代 古代学協会蔵(当館寄託) ほか

第3室 平安の都

平安京跡出土の瓦 平安時代 当館蔵

平安城左右京職九条坊保図 伊藤東涯筆 江戸時代 古代学協会蔵(当館寄託)

伴大納言絵詞上巻複製 昭和46年(1971) 株式会社便利堂蔵 ほか

清涼殿

清涼殿現寸模型設計関係資料 昭和時代 当館蔵

大内裏図考証 江戸時代 古代学協会蔵(当館寄託) ほか

第4室 平安文学と生活

七条令解 平安時代 古代学協会蔵(当館寄託)

近江國大國郷墾田売券 平安時代 古代学協会蔵(当館寄託)

天徳四年内裏歌合想定図 三橋節子・佐々木和子画 昭和時代 当館蔵 ほか

第5室 紫女の部屋

源氏物語 大島本 重要文化財 室町時代 古代学協会蔵(当館寄託)

紫式部日記絵巻断簡 南北朝時代 古代学協会蔵(当館寄託) ほか

4. 角田文衛の仕事

古代学協会を率いた角田文衛氏ゆかりの品々を紹介。
研究ノート(待賢門院・建春門院) 昭和時代 古代学協会蔵

能勢丑三作マコ 昭和時代 個人蔵

愛用品(帽子、眼鏡、カメラ他) 昭和時代 個人蔵 ほか

5. 古代学協会の活動

古代学協会の多様な活動と所蔵品を紹介。

勅旨所牒 平安時代 古代学協会蔵(当館寄託)

明月記断簡 鎌倉時代 古代学協会蔵(当館寄託)

エジプト アコリス遺跡出土品 コプト時代(4~7世紀) 古代学協会蔵 ほか

【出品作品数】 97点

【関連行事】

〔1〕記念シンポジウム 世界の博物館史と平安博物館

—ICOM(国際博物館会議)京都2019を見据えて—
日時：8月12日(日)午後1時30分~4時

場所：別館ホール

基調講演講師：隴谷寿氏(同志社女子大学名誉教授)・山田邦和氏(同志社女子大学教授)

パネルディスカッション・パネリスト：隴谷寿氏・山田邦和氏・渡邊淳子氏(ICOM京都大会準備室)・古藤真平氏(古代学協会)・村野正景・長村祥知(当館学芸員)

担当：村野正景、長村祥知

参加者数：87名

〔2〕別館(重要文化財 旧日本銀行京都支店)見学ツアー

日時：8月2日(木)、8月18日(土)

各日とも午前10時30分~11時30分(1回目)、
午後1時30分~2時30分(2回目)

場所：別館内

担当：村野正景

参加者数：それぞれ11名、13名、17名、17名

〔3〕ギャラリートーク

日時：7月11日(水)、7月25日(水)、8月8日(水)、
8月22日(水)、9月5日(水)午後3時~
(30分程度)

場所：3階展示室内

担当：古藤真平氏、村野正景、長村祥知

参加者数：それぞれ41名、40名、26名、18名、18名



「平安博物館回顧展 —古代学協会と角田文衛の仕事—」
展示風景

◆ いずれも、場所：別館2階講義室 参加費：500円
(希望者向けに、午後3時30分から展示室にて
ギャラリートークを実施)

① 石元泰博と桂離宮

日時：2018年6月16日(土)午後1時30分～3時

講師：植田憲司 参加者数：26名

概要：戦後、日本の写真界に大きな影響を与えた写真家・石元泰博(1921-2012)は、1953年から54年にかけて桂離宮を撮影した。簡素でありながらも細部まで創意が凝らされた桂離宮の美を、バウハウス流のモダニズムの視点で石元は鋭く捉えた。本講座では、石元がシカゴのニューバウハウスで受けた教育や、当時の文化・社会状況や撮影の経緯に触れながら、石元が桂離宮へ向けた眼差しを、作品と石元自身の言葉を紹介しながら、解説を行なった。

② 後藤勘兵衛家の軌跡

日時：2018年9月2日(日)午後1時30分～3時

講師：西山剛 参加者数：22名

概要：祐乗を始祖として成立した後藤家がいかなる経過を経て、勘兵衛家を分出させたのか。また家業であった金工の分野でいかなる特徴をもった工芸品を生成し、それはどのような形で受容されたのか、あるいは交流のあった小堀遠州や加藤清正と交わされた文書からはどのような間柄がうかがわれるか等展示会で取り上げたテーマを一点一点の資料を解釈しながら掘り下げた。

③ 日本の宝を守る—近代社会と文化財保護

日時：2019年2月2日(土)午後1時30分～3時

講師：森道彦 参加者数：13名

概要：「古社寺保存法の時代」展で紹介した近代の日本社会と、そこで起こった文化財保護意識の高まりや問題点、そのルーツとなる古来の日本における文物の保護意識について幅広く取り上げた。

④ 小牧源太郎とその時代

日時：2019年2月10日(土)午後1時30分～3時

講師：清水智世 参加者数：18名

概要：小牧源太郎(1906-1989)は、戦前のシュルレアリスム絵画でよく知られた画家である。小牧の没後30年にあたる2019年に総合展示「小牧源太郎展」を開催し、個性豊かな存在感を示す画業の一端を紹介した。本講座では、展示では紹介しきれなかった小牧の作品世界を、その時代背景を通して読み解くことで、その意義と可能性について考察した。

Ⅲ-2 特別展示

Ⅲ-2 特別展示

① 色彩の画家 オットー・ネーベル展 シャガール、カンディンスキー、クレーとともに

会 期：2018年4月28日(土)～6月24日(日)
[50日/58日]
休館日：月曜日(ただし4月30日(月)、5月1日(火)
は開館)
会 場：4階・3階展示室
入場料：一般1,500円(1,300円) / 大高生1,000円
(800円) / 中小生600円(400円)
*()内は前売券、及び20名以上の団体料金
主 催：京都府、京都文化博物館、産経新聞社、
関西テレビ放送
後 援：スイス大使館、大阪・神戸ドイツ連邦共和国
総領事館、公益社団法人京都府観光連盟、公
益社団法人京都市観光協会、KBS京都、エフ
エム京都
協 力：スイス インターナショナル エアラインズ、
ヤマトロジスティクス株式会社
企画協力：オットー・ネーベル財団
担当者：植田彩芳子、清水智世
入場者：25,430人(1日平均 498人)

【概要】

スイス、ドイツで活動した画家オットー・ネーベル(1892-1973)。1920年代半ばにワイマールに滞在したネーベルは、バウハウスでカンディンスキーやクレーと出会い、大いなる刺激を受けながら長きにわたる友情を育んだ。とりわけネーベルの芸術にいち早く理解を示したカンディンスキーの尽力により、ネーベルの作品はニューヨークのグッゲンハイム財団に購入されるという栄誉を得ている。一方、1933年にヒトラーがドイツの首相に就任すると、ナチス政府により彼らの芸術は「退廃芸術」として弾圧、ネーベルとクレーはともにドイツを離れることを余儀なくされ、スイスのベルンに移り住む。この地でクレーが1940年に亡くなるまで、2人はお互いの家を行き来しながら親しく交流を続けた。

このたびベルンのオットー・ネーベル財団の全面的な協力を得て開催された、日本初の回顧展となる本展では、建築、演劇、音楽、抽象、中東など彼が手がけた主要なテーマに沿って、クレーやカンディンスキー、

シャガールなどネーベルが影響を受けた同時代の画家たちの作品も併せて紹介していくことで、ネーベルが様々な画風を実験的に取り入れながら独自の様式を確立していく過程に迫った。バウハウス開校100周年(2019年)を前に、若き日のバウハウス体験に始まり、素材やマチエールを追求し続けた画家ネーベルの知られざる画業を紹介した。

【展覧会の構成】

プロローグ オットー・ネーベル―「シュトゥルム」と「バウハウス」時代の芸術家、その抽象画への道のり

1. 初期作品
2. 建築的景観
3. 大聖堂とカテドラル
4. イタリアの色彩
5. 千の眺めの町 ムサルターヤ
6. 「音楽的」作品
7. 抽象/非対称
8. ルーン文字の言葉と絵画
9. 近東シリーズ
10. 演劇と仮面
11. リノカットとコラージュ―ネーベルの技法の多様性

【主な出品作品】

オットー・ネーベル《避難民》1935年、オットー・ネーベル財団

オットー・ネーベル『イタリアのカラーアトラス(色彩地図帳)』1931年、オットー・ネーベル財団

オットー・ネーベル《輝く黄色の出来事》1937年、オットー・ネーベル財団

マルク・シャガール《私と村》1923-24年頃、ポーラ美術館

ワシリー・カンディンスキー《ゆるやかな変奏曲》1941年、公益財団法人吉野石膏美術振興財団(山形美術館寄託)

パウル・クレー《ホルンの出番》1939年、パウル・クレー・センター、リヴィア・クレー寄贈

【出品作品数】

142点

【関連行事】

〔1〕 記念講演会「知られざる画家 オットー・ネーベル」
日時：4月28日(土)午前10時30分～正午
場所：本館3階フィルムシアター
講師：廣川暁生氏(Bunkamura ザ・ミュージアム
主任学芸員)

参加費：無料(ただし、本展覧会入場券[半券可]が必要)
参加者数：95名

〔2〕 クロマチックハーモニカ コンサート
日時：6月2日(土) ①午前11時～②午後1時30分～
場所：別館ホール
演奏者：岡直弥氏(ハーモニカ奏者)

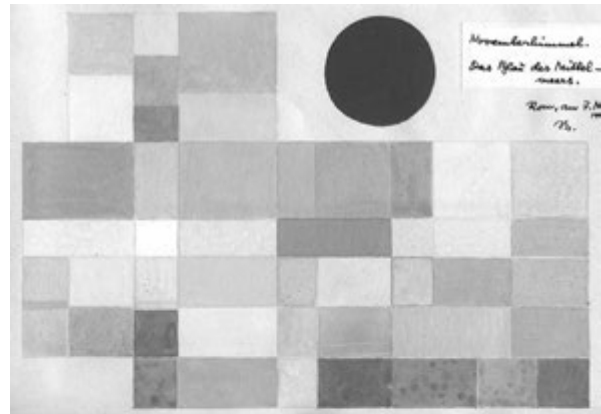
参加費：無料(ただし、本展覧会入場券[半券可]が必要)
参加者数：① 80名 ② 153名

〔3〕 親子で楽しむカラーアトラス
日時：5月3日(木・祝)～6日(日)
場所：3階やすらぎコーナー(展示室内)
内容：親子でカラーアトラスの塗り絵を体験する

〔4〕 ナイトミュージアム
じっくり貸切&おしゃべり鑑賞会
日時：5月12日(土)午後6時15分～8時30分、
6月11日(月)午後2時～4時
場所：4階・3階展示室内
参加費：1,800円(イープラスのみで販売)
内容：ブックカフェ「6次元」店主/アートディレクター、
ナカムラクニオ氏によるギャラリートーク
参加者数：それぞれ58名、35名

〔5〕 ミュージアム・アクセス・ビュー
日時：5月13日(日)午後1時～4時30分
場所：4階・3階展示室内
内容：見えない人/見えにくい人との「言葉」を
使った鑑賞ツアー
参加者数：16名

〔6〕 学芸員によるギャラリートーク
日時：5月11日(金)、6月1日(金)
午後6時～(30分程度)
場所：4階・3階展示室内
担当：植田彩芳子
参加者数：それぞれ42名、24名



京都文化博物館開館30周年 京都市美術館開館85周年 関西テレビ放送開局60周年記念
色彩の画家 一新新らしき抽象画一挙公開！
シャガール
カンディンスキー
クレーとともに

オットー・ ネーベル展

OTTO NEBEL AND HIS
CONTEMPORARIES
— CRODILL, MANDUSKY, BLEG

2018年4月28日(土)～6月24日(日)

【観覧時間】午前10時～午後6時(最終日は午後7時30分まで) (入館は観覧時間前)
【休館日】月曜日(祝日、4/29、4/30、5/1は休館)
【主催】京都府、京都文化博物館、朝日新聞社、A B C
テレビ、ローソンチケット、講談社
【企画協力】松屋
【担当】森脇清隆、植田憲司
【入場者】29,505人(1日平均 461人)

「色彩の画家 オットー・ネーベル展 シャガール、
カンディンスキー、クレーとともに」をちらし

② 西尾維新大辞展～京都篇～

会 期：2018年7月7日(土)～9月17日(日)
[64日/72日]
休館日：月曜日(ただし7月16日(月・祝)、
7月17日(火)、9月17日(月・祝)は開館)
会 場：4階展示室
入場料：一般・大学生1,400円(1,100円)/高校生700
円(600円)/中学生500円(400円)/グッズ
引換券付入場券2,300円、音声ガイド引換券

付入場券2,100円、グッズ+音声ガイド引換券
付入場券3,000円
*()内は前売券、及び20名以上の団体料金
主 催：京都府、京都文化博物館、朝日新聞社、A B C
テレビ、ローソンチケット、講談社
企画協力：松屋
担当者：森脇清隆、植田憲司
入場者：29,505人(1日平均 461人)

【概要】

「京都の二十歳、西尾維新」、立命館大学在学中に講談社主催の小説新人賞メフィスト賞を受賞、「クビキリサイクル」でデビュー。軽快なアナグラムがリズムカルに文体に盛り込まれ、独自の西尾ワールドに引きずり込む文体は若者を中心に読者の支持を集め、著作部数は累計1,500万部を突破、講談社のトップ作家として活字文化をリードする。

そして、アニメ、マンガ、TVドラマ、音楽等々、現代の若者文化を創造する作家達が彼の小説に刺激されて、「戯言シリーズ」「<物語>シリーズ」「忘却探偵シリーズ」などを原作にしたTVアニメ、漫画、実写ドラマなどが誕生、彼の創作性は広く現代文化に影響を与えている。純文学と娯楽文学の狭間で弾ける西尾維新ワールドの魅力をインタラクティブ手法やメディア・アート手法を導入した展示を導入し、ビジュアル演出を凝らした展示で紹介する。

【展示会の構成と主な出品作品】

作品に登場する数々の名文や、装画・アニメーションを展示。さらに初公開となる「書き下ろし小説」や、小説世界を五感で味わえる「体感型展示」など、様々なコーナーを予定。その他、西尾維新に夜脚本を豪華声優陣がナレーションするキャラクター音声ガイド、展示会オリジナルグッズなど、西尾維新作品の魅力が詰まった「最広」の展示で構成。

【出品作品数】

209点

【関連行事】

〔1〕「クビキリサイクル キャストトークイベント」

日時：7月22日(日)

場所：本館3階フィルムシアター

講師：梶裕貴氏(声優)、悠木碧氏(声優)

参加費：無料(ただし、本展示会入場券[半券可]が必要)

参加者数：209名

〔2〕「<物語>シリーズ ファイヤーシスターズ トークイベント」

日時：7月29日(日)

場所：本館3階フィルムシアター

講師：喜多村英梨氏(声優)、井口裕香氏(声優)、石川達也氏(アニプレックス・プロデューサー)、相川和也氏(アニプレックス・プロデューサー)

参加費：無料(ただし、本展示会入場券[半券可]が必要)

参加者数：217名

〔3〕「西尾維新作品の音を紡ぐ

～アーティスト・トークイベント～

日時：8月19日(日)

場所：別館ホール

講師：神前暁氏(音楽家)、meg rock氏(アーティスト)、クラムボン・ミト氏(音楽家)、山内真治氏(音楽プロデューサー)

参加費：無料(ただし、本展示会入場券[半券可]が必要)

参加者数：200名

〔4〕「西尾維新大辞展を造る

～ライツ担当者の仕事、企画担当の仕事～

日時：9月1日(土)

場所：別館2階講義室

講師：石綿春也氏(講談社 ライツ・メディアビジネス局 ライツ企画部)、白石晴久氏(松屋銀座本店 コンテンツ事業部担当部長)、森脇清隆(京都文化博物館主任学芸員)

参加費：無料(ただし、本展示会入場券[半券可]が必要)

参加者数：65名



「西尾維新大辞展～京都篇～」ちらし

③ 華ひらく皇室文化—明治宮廷を彩る技と美

会 期：2018年10月2日(火)～11月25日(日)

[49日/55日]

休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階・3階展示室

入場料：一般1,400円(1200円) / 大高生1,000円
(800円) 中小生500円(300円)

* ()内は前売券、及び20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、毎日新聞社、MBS、
京都新聞

後 援：公益社団法人京都府観光連盟、公益社団法人
京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都

企 画：華ひらく皇室文化展実行委員会

協 賛：京都美術工芸大学、大和ハウス工業、JR西日本

協力：学校法人学習院、一般社団法人常盤会

担当者：畑智子

入場者：45,749人(1日平均 933人)

【概要】

本展は平成30年が明治改元から150年に当たることから「明治150年記念」事業として、また同時に京都文化博物館が開館して30年目にあたるためその記念事業として開催。明治宮廷前史として幕末から政治の舞台となった京都における天皇と皇室の波乱に満ちた時代から始まる。1869(明治2)年、明治天皇が東京へ移り、天皇を中心とした近代国家の建設が進められるが、欧米と並ぶ文明国家を目指す明治政府は欧米諸国との融和を図るため鹿鳴館や明治宮殿で外国使臣をもてなすなど欧化政策をとる。一方で、江戸時代から続く日本独自の優れた美術・工芸を世界に発信するため、帝室技芸員制度をつくり、美術家・工芸家の保護、育成にも努めた。京都から多くを排出した帝室技芸員の貴重な作品を展示した。

天皇の御退位と新天皇の即位も1年以内に行われることから、皇室にかかる一般の人々の興味も比較的高くなっており、入館者は4万5千人を超える盛況を博しました。今回は、名古屋・徳川美術館、秋田・秋田市立千秋美術館、東京・泉屋博古館別館と当館の4会場を巡回する展覧会でしたが、各会場それぞれ展示作品を選んで展示することとなった。京都会場では特に幕末からの京都の歴史にも力を注ぎ、その例えば戊辰の役前夜の御所前の様子を描いた新発見の絵画「戊辰之役之図」(個人蔵)や岩倉具視が孝明天皇から下賜された脇差(京都市歴史資料館蔵、重要文化財)など京

都の歴史において重要な作品を多数展示することができた。さらに彬子女王殿下にも別館において特別にご講演をいただき、多くの聴衆で賑わった。

【展覧会の構成】

第一章プロローグ「明治宮廷前史」

第二章「明治宮廷の胎動」

第三章「鹿鳴館の時代と明治宮殿」

第四章「明治宮廷を彩る技と美」

第五章エピローグ「明治の終わりりと大正の息吹き」

【主な出品作品】

通常礼服 昭憲皇太后着用(曇華院門跡蔵)、菊御紋蝶松唐草文七宝花瓶(泉涌寺蔵)、明治宮殿天井画下絵 柴田是真筆(東京藝術大学蔵)、東宮御所家具(明治村蔵)

【出品作品数】

140点



「華ひらく皇室文化—明治宮廷を彩る技と美」ちらし

【関連行事】

〔1〕特別講演会「昔語りは珠匣のごとく一平成に 伝えられる明治の皇室文化」

日時：10月16日(火)午後2時～3時30分
場所：別館ホール
講師：彬子女王殿下
参加費：1,400円(ローソンチケットによる販売のみ)
参加者数：200人

〔2〕講演会「岩倉具視と幕末の朝廷」

日時：2018年10月13日(土)午前10時30分～正午
場所：本館3階フィルムシアター
講師：松中博氏(京都市歴史資料館研究員)
参加費：無料(ただし本展覧会入場券が必要)
参加者数：80人

〔3〕講演会「明治期京都の七宝―産業と美術工芸の狭間」

日時：10月27日(土)午前10時30分～正午
場所：本館3階フィルムシアター
講師：畑智子
参加費：無料(ただし本展覧会入場券が必要)
参加者数：60人

〔4〕講演会「皇室技芸員―その成立と役割」

日時：11月17日(土)午前10時30分～正午
場所：本館3階フィルムシアター
講師：塩谷純氏(東京文化財研究所文化財情報資料部)
参加費：無料(ただし本展覧会入場券が必要)
参加者数：57人

〔5〕音楽会「明治の西洋音楽と皇室」

日時：2018年10月20日(日)午後2時～3時30分
場所：別館ホール
出演者：ソプラノ・東麻子、宇田川泰子 ピアノ・
藤井いづみ 女声合唱団「ミルテンクラン
ツ」(指揮・成毛敦)
参加費：無料(ただし本展覧会入場券が必要)
参加者数：190人

〔6〕学芸員によるギャラリートーク

日時：10月19日(金)、11月2日(金)
午後6時～(30分程度)
場所：4階・3階展示室内
担当：畑智子
参加者数：それぞれ38名、28名

④ 北野天満宮 信仰と名宝 ―天神さんの源流―

会 期：2019年2月23日(土)～4月14日(日)

[44日/51日]

休館日：月曜日

会 場：4階・3階展示室

入場料：一般1400円(1200円)/大高生1100円
(900円)/中小生500円(300円)

*()内は前売り券および団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、京都新聞、
日本経済新聞社、朝日放送テレビ

後 援：(公社)京都府観光連盟、(公社)京都市観光協
会、KBS京都、エフエム京都

担当者：西山剛、森道彦

入場者：32,792人(1日平均 745.3人)

【概要】

平安時代の政治家・漢学者・漢詩人・歌人であった菅原道真公は、死後、天満大自在天神として崇められて信仰が広まり、現在に至るまで「天神さん」「天神さま」として親しまれている。全国で1万数千社の天神社(道真公を祀る神社)が存在するが、京都の北野天満宮は

総本社として知られている。

天神信仰に関する展覧会はこれまでも行われてきたが、北野天満宮それ自体を取り上げたものは多くない。北野天満宮が培った長い歴史は、人々の崇敬の歴史といえ、時代ごとのさまざまな願いを反映し、北野天満宮には複雑・多様な信仰世界が構築された。

本展覧会では、北野天満宮が所蔵する神宝を中心に、ゆかりある美術工芸品、歴史資料を一堂に集め、そこから浮かび上がる神社とその信仰のあり方を展観した。

【展覧会の構成と主な出品作品】

序 章 「北野」の空間

第1章 菅原道真 人として

第2章 天満宮創建 北野天神縁起絵巻のひろがり

第3章 神仏習合の聖地

第4章 室町時代の北野天満宮

第5章 祭礼と神事

第6章 天満宮改造 豊臣家と北野天満宮

第7章 神と結ぶ

エピローグ

【主な出品作品】

国宝 北野天神縁起絵巻(承久本) 北野天満宮蔵
重文 北野天神縁起(弘安本) 北野天満宮蔵
重文 北野天神縁起絵巻(光信本) 北野天満宮蔵
重文 北野経王堂一切経 大報恩寺蔵
重文 北野西京神人文書 北野天満宮蔵
重文 太刀 銘安綱 号鬼切(別名 髭切) 北野天満宮蔵
霊元天皇宸翰 紺紙金字般若心経 北野天満宮蔵
松竹梅蒔絵文台・硯箱 北野天満宮蔵

【出品作品数】

106件

【関連行事】

〔1〕特別講座「北野天満宮 信仰と名宝展に寄せて」

日時：2月23日(土)午前10時30分～正午
場所：本館3階フィルムシアター
講師：橘重十九氏(北野天満宮 宮司)、
松原史氏(北野文化研究所室長)
参加費：無料(ただし本展覧会入場券が必要)
参加者数：120名

〔2〕講演会「北野天満宮のアーカイブス」

日時：3月23日(土)午前10時30分～正午
場所：本館3階フィルムシアター
講師：藤井讓治氏(京都大学名誉教授)
参加費：無料(ただし本展覧会入場券が必要)
参加者数：110名

〔3〕シンポジウム 北野天満宮の歴史と信仰

日時：4月2日(火)午後1時30分～4時30分
場所：別館ホール
登壇者：竹居明男氏(同志社大学名誉教授)、菅野
扶美氏(共立女子短期大学)、佐々木創氏(京都造形
芸術大学)
参加費：無料(ただし本展覧会入場券が必要)
参加者数：155名

〔4〕天正・昭和 ふたつの大茶湯—茶道史

日時：3月30日(土)①午後1時30分～3時30分
②午後2時30分～4時30分
場所：本館6階ギャラリー
講師：太田 宗達氏
参加費：1,000円(生菓子・呈茶付)
参加者数：74名

〔5〕水墨画ワークショップ 天神様を描こう

日時：3月10日(日)午前10時30分～正午
場所：3階やすらぎコーナー(展示室内)
講師：村田隆志氏(大阪国際大学准教授)
参加費：無料(ただし本展覧会入場券が必要)
参加者数：15名

〔6〕歴史散策 北野を歩く

日時：3月2日(土)午後1時30分～3時
場所：北野天満宮界わい各所
講師：西山剛、森道彦
参加費：無料(ただし本展覧会入場券が必要)
参加者数：40名

〔7〕関連講座「北野天満宮 神宝が語る千百年史」

日時：3月24日(日)午前10時30分～正午
場所：本館3階フィルムシアター
講師：西山剛
参加費：無料(ただし本展覧会入場券が必要)
参加者数：40名

〔8〕学芸員によるギャラリートーク

日時：3月1日(金)、3月8日(金)、3月15日(金)、
3月22日(金)、3月29日(金)
午後6時～(30分程度)
場所：4階・3階展示室内
担当：西山剛、森道彦
参加者数：それぞれ60名、38名、95名、65名、44名



「北野天満宮 信仰と名宝—天神さんの源流—」ちらし

⑤ Kyoto Art for Tomorrow 2019—京都府新鋭選抜展—

会 期：2019年1月19日(土)～2月3日(日)
[14日／16日]

休館日：月曜日(ただし祝日は開館、翌日休館)

会 場：3階展示室、別館ホール

入場料：3階展示室…一般500円(400円)／大高生
400円(320円)／高校生以下無料、
別館ホール…無料

* ()内は20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館

後 援：京都新聞、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都
支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総
局、日本経済新聞社京都支社、NHK京都放
送局、KBS京都、エフエム京都、京都商工会
議所、京都日本画家協会、京都工芸美術作家
協会、アンスティチュ・フランセ関西、ゲー
テ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川

担当者：植田彩芳子

入場者：45,266人(1日平均 3,233人)

【概要】

本展は、京都を中心に活動する新進若手作家を紹介し、その創造的な作品を京都から積極的に発信しようとする企画である。また別館ホールでは京都で学び、国際的に活躍する美術家、藤浩志氏による特別出品作「ジュラ紀から受け継ぐ」を特別展示した。

【出品作家】

安藤隆一郎、井上裕加里、今西真也、彌永ゆり子、入澤あづさ、岩井晴香、上田良、江川恵、大八木夏生、岸雪絵、北川安希子、金サジ、清田泰寛、楠本孝美、葛本康彰、國政サトシ、久保木要、黒川岳、後藤吉晃、西條茜、阪本結、笹岡由梨子、城愛音、大東真也、高崎洋祐、柞磨祥子、弦川悠、中平美紗子、中村潤、丹羽優太、橋本知成、林葵衣、蛭田美保子、福田真知、三橋卓、迎英里子、村田彩、むらたちひろ、森岡真央、八木佑介、矢野洋輔、山羽春季、吉田潤、吉田桃子、若林亮

【特別出品作家】

藤浩志 「ジュラ紀から受け継ぐ」

1960年鹿児島生まれ。奄美大島出身の両親の影響で大島紬周辺で遊ぶ。京都市立芸術大学在学中演劇に没頭した後、地域をフィールドとした表現を模索。同大学院修了後パプアニューギニア国立芸術学校に勤務し原初的表現と文化人類学に出会う。バブル崩壊期の再開発業者・都市計画事務所勤務を経て土地と都市を学ぶ。「地域資源・適性技術・協力関係」を活用した美術表現を志向し、全国各地でプロジェクトを試みる。取り壊された家の柱素材の「101匹のヤセ犬の散歩」。一ヶ月分の給料からの「お米のカエル物語」。家庭廃材を利用した「Vinyl Plastics Connection」「Kaekko」「Polyplanet Company」「Jurassic Plastic」。架空のキーパーソンをつくる「藤島八十郎」等。NPO法人プラスアーツ副理事長。十和田市現代美術館館長を経て秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科・アーツ&ルーツ専攻教授・副学長、NPO法人アーツセンターあきた理事長。

【出品作品数】

45点、特別出品作1点



「京都府新鋭選抜展2019—Kyoto Art for Tomorrow—」ちらし

【関連行事】

〔1〕特別出品作家によるアーティストトーク

日時：1月19日(土)午前10時30分～正午

場所：本館3階フィルムシアター

講師：藤浩志氏(特別出品作家)

参加者数：95名

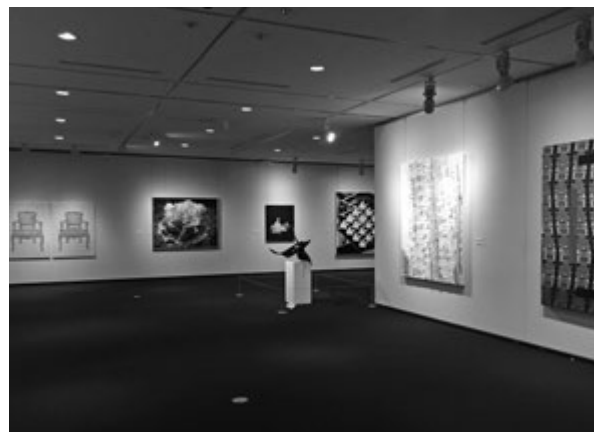
〔2〕出品作家によるギャラリートーク

日時：1月26日(土)、2月3日(日)

午後2時～3時

場所：3階展示室内

参加者数：それぞれ60名、78名



「Kyoto Art for Tomorrow2019—京都府新鋭選抜展—」会場風景

*2018(平成30)年度特別展一覧

展覧会名	会期	日数	入場者数	一日平均
ターナー風景の詩	2018.4.1(2.17)～4.15	13	27,828	2,141
		(50)	(83,012)	
色彩の画家 オットー・ネーベル展	2018.4.28～6.24	51	25,430	499
西尾維新展	2018.7.7～9.17	64	29,505	461
華ひらく皇室文化展	2018.10.2～11.25	49	45,749	934
Kyoto Art for Tomorrow 2019 —京都府新鋭選抜展—	2019.1.19～2.3	14	45,266	3,233
北野天満宮 信仰と名宝	2019.2.23～3.31(4.14)	32	22,214	694
		(44)	32,792	
計5件		223	195,992	879

※()内は、展覧会の会期全部の日数及び入場者数

*2018(平成30)年度特別展関連イベント一覧

開催日時	展覧会名	関連行事	講師・所属等 その他
2018.4.28	色彩の画家 オットー・ネーベル展 シャガール、カンディンスキー、クレーとともに	記念講演会「知られざる画家 オットー・ネーベル」	廣川暁生氏 (Bunkamuraザ・ミュージアム主任学芸員)
5.3～6	色彩の画家 オットー・ネーベル展 シャガール、カンディンスキー、クレーとともに	親子で楽しむカラーアトラス	なし
5.11	色彩の画家 オットー・ネーベル展 シャガール、カンディンスキー、クレーとともに	ギャラリートーク	植田彩芳子(当館学芸員)
5.12	色彩の画家 オットー・ネーベル展 シャガール、カンディンスキー、クレーとともに	ナイトミュージアム じっくり貸切&おしゃべり鑑賞会	ナカムラクニオ氏(ブックカフェ「6次元」 店主/アートディレクター)
5.13	色彩の画家 オットー・ネーベル展 シャガール、カンディンスキー、クレーとともに	ミュージアム・アクセス・ビュー	見えない人/見えにくい人との「言葉」を 使った観賞ツアー
6.1	色彩の画家 オットー・ネーベル展 シャガール、カンディンスキー、クレーとともに	ギャラリートーク	植田彩芳子(当館学芸員)
6.2	色彩の画家 オットー・ネーベル展 シャガール、カンディンスキー、クレーとともに	クロマチックハーモニカ コンサート	岡直弥氏(ハーモニカ奏者)

7.22	西尾維新大辞展～京都篇～	クビキリサイクル キャストトークイベント	梶裕貴氏(声優)、悠木碧氏(声優)
7.29	西尾維新大辞展～京都篇～	〈物語〉シリーズ ファイヤーシスターズ トークイベント	喜多村英梨氏(声優)、井口裕香氏(声優)、 石川達也(アニプレックス・プロデュー サー)、相川和也(アニプレックス・プロ デューサー)
8.19	西尾維新大辞展～京都篇～	西尾維新作品の音を紡ぐーアーティスト・ トークイベントー	講師：神前暁氏(音楽家)、meg rock氏(アー ティスト)、クラムボン・ミト氏(音楽家)、 山内真治氏(音楽プロデューサー)
9.1	西尾維新大辞展～京都篇～	講演会「西尾維新大辞展を造る ～ライツ担当者の仕事、企画担当の仕事」	出演：石綿春也氏(講談社 ライツ・メディ アビジネス局 ライツ企画部) 白石晴久氏 (松屋銀座本店 コンテンツ事業部担当部長) 進行：森脇清隆(京都文化博物館学芸員)
10.13	華ひらく皇室文化 明治150年記念 明治宮廷を彩る技と美	連続講演会「岩倉具視と幕末の朝廷」	松中博氏(京都市歴史資料館研究員)
10.19	華ひらく皇室文化 明治150年記念 明治宮廷を彩る技と美	ギャラリートーク	畑智子(当館学芸員)
10.16	華ひらく皇室文化 明治150年記念 明治宮廷を彩る技と美	特別講演会 『昔語りは珠匣(しゆかふ)のごとく ー平成に伝えられる明治の皇室文化ー』	彬子女王殿下
10.20	華ひらく皇室文化 明治150年記念 明治宮廷を彩る技と美	音楽会「明治の西洋音楽と皇室」	ソプラノ 東朝子、宇田川泰子、女声合唱 団「ミルテングランツ」、 指揮：成毛敦、ピアノ：藤井いづみ
10.27	華ひらく皇室文化 明治150年記念 明治宮廷を彩る技と美	連続講演会「明治期京都の七宝ー産業と美 術工芸の狭間」	畑智子(当館学芸員)
11.2	華ひらく皇室文化 明治150年記念 明治宮廷を彩る技と美	ギャラリートーク	畑智子(当館学芸員)
11.17	華ひらく皇室文化 明治150年記念 明治宮廷を彩る技と美	連続講演会 「帝室技芸員ーその成立と役割」	塩谷純氏 (東京文化財研究所文化財情報資料部)
2019.1.19	Kyoto Art for Tomorrow 2019 ー京都府新鋭選抜展ー	特別出品作家によるアーティストトーク	藤浩志氏
1.26	Kyoto Art for Tomorrow 2019 ー京都府新鋭選抜展ー	出品作家によるギャラリー・トーク	出品作家
2.3	Kyoto Art for Tomorrow 2019 ー京都府新鋭選抜展ー	出品作家によるギャラリー・トーク	出品作家
2.23	北野天満宮 信仰と名宝 一天神さんの源流ー	特別講座 「北野天満宮 信仰と名宝」展に寄せて	橘重十九氏(北野天満宮宮司) 松原史氏(北野文化研究所室長)
3.1	北野天満宮 信仰と名宝 一天神さんの源流ー	ギャラリー・トーク	西山剛(当館学芸員)
3.2	北野天満宮 信仰と名宝 一天神さんの源流ー	歴史散策 北野を歩く	西山剛(当館学芸員) 森道彦(当館学芸員)
3.8	北野天満宮 信仰と名宝 一天神さんの源流ー	ギャラリー・トーク	西山剛(当館学芸員)
3.10	北野天満宮 信仰と名宝 一天神さんの源流ー	水墨画ワークショップ 天神様を描こう	村田隆志氏(大阪国際大学准教授)
3.15	北野天満宮 信仰と名宝 一天神さんの源流ー	ギャラリー・トーク	西山剛(当館学芸員)
3.22	北野天満宮 信仰と名宝 一天神さんの源流ー	ギャラリー・トーク	西山剛(当館学芸員)
3.23	北野天満宮 信仰と名宝 一天神さんの源流ー	講演会 北野天満宮のアーカイブズ	藤井譲治氏(京都大学名誉教授)
3.24	北野天満宮 信仰と名宝 一天神さんの源流ー	関連講座 北野天満宮 神宝が語る千百年史	西山剛(当館学芸員)
3.30	北野天満宮 信仰と名宝 一天神さんの源流ー	天正・昭和 ふたつの大茶湯ー茶道史	太田宗達氏 (公益財団法人有斐斎弘道館代表理事)
3.29	北野天満宮 信仰と名宝 一天神さんの源流ー	ギャラリー・トーク	西山剛(当館学芸員)
4.2	北野天満宮 信仰と名宝 一天神さんの源流ー	シンポジウム 北野天満宮の歴史と信仰	竹居明男氏(同志社大学名誉教授) 菅野扶美氏(共立女子短期大学教授) 佐々木創氏(京都造形芸術大学非常勤講師)

Ⅲ-3 映画

1) 常設上映

上映期間	テ ー マ	作 品 名	日数	回数	鑑賞者
2018.4.3~5.6	近代文学と映画2 女流作家篇	泣蟲小僧/稲妻/浮雲/女中ツ子/挽歌/二十四の瞳/たけくらべ/樋口一葉/にぎりえ/流れる/おとうと/華岡青洲の妻/三婆/香華	28	53	3,594
2018.4.18	映画テレビ技術協会京都支部 第70回映像技術賞 上映会とトーク	怒り	1	1	130
2018.4.27~4.29	ヴェネチア国際映画祭が選んだ京都映画講演と上映	羅生門/雨月物語/山椒大夫	3	5	352
2017.5.8~6.1	社会派サスペンス映画劇場	ベン偽らず暴力の街/叛乱/真昼の暗黒/張込み/黒い画集あるサラリーマンの証言/ゼロの焦点/黒の試走車/誇り高き挑戦/白と黒/帝銀事件 死刑囚/証人の椅子	22	42	2,608
2018.5.19	文化庁ndjc若手映画作家育成プロジェクト文博特選上映会	琥珀色のキラキラ/パーマメントランド/もんちゃん/さらば、ダイヤモンド	1	1	96
2018.5.20	壁の向こうのハリウッド-東ドイツ映画の上映と講演	パウロとパウラの伝説	1	1	128
2018.6.2~6.24	EUフィルムフェスティバル2018 映画で旅するヨーロッパ	マッド・メアリー/ふたりの旅路/ラスティ・ボーイズ〜ピバ老後!~/キャストイング/猿/私と同じ顔の、おじさん/ソリスの著者+寄せ集め/鋳夫/もうひとりの私/ヒットマン・インボッソブル/ウィルソン・シティ/キッツ先生の子供たち/湖のものがたり/フェイス・ダウン/ベルヒカ/アイランド/エミリア、自由への闘い/人間の値打ち/神様メール/緑の丘のミステリー/ホース・マネー/ラスト・センテンス:死者への裁き/パジャマを着た男の記憶/世界で一番の幸せ/スワガー/アロイス・ネーベル	20	45	3,998
2018.6.26~7.6	戦前名作記録映画特集	支那事変後方記録 上海/戦ふ兵隊/機関車C-57/或日の干潟/信濃風土記より 小林一茶/或る保姆の記録	8	16	540
2018.6.30~7.1	トルコ映画の誘惑	YOL~路~/ ESKIA~エスキア心の旅路~/ MY FATHER AND MY SON~父と息子~	2	4	293
2018.7.7~8.30	特撮魂! 映画職人の夢と汗	ゴジラ/有馬猫/淡川伴五郎/狂った一頁/鳥人/ハワイ・マレー沖海戦/加藤隼戦闘隊/ノちゃん雲に乗る/美女と怪竜/女と海賊/新諸国物語 笛吹童子/東海道四谷怪談/釈迦/恋や恋なすな恋/砂の女/大魔神/怪談/太平洋奇跡の作戦キスカ	37	74	3,513
2018.7.16、7.17、7.24	祇園祭記念特別上映会	祇園祭	3	6	473
2018.7.22,29	西尾維新大辞典 声優トークイベント	7/22『クビキリサイクル』梶裕貴、悠木碧 7/29『化物語』喜多村英梨、井口裕香	2		
2018.8.2~8.5	第24回京都国際子ども映画祭	わたしたち/泳ぎすぎた夜/ZOO/太陽の王子 ホルスの大冒険/短編アニメーション(4作品)/短編実写映画(4作品)	4	12	1,063
2018.8.25~8.26	第13回映画の復元と保存に関するワークショップ	まわる映写機、めぐる人生の上映とワークショップ	2	1	117
2018.8.31~9.2	日本本映像学会関西支部 第40回夏期映画セミナー 宮川一夫 生誕百年記念特集 京都・世界の宮川一夫	鞍馬天狗 角兵衛獅子の巻/出世太閤記/祇園囃子/次男坊鴉/夜の河/赤線地帯/炎上/弁天小僧/赤胴鈴之助 三つ目の鳥人/おとうと/用心棒/悪名/東京オリンピック/越前竹人形/はなれ瞽女おりん/近松門左衛門 鍵の権三	3	10	486
2018.9.4~10.21	生誕110年記念 映画撮影監督 宮川一夫の世界	出世太閤記/無法松の一生/鴛鴦歌合戦/手をつなぐ子等/羅生門/西陣の姉妹/雨月物語/噂の女/近松物語/次男坊鴉/夜の河/赤線地帯/炎上/弁天小僧/赤胴鈴之助 三つ目の鳥人/おとうと/用心棒/悪名/東京オリンピック/越前竹人形/はなれ瞽女おりん/近松門左衛門 鍵の権三	42	83	4,083
2018.9.17	第35回山中貞雄を偲ぶ会 関連上映	河内山宗俊	1	1	113
2018.10.22~11.25	京都映画三巨匠生誕120年記念 内田吐夢・溝口健二・伊藤大輔	大江戸五人男/素浪人罷通る/浪花の恋の物語/残菊物語/暴れん坊街道/宮本武蔵/祇園の姉妹/歌麿をめぐる五人の女/新平家物語/われ幻の魚を見たり/王将/下郎の首/反逆児	22	44	1,975
2018.10.26~11.4	第10回京都ヒストリカ国際映画祭	バーバリ 伝説誕生/バーバリ 王の凱旋/恋や恋なすな恋/十年 Ten Years Japan/欲望に誘われて/乙女たちの秘めごと/旅芸人/アイスマン/ノベンバー/ Beautiful things /ソード・アーチャー 瞬殺の射法/チョン・ウチ 時空道士/アイアンクラッド/黄山ヶ原/黄金/彷徨える河/妖刀物語・花の吉原百人斬り/殿さま弥次喜多/血槍富士/ひばり・チエミの弥次喜多道中/白馬城の花嫁/折鶴お千/瀧の白糸/幕末剣史 長恨/斬人斬馬剣/警察官/汗/忠次旅日記/ふるさとの歌	9	33	1,763
2018.11.27~12.2	第21回京都国際学生映画祭	プログラムA/プログラムB/プログラムC/プログラムD/Japan Focus特集/二宮健特集上映	6	11	330

2018.12.4～12.27	【明治150年京都創生】京都文化博物館30周年記念事業 映画でみる明治	紅葉狩／金色夜叉／沼津兵学校／姿三四郎／無法松の一生／関東緋桜一家／修羅雪姫／野菊の如き君なりき／たけくらべ／にごりえ／春琴物語／折鶴お千／二百三高地／敵中横断三百里／みだれ髪／残菊物語／序の舞／吉原炎上／日本海大海戦／海難1890／花火の街	20	40	2,369
2018.12.22	溝口健二生誕120年記念シンポジウム『近松物語』における伝統と革新	近松物語の上映と講演(2回)／シンポジウム	1	1	123
2019.1.4～1.10	京の匠を記録する一伝統産業記録映画特集	截金／古典雅楽器／京の和紙／金銀糸／京人形	6	12	190
2019.1.11～1.31	食べてる映画-映画での食の役割	東京の合唱／隣の八重ちゃん／花籠の歌／破れ太鼓／めし／麦秋／夫婦善哉／檜山節考／女が階段を上る時	18	36	1,735
2019.2.1～2.28	【没後30年記念特集】作曲家・芥川也寸志の映画音楽世界	煙突の見える場所／大阪の宿／たけくらべ／挽歌／たそがれ酒場／ともしび／裸の太陽／猫と庄造と二人のをんな／暗夜行路／野火／ぼんち／黒い十人の女／ゼロの焦点／破戒	23	45	2,863
2019.2.13	文化庁ndjc若手映画作家育成プロジェクト 2018年度 合評上映会	くもり ときどき 晴れ／はずれ家族のサーヤ／最後の審判／サヨナラ家族／うちうちの面達(つらたち)は。	1	1	54
2019.2.22	日本映画テレビ技術協会京都支部 受賞作品を見る会	関ヶ原の上映と講演	1	1	178
2019.3.1～3.31	【明治150年京都創生】幕末から明治へ 映画にみる創生の明治への道	夜明け前／ええじゃないか／ジャズ大名／その前夜／花ちりぬ／螢火／燃えよ剣／御法度／隠し剣 鬼の爪／暗殺／竜馬暗殺／新撰組始末記／春琴抄 お琴と佐助／狼よ落日を斬れ／武士の家計簿／江戸最後の日／維新の曲／柘榴坂の仇討／鞍馬天狗 黄金地獄／婦系図 湯島の白梅／巨人 大隈重信／雁(1953)／雁(1966)／こころ／日本橋／明治一代女	26	52	4,334
2019.3.16	京都府内の学校所蔵 考古・歴史資料展2関連上映	北白川こども風土記	1	1	45

2) 特別企画・共催事業

III-3 映画 ▶ 2) 特別企画・共催事業

① 2018年度共催上映等の実績

◆ ヴェネチア国際映画祭が選んだ京都映画 – 講演と上映

〔期間〕2018年4月27日～4月29日

〔共催〕イタリア文化会館-大阪

〔会場〕本館3Fフィルムシアター

〔内容〕『羅生門』『雨月物語』『山椒大夫』の上映と、アルベルト・バルベラ氏(ベネチア国際映画祭ディレクター)による講演。

〔鑑賞者数〕352人(117人／1日)

〔内容〕『パウルとパウラの伝説』の上映と、ミルコ・ヴィアマン氏(DEFA財団)による講演

〔鑑賞者数〕128人(128人／1日)

◆ 文化庁ndjc若手映画作家育成プロジェクト

文博特選上映会

〔期間〕2018年5月19日

〔共催〕特定非営利活動法人映像産業振興機構

〔会場〕本館3Fフィルムシアター

〔内容〕『琥珀色のキラキラ』『パーマネントランド』『もんちゃん』『さらば、ダイヤモンド』の上映。

〔鑑賞者数〕96人(96人／1日)

◆ EUフィルムデーズ2018in京都

〔期間〕2018年6月2日～6月24日

〔共催〕欧州連合代表部、欧州連合加盟国大使館・文化機関

〔会場〕本館3Fフィルムシアター

〔内容〕EU代表部が加盟各国から集めた映画作品、『マッド・メアリー』『ふたりの旅路』『ラスティ・ボーイズ〜ビバ老後!〜』『キャスティング』等26作品の上映と、アンドレス・マイミック氏(『私と同じ顔の、おじさん』監督)、ボリス・ランコシュ氏(『ソラリスの著者』監督)、カメン・カーレフ氏(『フェイス・ダウン』監督)によるトーク。

〔鑑賞者数〕3,998人(200人／1日)

◆ 壁の向こうのハリウッド-東ドイツ映画の上映と講演

〔期間〕2018年5月20日

〔共催〕大阪ドイツ文化センター

〔協力〕DEFA財団

〔会場〕本館3Fフィルムシアター

◆ トルコ映画の誘惑

〔期間〕2018年6月30日～7月1日

〔共催〕日本トルコ文化会館

〔協力〕ユヌス・エムレインスティトゥート

〔会場〕本館3Fフィルムシアター
〔内容〕『YOL～路～』『ESKIA～エスキア心の旅路～』『MY FATHER AND MY SON～父と息子～』上映。
〔鑑賞者数〕293人(147人／1日)

◆ 第24回京都国際子ども映画祭

〔期間〕2018年8月2日～8月5日
〔共催〕キンダーフィルムフェストきょうと
〔会場〕本館3Fフィルムシアター
〔内容〕世界各国で製作される子ども映画を、ベルリン国際映画祭ジェネレーション部門受賞作を中心に集め、子ども審査員によりコンペティションを行う。『わたしたち』『泳ぎすぎた夜』『ZOO』『太陽の王子 ホルスの大冒険』『短編アニメ集/短編映画集』等12作品の上映と五十嵐耕平氏(『泳ぎすぎた夜』監督)、マモウ・ディア氏(『土曜シネマ』監督)によるトーク。
〔鑑賞者数〕1,063人(266人／1日)

◆ 第10回京都ヒストリカ国際映画祭

〔期間〕2018年10月26日～11月4日
〔主催〕京都ヒストリカ国際映画祭映画祭実行委員会(京都府、京都文化博物館、東映株式会社京都撮影所、株式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、巖本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニブ、立命館大学)
〔共催〕KYOTO CMEX実行委員会
〔会場〕本館3Fフィルムシアター
〔内容〕『バーバリ 伝説誕生』『バーバリ 王の凱旋』『恋や恋なすな恋』『十年 Ten Years Japan』『欲望に誘われて』等29作品の上映と、中村扇雀丈(歌舞伎役者)、

飯星景子氏(タレント)、クレマン・シュナイダー氏(『欲望にさそわれて』監督)、マリーヌ・フランセン氏(『乙女たちの秘めごと』監督)、大寺眞輔氏(映画批評家)、白石和彌氏(映画監督)、西尾孔志氏(映画監督)、犬童一心氏(映画監督/CMディレクター)、ミルクマン斎藤氏(映画評論家)、ジョルジョ・フェレロ氏(『Beautiful things』監督)、フラヴィオ・コスタ氏(『Chromatica』監督)、木下雄介氏(『十年 Ten Years Japan』監督)、高松美由紀氏(『十年 Ten Years Japan』プロデューサー)によるトーク。
〔鑑賞者数〕1,763人(196／1日)

◆ 第21回京都国際学生映画祭

〔期間〕2018年11月27日～12月2日
〔主催〕公益財団法人大学コンソーシアム京都
〔会場〕本館3Fフィルムシアター
〔内容〕プログラムA～Dに分けて入選作品を上映。また、二宮健作品等の上映と、二宮健氏(『THE LIMIT OF SLEEPING BEAUTY』監督)、その他出品監督によるトーク。
〔鑑賞者数〕330人(55／1日)

◆ 文化庁ndjc若手映画作家育成プロジェクト 2018年度合評上映会

〔期間〕2019年2月13日
〔共催〕特定非営利活動法人映像産業振興機構
〔会場〕本館3Fフィルムシアター
〔内容〕『くもりときどき 晴れ』『はずれ家族のサーヤ』『最後の審判』『サヨナラ家族』『うちの面達(つらたち)は。』の上映
〔鑑賞者数〕54人(54人／1日)

② 映画製作者・研究者・専門家向け普及事業

◆ 日本映画テレビ技術協会映像技術受賞作品上映会

〔期間〕2018年4月18日
〔共催〕日本映画テレビ技術協会京都支部、京都クロスメディア推進戦略拠点
〔会場〕本館3Fフィルムシアター
〔内容〕『怒り』と中村裕樹氏(照明技師)によるトーク。
〔鑑賞者数〕130人(130人／1日)

◆ 日本映像学会関西支部第40回夏期映画ゼミナール 宮川一夫生誕百年記念特集 京都・世界の宮川一夫

〔期間〕2018年8月31日～9月2日
〔共催〕日本映像学会関西支部
〔会場〕本館3Fフィルムシアター
〔内容〕『鞍馬天狗 角兵衛獅子の巻』『出世太閤記』『祇園囃子』『次男坊鴉』等10作品の上映と宮島正弘氏(映画撮影監督)、宮川一郎氏(宮川氏遺族)、遠藤賢治氏(大阪芸術大学)、森脇清隆(当館主任学芸員)によるシンポジウム。
〔鑑賞者数〕486人(162人／1日)

第13回映画の復元と保存に関するワークショップ

〔期間〕2018年8月24日～8月26日
〔主催〕第13回「映画の復元と保存に関するワークショップ」実行委員会
〔会場〕本館3Fフィルムシアター
〔内容〕『まわる映写機、めぐる人生』の上映、入江良郎氏(国立映画アーカイブ学芸課長)、須田健太朗氏(京都府商工労働観光部ものづくり振興課)、椎原文隆氏(東映ラボテック株式会社)、数藤雅彦氏(五常法律会計事務所)、森田恵子氏(『まわる映写機めぐる人生』監督)、原田健一氏(新潟大学)、北村順生氏(立命館大学)、太田米男氏(京都映画芸術文化研究所)、森脇清隆(当館主任学芸員)他によるシンポジウム。
〔鑑賞者数〕117人(59人／1日)

◆ 第11回京都フィルムメーカーズラボ (Kyoto Filmmakers Lab 2018)

〔期間〕2018年10月27日～11月2日
〔主催〕京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会(京都府、京都文化博物館、東映株式会社京都撮影所、株式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、巖本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニブ、立命館大学
〔共催〕第31回東京国際映画祭実行委員会、KYOTOCMEX実行委員会
〔協力〕京都クロスメディア推進戦略拠点、イタリア文化会館 - 大阪
〔会場〕東映京都撮影所、松竹撮影所、当館
〔内容〕世界各国から若手映画作家を招き、東映、松竹の両撮影所で5分の短編時代劇2作品を製作する合宿形式のワークショップ(公用語：英語)。web公募の結果、58カ国213名の応募。審査の結果、外国人16カ国25名、日本人15名が審査を通過(日本、南アフリカ、中国、香港、リトアニア、マレーシア、ポーランド、フランス、ブラジル、バングラデシュ、ハンガリー、パナマ、パキスタン、ドイツ、カナダ、インド)。東映、松竹の京都撮影所で安藤清人(照明監督／東映)、永島聡(プロデューサー／松竹)監修の時代劇製作ワークショップを開催。
〔参加者数〕40名

◆ 京都フィルムメーカーズラボ・マスターズセッション

〔期間〕2018年10月30日～11月2日
〔主催〕京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会(京都府、京都文化博物館、東映株式会社京都撮影所、株式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、巖本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニブ、

立命館大学

〔共催〕第31回東京国際映画祭実行委員会、KYOTOCMEX実行委員会
〔協力〕京都クロスメディア推進戦略拠点
〔会場〕本館3Fフィルムシアター、東映京都撮影所、松竹撮影所旧武徳殿
〔内容〕京都フィルムメーカーズラボ参加者、ヴァレンティナ・ベッローモ(ヴェネツィア国際映画祭ビエンナーレ・カレッジ・シネマキュレーター)、木下雄介(映画監督、2016ラボ参加者)、パオロ・ベルトリン(カンヌ国際映画祭監督週間、キュレーター)、ノア・コーワン(サンフランシスコ国際映画祭、エグゼクティブ・ディレクター)、船橋淳(映画監督)、ジョージナ・ポーブ(映画プロデューサー)、顧曉東(映画プロデューサー)、犬童一心(映画監督)によるトーク。
〔鑑賞者数〕554人(139人／1日)

◆ <デジタルリマスター人材育成事業> 「京都フィルムリマスターズインキュベータ」

〔期間〕2018年12月9日～12月11日
〔主催〕京都府
〔共催〕株式会社IMAGICA Lab.、京都クロスメディアパーク推進会議、京都文化博物館
〔会場〕本館3Fフィルムシアター、別館2階講義室
〔内容〕フィルム修復技術や最先端の映像加工技術の実習、フィルム保存の重要性や利活用に関する講義。
〔参加者数〕10人(10人／日)

◆ 溝口健二生誕120周年記念国際シンポジウム 『近松物語』における伝統と革新

〔期間〕2018年12月22日
〔共催〕京都大学人間環境学研究室
〔会場〕本館3Fフィルムシアター
〔内容〕『近松物語』の上映とダドリー・アンドリュース氏(イェール大学)、長門洋平氏(京都精華大学)、白井史人氏(京都大学)、藤原学氏(京都大学)、木下千花氏(京都大学)、佐相勉氏(溝口研究者)によるシンポジウム。
〔鑑賞者数〕123人(123人／1日)

◆ 日本映画テレビ技術協会 受賞作品を見る会

〔期間〕2019年2月22日
〔共催〕日本映画テレビ技術協会京都支部、京都クロスメディア推進戦略拠点
〔会場〕本館3Fフィルムシアター
〔内容〕『関ヶ原』の上映と柴主高秀氏(映画撮影監督)、宮西孝明氏(照明技師)によるトーク。
〔鑑賞者数〕178人(178人／1日)

③ 大学生向け普及事業

◆ インターンシップの受け入れ

平成30年度 前期 立命館大学(映像学部2名)

3) 映像ギャラリー常設展示

京都府所蔵の映画関連資料より、映像ホールでの企画上映にあわせて、ポスター・スチル・チラシ等50

点前後の資料を随時展示替えしながら公開している。2017年度は下記のテーマで展示した。

【映像ギャラリー展示資料一覧】

期 間	テ ー マ
2018.4.3～5.6	近代文学と映画2-女流作家篇
2018.4.27～4.29	ヴェネチア国際映画祭が選んだ京都映画-講演と上映
2018.5.8～6.1	社会派サスペンス映画劇場
2018.5.19	文化庁ndjc:若手映画作家育成プロジェクト 文博特選上映会
2018.6.2～6.24	EUフィルムデーズ2018 映画で旅するヨーロッパ
2018.6.30～7.1	トルコ映画の誘惑
2018.7.7～8.30	特撮魂! 映画職人の夢と汗
2018.8.2～8.5	第24回京都国際子ども映画祭
2018.8.24～8.26	第13回映画の復元と保存に関するワークショップ
2018.8.31～9.2	日本映像学会関西支部第40回夏期映画ゼミナール 宮川一夫 生誕百年記念特集 京都・世界の宮川一夫
2018.9.4～10.21	生誕110年記念 映画撮影監督 宮川一夫の世界
2018.10.26～11.4	第10回京都ヒストリカ国際映画祭
2018.10.22～11.25	京都映画三巨匠生誕120年記念 内田吐夢・溝口健二・伊藤大輔
2018.11.27～12.2	第21回京都国際学生映画祭
2018.12.4～12.27	【明治150年京都創生】京都文化博物館30周年記念事業 映画でみる明治
2019.1.4～1.10	京の匠を記録する-伝統産業記録映画特集
2019.1.11～1.31	食べてる映画-映画での食の役割
2019.2.1～2.28	【没後30年記念特集】芥川也寸志の映画音楽世界
2019.2.13	文化庁ndjc:若手映画作家育成プロジェクト 2018年度 合評上映会
2019.3.1～3.31	【明治150年京都創生】幕末から明治へ 映画にみる創生の明治への道

III-4 その他

◆【総合展の小中高校生の入場料の無料化】

2008年度の開館20周年を機に、次世代を担う子供たちに京都の歴史や文化・芸術に身近に親しんでいただくことを目的として、小中高生の常設展入場料の無料化を始めた。2018年度は4,453名の子供が入場した。

◆【夜間開館の実施】

来館者の利便性をより高めることを目的として、2008年6月から特別展の開館時間の延長を開始した。毎週金曜日に限り、閉室時間を午後6時から午後7時30分とした。また、各特別展会期中の数回、金曜日の夜間開館にあわせて午後6時から30分程度でギャラリートークを開催している。2018年度の夜間開館入場者は2,312名であった。

Ⅲ-5 京都学・歴彩館における展示

Ⅲ-5 京都学・歴彩館における展示

① 井田照一展

会 期：2018年7月14日(土)～9月9日(日)
[55日/58日]

休館日：祝日、第2水曜日、12月28日～1月4日

会 場：京都府立京都学・歴彩館 1階展示室

入場料：無料

主 催：京都府、京都文化博物館、
京都府立京都学・歴彩館

担当者：清水智世

入場者：1,711人(1日平均31.1人)

【概要】

井田照一は1941(昭和16)年、京都市に生まれた。2006(平成18)年に世を去るまで、京都を拠点に、国内外で数々の展覧会やプロジェクトに参加し続けた。本展では、60年代から90年代にいたるまで約30年に及ぶ井田の軌跡を、京都府が所蔵する井田作品を通して紹介した。

【主な出品作品】

井田照一《KONYAKU II》1965年

井田照一《Pink Cake》1967年

井田照一《Paper and Paper》1968年

井田照一《FRESH WIND No. 2》1974年

井田照一《Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - "Stone, Paper and Stone"》1976年

井田照一《Well From Karma - Echo Blue》1989年

井田照一《Between Air and Water No. 4》1992年

【出品作品数】 22点

【関連行事】

〔1〕学芸員によるギャラリートーク

日時：7月26日(木)、8月30日(木)
午後2時30分～(30分程度)

場所：1階展示室内

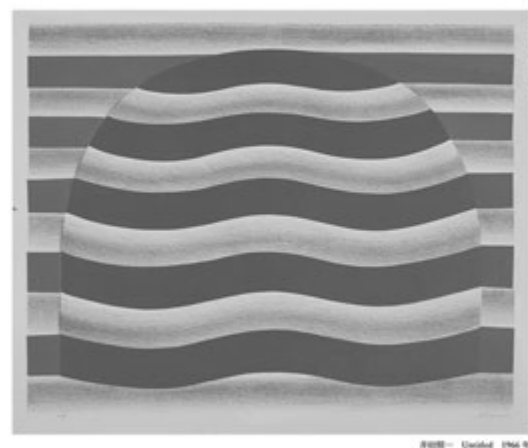
担当：清水智世

参加者数：それぞれ28名、13名

京都府立京都学・歴彩館 展覧会

IDA Shoichi
井田 照一展

Surface is the Between.



2018年7月14日(土)——9月9日(日)

休館日：祝日、第2水曜日
開 館：平日 9時～18時、土日 9時～17時
会 場：京都府立京都学・歴彩館 1階展示室
住 所：606-0823 京都府京都市下鴨区本町1番地29
電 話：075-725-4831
主 催：京都府、京都文化博物館、京都府立京都学・歴彩館

入 場 料 無 料

「井田照一展」ちらし

Ⅲ-5 京都学・歴彩館における展示

② 八塔亭二寧 村田陶苑展

会 期：2018年12月15日(土)～2019年3月10日(日)
[73日/86日]

休館日：祝日、第2水曜日、12月28日～1月4日

会 場：京都府立京都学・歴彩館 1階展示室

入場料：無料

主 催：京都府、京都文化博物館、
京都府立京都学・歴彩館

担当者：洲鎌佐智子
 入場者：2,790人(1日平均38.2人)

【概要】

村田陶苑(本名、好通)は、明治38年(1905)に京都五条坂の代々陶匠の家系に生まれ、97歳で亡くなるまで常に新しいものへの挑戦を続けた陶工の一人である。

本展では、京都府への作品の寄贈を機として、伝統的技法を駆使した洗練された京焼の器から、豪放かつユーモラスな表情をみせる陶彫作品を展観し、陶苑が生み出した多彩なやきものの魅力を紹介した。

【主な出品作品】

- 《陶彫 作陶鬼》 1998年
- 《香炉 金彩鳳凰》 1999年
- 《瑠璃金彩水指》 1967年

【出品作品数】 50点

【関連行事】

[1]学芸員によるギャラリートーク

日時：1月10日(木)、2月9日(土)、2月21日(木)
 午後2時30分～(30分程度)

場所：1階展示室内

担当：洲鎌佐智子

参加者数：それぞれ28名、13名



「八塔亭二寧 村田陶苑」ちらし

③ 2018(平成30)年度 京都学・歴史館 1階交流フロア ホワイトエ展示

No.	作者	タイトル	制作年	素材	展示期間
1	柴田 純生	三間四柱	—	木	2018年4月12日(木) - 2019年3月10日(日)
2	田中 太郎	サボテン	1990年	木	2018年4月12日(木) - 2019年3月10日(日)



ホワイトエ展示風景

IV 調査研究活動

IV-1 学芸員の活動

1) 研究

【博物館研究費による研究】

- 畑 智子 ・明治期の皇室と京都の作家について
— 帝室技芸員
- 植田彩芳子 ・小川千甕、太田喜二郎を中心にした近代京都絵画研究
- 西山 剛 ・歴史系博物館におけるワークショップの開発に関する基礎的研究
- 村野正景 ・当館所蔵考古資料の再整理 4
- 橋本 章 ・祇園祭と京都の生活文化に関する研究 ④
- 長村祥知 ・平安博物館蒐集文献史料の研究

- 植田憲司 ・鶏卵紙写真群と石井行昌写真資料に関する調査研究
- 清水智世 ・IoT等を利用した博物館展示のための調査
- ・近現代京都の作家に関する総合的研究②

【外部研究費・共同研究費等による研究】

- 植田彩芳子 ・美術館連絡協議会 美術館活動助成(個人・グループ研究助成)「太田喜二郎と藤井厚二に関する研究」

2) 出講・委嘱

- 畑 智子 ・第18回福知山市佐藤太清賞公募美術展 審査員
- ・第64回全関西美術展 審査員
- ・「美連協奨励賞」推薦委員
- ・京都日本画新展2019 審査員
- 森脇清隆 ・文化庁メディア芸術アーカイブ推進支援事業協力者会議委員
- ・文化庁メディア芸術データベースの機能拡充に関する調査・改修作業技術審査委員
- ・文化庁京都ノンフィルム資料アーカイブ検討委員
- ・京都市コンテンツ産業振興に向けた有識者懇談会委員
- ・京都国際学生映画祭企画検討委員
- 洲鎌佐智子 ・滋賀県文化財保護審議員
- ・京都国立近代美術館 平成30年度 第1回 美術作品購入評価員
- ・京都国立博物館寄贈評価員
- ・京都市美術館美術品評価

- ・第39回京都工芸美術作家協会展審査員
- ・京都文化力プロジェクト・京都アート6—芸術めぐり展(9月22日~30日/福知山)キュレーション業務
- 林 智子 ・文化庁無形文化財工芸技術資料買取評価
- 西山 剛 ・東京大学史料編纂所 共同研究員「近世都市図解析プロジェクト」
- ・世界人権問題研究センター 登録研究員
- 橋本 章 ・日本民俗学会第32期評議員
- ・京都民俗学会理事・企画委員
- 長村祥知 ・東京大学史料編纂所共同研究員
- ・伊賀市文化財保護審議会委員
- ・国立歴史民俗博物館共同研究員
- ・国立歴史民俗博物館展示プロジェクト委員
- ・聖護院史料研究所客員研究員
- 植田憲司 ・きょうと障害者文化芸術推進機構 検討部会構成員
- ・日本記号学会 理事・編集委員

3) 業績

IV-1 学芸員の活動 ▶ 3) 業績

① 論文・著作

- 畑 智子 ・「華ひらく皇室文化—明治宮廷を彩る技と美展に寄せて」(『文化財レポート』No.32 / 2019年3月)
- ・「1885年ニュルンベルク金工万国博覧

- 会における日本の出品」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第31集所収 / 2019年3月)
- ・「明治期の美術工芸」(『京染と精錬染色』

- 京都市産業技術研究所／2019年3月)
- 「新しい京都 日本画新展に寄せて」『京都日本画新展2019』京都新聞刊／2019年1月
- 森脇清隆**
- 朝日新聞コラム「四季つれづれ」全5回(朝日新聞／2018年11月20日、12月4日、12月18日、2019年1月15日、2019年1月29日)
 - 「日本映画原点の地」(立誠図書館機関誌Page第3号、2019年2月)
- 林 智子**
- 「資料紹介「能装束 白浮織綾地松樹飛鶴文様」について ほか」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第31集所収／2019年3月)
- 植田彩芳子**
- 「煥美協会考—フェノロサ講演の余波—」(『京都画壇の明治』展図録所収／京都市学校歴史博物館／2018年6月)
 - 「横山大観と今尾景年—文展審査での対立をめぐる—」(『京都国立近代美術館ニュース 視る』496号所収／京都国立近代美術館／2018年11月)
 - 「鶴飼雅樹先生の作品について」(『京都現代作家展9 鶴飼雅樹』展リーフレット所収／京都府立堂本印象美術館／2018年12月)
 - 「太田喜二郎研究—その画業と生涯—(並木誠士編『近代京都の美術工芸—制作・流通・鑑賞』／思文閣出版／2019年3月)
 - 「近代京都の「アートと考古学」の一検討—「京都の画家と考古学—太田喜二郎と濱田耕作—」展の展示資料を題材に2—」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第31集所収／2019年3月／共著)
 - 「翻刻 小川千甕『滞欧日記(下)』(2)」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第31集所収／2019年3月／共著)
- 西山 剛**
- 「歴史史料としての北野社頭図屏風」(『北野天満宮 信仰と名宝』／思文閣出版／2019)
 - 『北野天満宮 信仰と名宝』(思文閣出版、2019)の作品解説
- 村野正景**
- 「Museum-School-Community Collaborative Project in the Museum of Kyoto」(『CAMOC Museums of Cities Review』02/2018所収／2018年5月)
 - 「地方自治体の埋文活用(8)文化資源の「創造」にかかる京都文化博物館の試み」(『月刊考古学ジャーナル』No.718所収／2018年10月)
 - 『みんなで活かせる学校資料：学校資料活用ハンドブック』／京都市学校歴史博物館／2019年3月／共編著
 - 「文化遺産/情報資源の公共的管理/活用の新たなあり方に関する提案-学校資料と学校博物館-」(『資料と公共性2018年度研究成果年次報告書』第27集所収／九州大学大学院人文科学研究院 岡崎敦／2019年3月)
- 橋本 章**
- 「戦略としての祇園祭と京都一山・鉾・屋台行事が日本全国に展開する現状との関係性から—」(『日本民俗学』第296号／2018年11月)
 - 「干拓地の入植集落における民俗の生成について—滋賀県琵琶湖大中の湖干拓地の事例から—」(『現代民俗学研究』第11号／2019年3月)
 - 「祇園祭綜考」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第31集所収／2019年3月)
- 森 道彦**
- 「コラム 岸駒と呉春」(『横山華山』展図録／東京ステーションギャラリー、宮城県美術館、京都文化博物館／2018年9月)
 - 「コラム 表具師伴能廣吉と国宝修理」(『古社寺保存法の時代』展図録／京都文化博物館／2019年1月)
 - 「北野天神縁起と北野社の風景」(『北野天満宮 信仰と名宝』展図録／京都文化博物館／2019年2月)
 - 「日本絵画と植物」(京都園芸倶楽部『京都園芸』103集所収／2019年3月)
 - 奥平俊六氏、門脇むつみ氏との共編『公益財団法人渡辺美術館所蔵品調査報告書(第五回) 狩野派・森派絵画』(公益財団法人渡辺美術館／2019年3月)
- 長村祥知**
- 『平安博物館回顧展—古代学協会と角田文衛の仕事—』古代学協会／2018年7月／古藤真平・村野正景と共著)
 - 「承久の乱と武士の一族」(『創造する市民』111／京都市生涯学習振興財団／2018年8月)
 - 「聖護院文書の構成と特質」(末柄豊・

- 村井祐樹編『園城寺を中心とした寺門派寺院史料集(東京大学史料編纂所研究成果報告2018- 2)』2016・2017年度東京大学史料編纂所特定共同研究「寺門派寺院所蔵中世史料の調査・研究」グループ／2019年2月)
- ・「児島五流建徳院伝来の近世聖護院門跡発給文書」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第31集所収／2019年3月)
 - ・「大阪青山歴史文学博物館所蔵「吉見家文書」の翻刻と解説」(『大阪青山大学紀要』11／大阪青山大学／2019年3月)

／小倉嘉夫・倉恒康一・中司健一・西田友広・目次謙一と共著)

- 植田憲司** ・「タイムベースト・メディア作品の保存と修復に関する一考察」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第31集所収／2019年3月)
- 清水智世** ・「小牧源太郎の「仏画的時代」(1941～1946)―「仏画的なもの」がもたらす違和感について」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第31集所収／2019年3月)

② 発表・講演

- 畑 智子** ・「明治期京都の七宝―産業と美術工芸の狭間」(特別展「華ひらく皇室文化―明治宮廷を彩る技と美」講演会／於：京都文化博物館／2018年10月27日)
- 森脇清隆** ・立命館大学地域コンテンツ創造論「博物館と地域文化振興」(講師、立命館大学、2018年6月15日)
- ・nukadokoワークショップ「京都の映画文化を知る―時代劇の魅力」(講師／於：GK京都／2018年9月26日)
 - ・京都府デジタルリマスター人材育成事業「フィルム保存と復元の重要性について」(講師／於：京都文化博物館／2018年12月9日)
 - ・「京都の映画文化・産業の歴史」(講師／於：京都橘大学／2018年12月20日)
 - ・京都ものづくり協力会新春講演会「京都のものづくり文化と映画づくり」(講師／於：京都市産業技術研究所／2019年2月7日)
 - ・映画イノベーション「守る映画文化と生み出す映画・映像文化」(講師／於：池坊短期大学／2019年3月13日)
 - ・Creators@Kamogawa「アーカイブと映画文化」(講師／於：ゲーテ・インスティテュート・ヴィラ鴨川／2019年3月30日)
- 植田彩芳子** ・「近代京都の日本画史入門～明治期を中心に～」(企画展「明治150年記念 京都画壇の明治」関連講演会／於：京都市学校歴史博物館／2018年6月17日)
- ・「大正・昭和期の京都の日本画」(企画展「蘭島閣美術館コレクション 京の日本画家が描く情景」関連講演会／於：京都府立堂本印象美術館／2018年8月25日)
 - ・「小川千甕のフランス滞在―『滞欧日記』を読む―」(日仏美術学会第151回例会／於：京都大学人文科学研究所／2019年2月23日)
- 西山 剛** ・「北野社頭図屏風の史料性―遊興と芸能の表象と史実」(芸能史研究会10月例会／於：ハートピア京都／2018年10月12日)
- ・「北野天満宮 神宝が語る千百年史」(四館連携講演会／於：京都文化博物館／2019年3月24日)
- 村野正景** ・「博学社連携 全国各地や京都文化博物館の取組」(博学社連携フォーラム 博物館×学校×地域社会=?/?／於：みやび歴史の館／2018年5月9日)
- ・「エルサルバドル共和国におけるパブリック考古学の導入について―第1回パブリック考古学・シンポジウムの開催に向けて―」(日本ラテンアメリカ学会 第39回定期大会／於：愛知県立大学長久手キャンパス／2018年6月2日)
 - ・「La siguiente etapa del proyecto resurgimiento de técnica antigua para

elaborar cerámica de estilo Usulután: experiencias, desafíos y nuevas ideas」(I Simposio de Arqueología Pública en El Salvador “Más allá de la arqueología: Arqueología Pública” / 於: Museo Nacional de Antropología / 2018年10月25日/共同発表)

- 「コメント 地域歴史遺産とミュージアム」(第17回 歴史文化をめぐる地域連携協議会 地域歴史遺産の〈活用〉を問い直す—地域資料館の可能性— / 於: 神戸大学瀧川記念学術交流会館 / 2019年2月3日)
- 「学校資料について」(第3回研究会 国際化、情報化環境における歴史資料の公共的利活用と管理に関する基礎的研究 / 於: 九州大学文書館 / 2019年2月10日)
- 「近代の博物館と京都」(古社寺保存法の時代 連続講座 / 於: 京都文化博物館 / 2019年3月3日)
- 「高等学校と博物館の連携による学校資料の活用」(番組小学校創設150周年記念シンポジウム「学校資料の活用を考える—学校資料の価値と可能性—」 / 於: 京都市学校歴史博物館 / 2019年3月10日)

橋本 章

- 祇園祭と山鉦巡行～「山・鉦・屋台行事」と京都～ (2018年京カレッジ京都力養成コース「京都学講座」 / 於: キャンパスプラザ京都 / 2018年5月19日)
- 信長上洛の歴史的インパクトを考える (信長上洛～京都・織田信長入京から450年～記念シンポジウム / 於: 京都文化博物館 / 2018年7月8日)
- 歴史文化都市「京都」の形成と博物館の役割—平安博物館の活動から— (国際シンポジウム「地域学としての民俗学と国際化—台湾と京都の実践」 / 於: 国立台北芸術大学 / 2018年9月1日)
- シンポジウム「明治150年—維新京都神話を検証する—」(京都民俗学会例会 / 於: 京都市職員会館かもがわ / 2018年12月8日)

森 道彦

- 「江戸の将軍と古画・古物情報」(シンポジウム 宝物と政権の歴史的諸相 / 於: 京都文化博物館別館ホール /

2019年1月6日)

長村祥知

- 「パネルディスカッション」(総合展示「平安博物館回顧展」記念シンポジウム「世界の博物館史と平安博物館—ICOM(国際博物館会議)京都2019を見据えて—」 / 於: 京都文化博物館 / 2018年8月12日)
- 「院政の展開と水無瀬」(平安京・京都研究集会 / 於: 大山崎ふるさとセンター / 2018年9月16日)
- 「『吾妻鏡』と承久の乱」(Sonderforschungsbereich 1167 "Macht und Herrschaft -Vormoderne Konfigurationen in transkultureller Perspektive" ワークショップ『吾妻鏡』から見る13世紀の「王権」 / 於: (ドイツ)ボン大学 / 2018年11月26日)
- 「パネルディスカッション」(シンポジウム「戦国の両雄激突 益田氏VS吉見氏」 / 於: 島根県芸術文化センター「グラントワ」 / 2019年2月9日 / 主催: 石西の文化を学ぶれんげ草の会)
- 「聖護院文書にみる葛城嶺修行」(紀州地域学共同研究会シンポジウム「葛城修験の信仰・儀礼・言説—向井家文書・聖護院文書のコスモロジーとその四周」 / 於: 和歌山県立博物館 / 2019年3月9日 / 主催: 和歌山大学 地域活性化総合センター紀州経済史文化史研究所、紀州地域学共同研究会)
- 「後白河院・後鳥羽院の政治と文化」(平成30年度連続講座「光源氏に迫る—栄華、憂い、そして愛—」@ / 於: 宇治市源氏物語ミュージアム / 2019年3月20日)

V-1 出版物

1) 研究紀要『朱雀』

【『朱雀』第31集】

発行：京都文化博物館

発行日：2019年3月31日

印刷：株式会社 石田大成社

体裁：A4判、114ページ

編集担当：畑 智子、木村千尋

掲載記事：

〔論考〕

・清水智世

小牧源太郎の「仏画的時代」(1941~1946)

—「仏画的なもの」がもたらす違和感について—

・植田憲司

タイムベースト・メディア作品の保存と修復に

関する一考察

〔研究ノート〕

・橋本 章

祇園祭粽考

・畑 智子

1885年ニュルンベルク金工万国博覧会における

日本の出品

・村野正景、植田彩芳子

近代京都の「アートと考古学」の一検討

—「京都の画家と考古学—太田喜二郎と濱田耕作—

展の展示資料を題材に2—

〔資料紹介〕

・林 智子

「能装束 白幸菱浮織地大内菱繁松樹飛鶴文様」ほか

・植田彩芳子、増淵鏡子

翻刻 小川千甕『滞欧日記(下)』(2)

・長村祥知

児島五流建徳院伝来の近世聖護院門跡発給文書

2) 年報

【京都文化博物館2017(平成29)年度年報】

編集・発行：京都文化博物館

発行日：2018年9月30日

印刷：株式会社吉川印刷工業所

体裁：A4判、72ページ

編集担当：長村祥知、木村千尋

3) 展覧会図録

【平安博物館展】

体裁：タテ29.7cm×ヨコ22.5cm、48ページ

編集：公益財団法人古代学協会、京都文化博物館

発行：公益財団法人古代学協会

発行日：2018年7月10日

印刷：株式会社スイッチ・ティフ

【Kyoto Art for Tomorrow 2019 — 京都府新鋭選抜展 —】

体裁：タテ29.7cm×ヨコ21cm、40ページ

編集：京都府、京都文化博物館

発行：京都府、京都文化博物館

発行日：2019年1月

印刷：株式会社ライブアートブックス

【古社寺保存法の時代】

体裁：タテ29.7cm×ヨコ22.5cm、56ページ

編集：京都文化博物館

発行：京都文化博物館

発行日：2018年1月5日

印刷：株式会社スイッチ・ティフ

V-2 音楽会

例年、普及活動の一環として開催する音楽会等については、平成30年度が開館30周年であるため、すべて「京都文化博物館開館30周年記念」と銘うって開催した。

◆ いずれも、
主催：京都文化博物館、会場：当館別館ホール

① 祇園祭協賛事業 祇園祭ミュージアムコンサート

【祇園祭ミュージアムコンサート】

日時：2018年7月14日、15日
主催：京都文化博物館
会場：当館 別館ホール
演奏者：
◎7月14日 午後0時30分～午後8時20分
タンゴアンサンブル・アストロリコ(アルゼンチンタンゴ)
京都橘高等学校吹奏楽部(吹奏楽)
MOMONGA(アイリッシュ)
わらく堂withやま。(ピアノ弾き語り)
京都府立京都すばる高等学校吹奏楽部(吹奏楽)
大西貴浩(テノール・日本のうた)
松並順子ふら～っとバンド(ジャズ)
満月堂(フォーク)
◎7月15日 午後0時30分～午後8時20分
プレス(ゴスペル)
京都市立桃山中学校吹奏楽部(吹奏楽)
レガーロ東京(合唱)
Pukamaikalā(プカマイカラー / ハワイアンフラ[古典])
三条ビッグバンドオーケストラ(ジャズ)
京都市立京都御池中学校吹奏楽部(吹奏楽)
The Juke Box(ザ・ジューク・ボックス/オールディーズ)
ニューシャープハードオーケストラ(ジャズ・ポップス)
入場者：7,823名

* 祇園祭協賛事業として開催し、15日・16日は午後8時30分まで別館の開館時間を延長した。

② その他のコンサート

【『COOL MUSIC SPOT in THE MUSEUM of KYOTO』】

日時：2018年8月7日～10日、14日～15日、
17日、21日～23日 午後1時～午後3時
主催：京都文化博物館
会場：当館 別館ホール
演奏者：
7日(火) 京都女子大学 / 京都市立芸術大学
8日(水) 京都女子大学 / 同志社女子大学
9日(木) 京都市立芸術大学 / 京都女子大学 /
同志社女子大学
10日(金) 京都市立芸術大学 / 京都女子大学 /

【同志社女子大音楽専攻科による

宵山ミュージアムコンサート】

日時：2018年7月16日 午後2時～
主催：京都文化博物館
会場：当館 別館ホール
演奏者：同志社女子大学音楽専攻科生
入場者：514名

【第28回宵山に箏曲を聴く夕べ】

日時：2018年7月16日 午後6時～
主催：京都文化博物館
会場：当館 別館ホール
演奏者：生田流宮城社麗調会社中(箏曲演奏)
入場者：377名

【～ブンパクに響く和の歌ごえ～

京都市立芸術大学ゆかりの音楽家による ハートフル・スペシャルコンサート】

日時：2018年7月17日 午後2時～
主催：京都文化博物館
会場：当館 別館ホール
演奏者：京都市立芸術大学音楽学部教授
小濱妙美&卒業生・修了生
入場者：462名

同志社女子大学
14日(火) 京都市立芸術大学 / 同志社女子大学
15日(水) 同志社女子大学 /
京都府立京都すばる高等学校吹奏楽部
17日(金) 同支社女子大学 / 京都市立芸術大学
21日(火) 京都市立芸術大学 / 京都女子大学 /
同志社女子大学
22日(水) 京都市立芸術大学
23日(木) 京都市立芸術大学 / 同志社女子大学 /
京都市立京都御池中学校吹奏楽部
入場者：6,170名

V-3 京都アートフリーマーケット

京都文化博物館の位置する三条通界隈に賑わいをつくりだすため、別館を中心とした界隈の施設で2005年秋から開催が始まった京都アートフリーマーケットは、2018秋、(第26回)、2019春(第27回)を開催した。2018秋は京都文化博物館の開館30周年記念と位置づ

け、同マーケットでの出展作品購入者に京都文化博物館オリジナルグッズをプレゼントした。

主催：京都アートフリーマーケット実行委員会(NTT西日本京都支店、京都アートカウンスル、京都藝際交流協会、京都伝統工芸大学校、京都府立陶工高等技術専門校、京都府、京都文化博物館)

【2018年度 京都アートフリーマーケット】

名 称	開 催 日	入場者数
京都アートフリーマーケット2018秋	2018年9月22日(土)～9月24日(月・祝)	35,408
京都アートフリーマーケット2019春	2019年3月15日(金)～3月17日(日)	27,318

主催：京都アートフリーマーケット実行委員会
(NTT西日本京都支店、京都アートカウンスル、京都藝際交流協会、京都伝統工芸大学校、京都府立陶工高等技術専門校、京都府、京都文化博物館)

V-4 開館30周年記念イベント

開館30周年を記念して、これまで開催された特別展の関連イベントに出演された古典芸能に関する方々による公演を開催した。

【京都文化博物館開館30周年記念、明治150年記念 古典芸能3 DAYS in Bunpaku】

◆第1回 講談の会

日時：2018年10月6日(土)午後2時30分

主催：京都文化博物館

会場：本館6階和室

出演者：旭堂南陵、旭堂南慶、旭堂南照、旭堂南鈴

入場者：120名

◆第2回 落語会

日時：2018年10月7日(日)午後2時30分

主催：京都文化博物館

会場：本館6階和室

出演者：桂きん枝、笑福亭円笑、林家染二、

桂文鹿、桂小きん

入場者：200名

◆第3回 日本舞踊への誘い

日時：2018年10月8日(月・祝)午後2時30分

主催：京都文化博物館

会場：本館6階和室

出演者：音羽流音羽嘉一郎、音羽陽次郎、

音羽流社中

入場者：150名

【開館30周年記念「片岡秀太郎の歌舞伎ばなし」 併催「女形一片岡秀太郎」堀出恒夫写真展】

日時：2018年12月23日(日)午後1時30分

主催：京都文化博物館

会場：本館6階和室

講演：片岡秀太郎

協力：和田那哥子

入場者：340名



片岡秀太郎の歌舞伎ばなしの様子

V-5 学習普及外部連携室

1) ボランティア

2019年3月31日現在(2018年度)、64名のボランティアスタッフが活動している。ボランティアは“ぶんぱくボランティア”と“アソシエイトボランティア”の2つに大別される。

ぶんぱくボランティアは2階総合展示室内における来館者案内や見回りを行いつつ、適宜必要に応じて音楽会や講演会、ワークショップなどのイベントのサポートにも参加する。日本語48名、英語14名、その他の外国語2名の計63名が朝10時から夜7時30分まで

の間、3交代制で活動をおこなっている。

アソシエイトボランティアは1名が活動し、博物館の広報活動への協力や臨時的サポート、館への意見等をもらうなどの活動をおこなっている。

ボランティアは、2階総合展示室における企画展示にあわせてその都度設定される研修会に参加し、展示内容および展示室運営を含めた総合的なレクチャーを実施している。

2) 「ぶんぱく子ども教室」事業

学習普及連携室が軸となり、ボランティアスタッフと学芸員が協働して企画運営をおこなう「ぶんぱく子ども教室」を実施した。

学習普及連携室チーム(神山俊昭、広井真弓、洲鎌佐智子、林智子、森道彦、清水智世、森田直子)

【第1回 祇園祭 お囃子体験教室】

日時：2018年7月8日(日)午後1時～3時

担当者：イベント・ボランティアおよび学習・普及連携室チーム

参加者数：子ども20名(保護者を除く)

実施目的：

- ①京都の三大祭のひとつである祇園祭をより身近に感じてもらう。
- ②京都文化博物館総合展示中の祇園祭とも関連して興味をもってもらう。

【第2回 工芸美術創工会展関連ワークショップ】

◇ベネチアンガラスでペンダントorストラップを作ろう!

日時：2018年11月23日(金・祝)

1回目 午前10時30分～

2回目 午前11時30分～

担当者：イベント・ボランティアおよび学習・普及連携室チーム

講師：徳力竜星

参加者数：各回子ども15名(保護者を除く)

◇マイ漆皿を作ろう!

日時：2018年11月23日(金・祝)

午後2時～4時

担当者：イベント・ボランティアおよび学習・普及連携室チーム

講師：井上絵美子

参加者数：子ども7名(保護者を除く)

◇金銀色の鮮やかな模様のトートバッグを作ろう!

日時：2018年11月25日(日)

午前10時30分～午後12時30分

担当者：イベント・ボランティアおよび学習・普及連携室チーム

講師：金井大輔

参加者数：子ども8名(保護者を除く)

実施目的

- ①工芸作品をつくる過程を知る事によって、それぞれの工芸への理解を深めてもらう。
- ②さまざまな加飾の方法を用いて自分なりのデザイン案を表現する楽しさを味わってもらう。

【第3回 館内ぐるぐる探検ツアー】

③現在活躍する作家さんたちと交流しながら、制作への思いなどを知り、興味を深めてもらう。

日時：2018年3月23日(土)午後1時30分～3時

担当者：イベント・ボランティア

参加者数：子ども7名(保護者を除く)

実施目的：

- ①京都文化博物館を知ってもらう
- ②博物館がどういうところかを知ってもらう
- ③博物館に親しんでもらい、博物館をより身近に感じてもらう
- ④新しい友達や仲間づくりを通じて、社会性を養ってもらう
- ⑤ボランティアスタッフの発案、準備、実施による事業として、ボランティアの自発性の育成を図る

3) 団体見学案内

個人での来館とは別に、数人から100人程度のグループによる来館がある。これに対しては、事前の申し出があれば施設、総合展示、特別展等の解説に応じている。2018年度の来館件数は103件であった。このうち解説を行ったのは、56件である。団体来館は学校の授業、修学旅行などの行事の一環として行われるこ

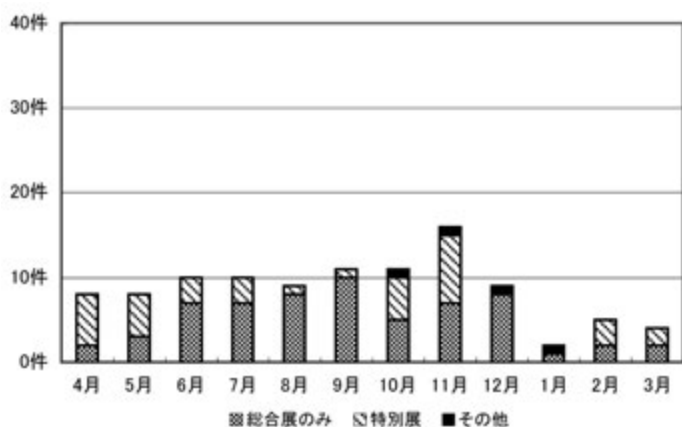
とが主体で、全体の半数をしめるが、各種の文化サークルや団体旅行での訪問も多い。学校の区分では大学が一番多く、中学校、高校がつづく。

本年度は、6～7月、9～10月、11月の団体申し込みが多く、一方で、8、9、12月は総合展示目的の申し込みが全体を占めている。

【2018年度団体見学案内件数】

2017年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	248	245	398	161	211	245	373	402	297	90	131	119	2920
来館件数	8	8	10	10	9	11	11	16	9	2	5	4	103
解説件数	3	3	8	3	4	6	7	10	7	0	3	2	56

【月別申込み件数】



【団体種別件数】

団体	件数
小学校	5
中学校	8
高校	6
専門学校	1
大学	31
支援学校	2
一般	50
合計	103

4) 生き方探求チャレンジ体験

京都市内中学校の職業体験学習。平成30年度は以下の学校の生徒を受入れた

- ・京都市立京都御池中学校
2018年5月22日(火)～5月24日(木)3日間 2名
- ・京都市立栗陵中学校
2018年5月22日(火)～5月25日(金)4日間 2名

V-6 博物館実習

【実施期間】

2018年8月20日(月)～8月24日(金)

【実習生】

金沢美術工芸大学	2名
関西学院大学	1名
京都女子大学	1名
京都精華大学	1名
京都造形芸術大学	2名
京都大学	1名
京都美術工芸大学	1名
京都府立大学	2名
清泉女子大学	1名
筑波大学	1名
長岡造形大学	1名
奈良教育大学	1名
立命館大学	2名
龍谷大学	3名

(計20名)

【実習内容／担当者】

- ・ 展覧会のマネジメントについて／畑智子
- ・ 館内見学／村野正景
- ・ 映像資料の取り扱いについて／森脇清隆
- ・ 近年の博物館活動について／村野正景、西山剛
- ・ 考古資料の取り扱いについて／村野正景
- ・ 美術資料の保存管理と修理について／森道彦
- ・ 民俗資料の取り扱いについて／橋本章
- ・ 美術資料の取り扱いについて／清水智世
- ・ 染織資料の取り扱いについて／林智子
- ・ 美術工芸品の取り扱いについて／洲鎌佐智子
- ・ 写真資料の取り扱いについて／植田憲司
- ・ 文献資料の取り扱いについて／西山剛、長村祥知
- ・ 学習普及連携について／村野正景、西山剛、森道彦

V-7 資料・情報公開

1) 資料閲覧室

当館の図書資料は、歴史・考古・美術・工芸・映像など多分野にわたり、現在単行本約82,696冊、逐次刊行物約3,208タイトル(81,525冊)を収蔵している。なかでも埋蔵文化財の発掘調査報告書が約35,197冊、展覧会図録が約15,283冊と多く、また、映画のシナリオを約12,000冊収蔵しているのも特徴である。こ

れらの図書資料については、研究目的で特に閲覧を希望する者に対して公開している。なお、本年度の書籍の受け入れ数は約2,000件であり、その内、埋蔵文化財発掘調査報告書が約180冊、展覧会図録が約450冊、年報・紀要類が約350冊であった。

2) ホームページによる広報とコンテンツの提供

Webサイトは、SNSからのリンクによるアクセス数の増加がみられる。引き続きwebサイトの充実とともにSNSを利用し、展覧会の内容について興味を持ってもらえるようにホームページ運営をしていきたい。

【ホームページの利用状況】

2018年度	総数	一日平均
アクセス数	531,354	1,455
ページビュー	6,232,081	17,074

V-8 外部連携活動

1) 他館との連携

V-8 外部連携活動 ▶ 1) 他館との連携

① 京都市内4館連携協力協議会

京都国立近代美術館、京都国立博物館、京都市美術館、当館の4館による連携協力及び館運営にかかる情報交換を円滑におこなう目的で、京都市内4館連携協力協議会(「京都ミュージアムズ・フォー」)が2009年6月12日に発足した。2018年度は、4館連携講座、

各館の年間スケジュールを掲載したリーフレットの作成、リーフレット利用したスタンプラリー(参加[応募]者:78名)、各館友の会会員の相互割引(4館合計:1,864名)を実施したほか、4館相互割引制度(10月1日から11月30日まで)も実施した(4館合計:32名)

V-8 外部連携活動 ▶ 1) 他館との連携

② 事業協力

【「関西文化の日」事業への連携】

関西広域連携協議会、関西元気文化圏推進協議会主催の本事業に、2018年11月17日、18日の両日協力した。総合展示を無料開放し、2日間で1,127名の方々にお越しいただいた。

【「ミュージアムぐるっとパス関西2018」への参加】

今年度は、関西の2府4県(大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山)と、隣接地区(岐阜、愛知、三重、岡山、

香川、徳島)の美術館・博物館で構成する合計93施設が参加した。主催は93施設で組織する「ミュージアムぐるっとパス関西2018」実行委員会である。パスを購入すると、対象施設で入場が無料となるなど様々なサービスが受けられる。当館は、総合展示が無料、特別展示が団体料金となる特典を設定し、2018年度の当館での利用者数は、総合展示874名、特別展示779名であった。

2) 京都府内の学校との連携事業

京都府立鴨沂高等学校「京都文化コース」、京都府立鳥羽高等学校「スーパーグローバルハイスクール「イノベーション探求I」～地域再発見プログラム～」と連携授業を実施した。

3) 地域との連携

V-8 外部連携活動 ▶ 3) 地域との連携

① 京都文化博物館地域共働事業 京都文化博物館を核とした地域活性化事業

平成30年度文化芸術振興費補助金(地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業)の補助を受け「京都を中心とした人文系総合エコミュージアムの開発プロジェクト」を展開し、京の三条まちづくり協議

会、姉小路界限を考える会、京都市歴史資料館、京都市考古資料館、千總文化研究所、古文化保存協会と連携して事業を行った。

【研究会・まちカフェの実施】

「まちカフェ」は、京都文化博物館地域共働事業実行委員会が企画・主催し、京都文化博物館本館7階サロンや別館講義室にて、以下のように開催した。

〔1〕『温故知新歴史に学「建築」』

日時：2018年10月4日(木)午後6時～7時30分
講師：立石一氏(株式会社立石構造設計代表取締役社長)

場所：京都文化博物館別館2階講義室

参加者数：26名

〔2〕「京都の景観保全施策の進化・発展と

三条通の近代建築群の保存と活用」

日時：2018年12月16日(日)

午前10時15分～12時15分

講師：苅谷勇雅(日本イコモス国内員会副委員長)

場所：京都文化博物館別館2階講義室

参加者数：47名

〔3〕「バーチャル京都からみる三条通の景観変遷」

日時：2019年1月14日(月・祝)

午前10時30分～正午

講師：矢野桂司氏(立命館大学文学部地理学専攻教授)

場所：京都文化博物館本館3F フィルムシアター

参加者数：51名

〔4〕「お餅にまつわる京都の文化」

日時：2019年2月3日(日)午前11時～午後4時

講師：橋本章(京都文化博物館学芸員)

場所：京都文化博物館別館前

参加者数：700名(講座ともちつき大会の合計)

〔5〕「煉瓦と地域の絆 in Kyoto」

日時：2019年2月9日(土)午後3時～4時30分

講師：齊藤進氏(元東京都埋蔵文化財センター職員)

場所：京都文化博物館別館2階講義室

参加者数：34名

〔6〕「ホテルと博物館のある街」

日時：2019年2月13日(水)午後6時30分～8時

講師：宗田好史氏(京都府立大学教授)

場所：京都文化博物館本館7階サロン

参加者数：12名

〔7〕「京都の近代建築を考える会」の活動」

日時：2019年3月7日(木)午後6時30分～8時

講師：宮本和則氏(株式会社 京都建築事務所)

場所：京都文化博物館別館2階講義室

参加者数：30名

〔8〕「街を動かすのは市民から

これまでの20年 街づくりで大切なこと」

講師：水野雅男氏(法政大学教授)

日時：2019年3月13日(水)

午後6時30分～8時30分

場所：京都文化博物館本館7階サロン

参加者数：10名

【ミュージアムの課題と可能性を考えるワークショップ】

「まちづくりと博物館」

日時：2019年2月2日(土)午後1時～5時

場所：京都文化博物館別館2階講義室

参加者数：40名

内容：国際博物館会議(ICOM)での発信を有効なものにするため、「都市や地域社会の中で博物館がどのような役割を果たすのか」について、実行委員会団体に加えて関心のある参加者を募り、その検討を行った。発信手法の工夫としてグラフィックレコーディングも実施し、その効果を参加者と共有した。

・趣旨説明 村野正景(京都文化博物館)

・講演 「都市のミュージアムを考える」

村田麻里子氏(関西大学社会学部メディア専攻教授)

・ポスター発表

・ワークショップ 「京都×ミュージアム=?」



ミュージアムの課題と可能性を考えるワークショップの様子

②「きものの似合うまち・京都」づくり推進事業への協力

今年も昨年に引き続き、10月1日から12月25日まで、本事業に協力した。きものを着用した来館者に対する割引事業で、当館では総合展示入場料を無料、特別展示入場料を団体料金に割引している。期間中の利用者は特別展示254名であった。

本事業は京都府、京都市、京都商工会議所、公益財

団法人 京都和装産業振興財団、京都織物卸商業組合、西陣織工業組合、京友禅協同組合連合会、西陣織物産地問屋協同組合、京染卸商業組合の9団体で構成する「きものの似合うまち・京都」実行委員会の主催事業であり、2001年度から始められたものである。

V-9 京都文化博物館友の会

友の会は、歴史、美術、工芸、映像等に興味を持つ人々が、京都文化博物館を通して楽しみながら博物館活動に協力することを目的とする。

1) 会 員

【会員の特典】

- ・会員証で特別展・総合展示(映画鑑賞含む)の無料での鑑賞(B会員は特別展2回まで無料、3回目からは団体料金)
- ・会員同伴者5名様まで入場料20%割引(B会員は同伴者1名まで)
- ・当博物館発行の出版物の割引
- ・友の会が主催・後援する行事等の案内
- ・催事案内や各種行事案内等の送付
- ・当館会員証で京都国立博物館、京都国立近代美術館、京都市美術館の特別・常設展が団体料金に割引および京都府立堂本印象美術館の割引

【会費】

- ・A会員 年会費6,000円
- ・グループ会員(2名以上) 年会費5,000円/1名
- ・B会員 年会費4,000円

【会員の概要】

会員は、個人会員をA会員、また総合展示室・フィルムシアターの観覧を中心とするB会員、2名以上で入会するグループ会員の三つの区分に分け運営を行っている。

会員は、昨年よりA会員、グループ会員、B会員とも若干の増減はあるが、全体ではほぼ昨年同様となっている。

要因として、友の会運営は博物館事業と一体化しており、特別展や上映映画に対する会員の興味度・関心度によるところも要因の一つと考えられる。

また、B会員は比較的廉価なため、20～30代の方向の新規加入を期待している。今後は、さらなる新規会員の獲得を目指すとともに、既会員はもちろんのこと、今年度新たに入会した会員に対して次年度以降も継続して加入してもらえよう、友の会事業の内容の充実とサービスの向上を図りたい。

●会員数の推移

(単位：名)

	2018年度	2017年度	2016年度
A会員	376	378	397
グループ会員	144	150	177
B会員	313	307	284
計	833	835	858

●新規加入者数

(単位：名)

A会員	65
グループ会員	35
B会員	154
計	254

●職業

(単位：名)

会社員	150
公務員	29
教員	23
自営業	59
自由業	7
学生	3
その他	62
無職	500

●男女構成

(単位：名)

	男性	女性
A会員	68.1%	31.9%
グループ会員	46.5%	53.5%
B会員	62.0%	38.0%
計	62.1%	37.9%

●年齢分布

(単位：名)

10代	0
20代	8
30代	27
40代	49
50代	115
60代	234
70代	287
80代	101
90代以上	12
不明	0
最高齢	93
平均	66.74歳

●住所分布

(単位：名)

京都市内	569
京都府内	68
近畿圏内	166
その他の府県	30
(近畿圏内の内訳)	
大阪府	106
兵庫県	32
滋賀県	18
奈良県	9
和歌山県	1
計	166

2) 事業概要

V-9 京都文化博物館友の会 ▶ 2) 事業概要

① 見学会

【京都文化博物館開館30周年記念

明治の遺産「蹴上発電所」・「名勝・無鄰菴」】

場所：「蹴上発電所」京都市左京区栗田口烏居町2
「名勝・無鄰菴」京都市左京区南禅寺草川町31

日時：10月18日、10月25日午後1時30分～4時30分
参加者：それぞれ20名ずつ

V-9 京都文化博物館友の会 ▶ 2) 事業概要

② 協力事業

- ・文化財研修講座
「文化鑑賞と朝がゆ体験」(文化財保護基金室)
- ・京都文化博物館開館30周年記念、明治150年記念
「古典芸能3DAYS in Bunpaku」

- ・京都文化博物館開館30周年記念
「片岡秀太郎の歌舞伎ばなし」

V-9 京都文化博物館友の会 ▶ 2) 事業概要

③ その他

【「友の会通信」発行(毎月)】

会員への情報発信と来館促進のため、「友の会通信」を発行。

V-10 文化財保護基金室

公益財団法人京都文化財団では、京都文化博物館内に文化財保護基金室をおき、文化財の保護、啓発に努めている。

1) 貸付け事業

社寺建造物、美術品等文化財の保全に必要な修理事業などに長期、低利の貸付事業を行い、30年度においては、貸付審査委員会(平成30年5月25日、平成31年1月20日)において2件、22,000千円の貸付決定を行った。

【貸付状況】

区 分	件数	貸付金額(千円)	備 考
建造物修理	1	7,000	本堂改修修理
環境整備	1	15,000	境内復旧工事
	2	22,000	

2) 文化財保護に関する巡回よろず相談

文化財の保存修理等に関して所有者が抱える様々な問題に対処するため、文化財保護関係機関等が一堂に会するよろず相談を府内2ヶ所で開催した。

【よろず相談】

実施日	9月6日、7日の計2日間
会 場	京都市(市内)、福知山市(中丹)
来訪者数	15社寺・団体
相談件数	26件

3) 文化財保護の啓発普及

V-10 文化財保護基金室 ▶ 3) 文化財保護の啓発普及

①「文化財レポート」の発行

文化財の重要性を認識し、保護意識の高揚を図るための普及誌として「文化財レポート」3,500部を発行した。

V-10 文化財保護基金室 ▶ 3) 文化財保護の啓発普及

②「文化財鑑賞と朝がゆ体験」の開催

「頭に知恵、心に栄養」を補給する早朝体験型カルチャー講座として、文化財の講話、見学・鑑賞(座禅)、朝がゆを体験し、府民に文化財保護への理解とともに、心の交流を深めてもらった。

【朝がゆ】

7月 7日	金戒光明寺(京都市左京区)
7月14日	知恩院(京都市東山区)
8月25日	萬福寺(宇治市)
参加者数	141名

※7月7日は西日本豪雨のため中止とした。



文化財鑑賞と朝がゆ体験(万福寺)の様子

VI ギャラリー事業

VI-1 5・6階展示室

1) 京都文化財団展示室運営委員会

美術・工芸作家等が京都文化博物館5・6階展示室及び京都府立文化芸術会館展示室を使用するにあたって、展示室運営を適正かつ円滑に進めるために、京都文化財団では展示室運営委員会を設置している。本委員会の委員は学識経験者ならびに美術・工芸作家の中から理事長が委嘱し、任期は2年である。委員会の構成は学識者1名、日本画3名、洋画2名、彫刻1名、工芸3名(染織・陶芸・木工芸各1名)、書2名(仮名・

漢字各1名)、写真1名の計13名で、展示室の使用を希望する美術・工芸作家などの作品について審議している。2018年度の委員会は以下のとおり開催した。

【開催日一覧】

委員会開催日	審議対象期間	件数
2018年 7月10日	2018年12月～2019年 3月	8
10月30日	2019年 4月～2019年 7月	11
2019年 2月27日	2019年 8月～2019年11月	12

2) 美術・工芸作家の利用

当館では、開館以来5階展示室に、又6階においては1997年7月より美術・工芸作家が利用できる場を設けており、利用は府内に活動の本拠を持つ作家及び府内にゆかりのある作家としている。展示作品は、絵画・彫刻・工芸・書・デザイン・写真・華道などのジ

ャンルで、内容の充実しているものとし、利用の可否については、展示室運営委員会において利用申込者の作品を審議して決定している。

2018年度の利用件数は、36件であった。

【作家利用一覧】

会 期	展 覧 会 名	分 野	会 期	展 覧 会 名	分 野
2018 4.3～4.7	第31回 面風會展—能面・狂言面—	諸工芸(能面)	8.21～8.25	第23回 ファインド・アイ 現代・文人光画展	写真
4.17～4.21	第26回 光勲能面會展	諸工芸(能面)	9.10～9.16	華の雫 Look back 重岡良子展	日本画
4.17～4.21	第42回 日本画春季光文展	日本画	9.18～9.23	台湾藝術家新作展(6階)	美術工芸総合 (水彩画・書・陶)
4.18～4.21	京都創造藝術協會展	美術総合	9.19～9.22	第38回 聚英展	書
4.19～4.21	第27回 京都能面展	諸工芸(能面)	9.19～9.23	第29回 光風工芸「明日へのかたち展」	工芸総合
4.26～4.28	辛酉会書展	書	9.19～9.23	大森俊次 水彩画 ～映画のある風景～	洋画
5.7～5.12	Fiber Art by Seven ファイバーアートの7人	染織	10.17～10.21	選抜 京都墨彩画壇秋季展 「神無月の墨の彩 2018」	日本画(墨彩)
5.7～5.12	藤井靖子 個展 めぐる季節・美を求めて	日本画	10.17～10.21	時空 出口育子作品展 Time & Space Exhibition	洋画
5.7～5.12	湯浅三郎 壬生狂言(30演目)を描く	繻工(きぎり絵)	10.24～10.28	平成30年度 京の名工展	工芸総合
5.8～5.12	麻生喜美子レリーフ彫刻展	彫刻	11.21～11.25	第30回記念 工芸美術 創工会展	工芸総合
6.4～6.9	第36回 明日をひらく絵画 上野の森美術館大賞展 関西展	美術総合	12.20～12.24	第27回 帆の会展	洋画
6.12～6.16	第八回 書の交響展	書	12.19～12.24	第16回 京都現代写真作家展 受賞者記念展	写真
6.18～6.23	第73回 京都丹平写真展	写真	2019 1.25～1.27	2018年度 京都橘大学 卒業制作展(6階)	書
6.26～6.30	2018 京都日本画家協会 第6期展	日本画	2.21～2.24	水明書道会 第13回 墨聚展	書
7.23～7.28	第10回 The NIHONGA-伝統と創造-	日本画	3.07～3.10	第40回 京都現代書芸展	書
7.30～8.4	第40回 日本新工芸展	工芸総合	3.20～3.24	第42回 新日美展 京都巡回展	美術総合
8.13～8.18	第89回 第一美術 京都展	洋画	3.20～3.24	書 三月の会	書
8.21～8.25	第37回 六藝会篆刻作品展	書(篆刻)	3.20～3.24	第62回 あまがつ会人形展	諸工芸(人形)
			計 36件(182日間) 39,821人		

【作家利用分野別件数・入場者数】

	美術						工芸				美術 工芸 総合	総計
	日本画	洋画	書	写真	彫刻	美術総合	染織	陶芸	諸工芸	工芸総合		
使用件数	6	4	8	3	1	3	1	0	5	4	1	36
割合(%)	17%	11%	22%	8%	3%	8%	3%	0%	14%	11%	3%	100%
入場者数	7,280	3,625	7,144	4,473	332	2,771	811	0	3,685	9,078	622	39,821
1件平均入場者数	1,213	906	893	1,491	332	924	811	0	737	2,270	622	1,106

*諸工芸には、能面・人形を含む。

3) 生涯学習的発表期間の利用

1998年より、5階・6階各展示室に生涯学習的発表期間を設けた。これは美術・工芸作家の利用期間に準

ずる期間として、美術・工芸作家及び技能芸能継承者の指導するグループの発表期間を設けたものである。

【生涯学習利用展覧会別入場者数一覧】

	会期	展覧会名	分野	入場者数
5階	2018 4.5～4.8	第27回煌めくクラフト展、第15回素敵なおニット展	諸工芸	1,051
		宮澤瑠華遺作展	書	989
	4.27～4.29	第44回京都春季創画展	日本画	3,353
	5.2～5.6	第104回光風会京都展(絵画・工芸)	美術工芸総合	2,068
	5.15～5.20	第12回佳趣会書展	書	772
	6.15～6.17	第34回「竹の会」木版画展	諸工芸	653
	6.20～6.24	第10回記念 京都全日本 水墨画・俳画・文人画 秀作展	日本画	1,002
	7.5～7.8	第98回平安書道会公募展	書	1,423
	7.19～7.22	公募 平成30年度 水明書展 第69回 一般部	書	1,622
	8.10～8.12	第6回ハクビ和紙ちぎり絵学院 京都全国創作展	諸工芸	639
	8.29～9.2	第8回カリグラファーズ・ギルド作品展	書	650
	9.4～9.9	上田ミチヨ ソーイング教室発表会	諸工芸	426
	10.4～10.8	萌葱会染色作品展 テーマ 文字遊び	染織/染色	428
	10.5～10.8	第35回 龍雲会書展	書	701
	10.17～10.21	'18写人展	写真	702
	10.17～10.21	創部82年 京都大学写真部OB展	写真	805
	10.18～10.21	第23回早蕨会書展	書	894
	11.2～11.4	第55回仏教美術展	(美術)総合	3,469
	11.8～11.11	第52回心象書展 一たのしみ・宋代の書一 併催 選抜8人展	書	2,082
	11.27～12.2	第86回独立展	洋画	2,219
2019	1.11～1.14	沙羅書芸教室 新春書藝展	書	875
	1.18～1.27	第31回京都美術文化賞 受賞記念展 <21日休室>	美術工芸総合	1,823
	2.14～2.17	京都工芸繊維大学 卒業・修了制作展2019 デザイン・建築学課程	(美術)総合	2,035
	3.1～3.3	第32回全国シルバー書道展 京都展	書	1,101
	3.8～3.10	平成30年度 京都精華学園高等学校 美術科 卒業作品展	(美術)総合	773
	3.13～3.17	第18回福知山市佐藤太清賞公募美術展	(美術)総合	469
計26件 使用日数：117日				33,024

*3月29日から4月1日の「第35回記念公募 京都水彩展」の使用件数・入場者は前年度を含む。

	会 期		展 覧 会 名		分 野	入場者数	
6階	2018	4.6～4.8	小糸染芸 創業百五十周年記念作品展		染織/染色	1,273	
		4.21	風楽和く華>Vol.7(邦楽コンサート) 地歌から現代邦楽		その他	60	
		5.12～5.13	体験学習(絵付体験)		その他	340	
		5.15	体験学習(落語鑑賞)		その他	190	
		5.19	三絃・福森文子 琴・福原佐和子 尺八・三橋貴風 博韻之會		その他	90	
		5.24	体験学習(座禅体験)		その他	250	
		5.30	体験学習(キャリア講演会)		その他	188	
		6.14	体験学習(絵付体験)		その他	300	
		6.19	体験学習(絵付体験)		その他	270	
		7.5	体験学習(落語鑑賞)		その他	100	
		7.27～7.29	(公財)片山家能楽・京舞保存財団 第22回能装束・能面展		(工芸)総合	810	
		8.10～8.12	公募 平成30年度 水明書展 第69回 一般部		書	1,260	
		9.9	長月の会(邦楽:清調会)		その他	60	
		9.15	京都文博 嘶の会vol.9 笑福亭松喬 独演会		その他	186	
		10.6	開館30周年記念事業 第1回 講談の会		その他	120	
		10.7	開館30周年記念事業 第2回 落語会		その他	200	
		10.8	開館30周年記念事業 第3回 日本舞踊への誘い		その他	150	
		10.20～10.21	第34回文化書道近畿連合会展		書	768	
		10.27～10.28	第21回竹心展		書	346	
		11.2～11.4	第55回仏教美術展		(美術)総合	1,995	
		11.9～11.11	吉田手織工房 京都教室 絲織会 第7回作品展		染織/染色	384	
		11.16～11.18	第56回 龍門社選抜書道展		書	924	
		11.24～11.25	第50回 京都女流京華会いけ花展		(美術)総合	1,420	
		11.29～12.2	第8回ボジャギ工房koeグループ展 韓国の手仕事 ボジャギ 絹と麻ー素材の美		諸工芸	1,726	
		12.8	京都文博 嘶の会vol.10 笑福亭たま 独演会		その他	197	
		12.16	全国競技かるた京都大会 C級会場		その他	300	
		12.20	京文連研修会		その他	80	
		12.23	開館30周年記念事業 「片岡秀太郎の歌舞伎ばなし」 併催「女形・片岡秀太郎」写真展		その他	340	
		2019	1.13	知ふみ書道 新春書初展		書	525
			1.19	第1回京・笑いの会		その他	100
1.22～1.23	第15回 匠・双美会		染織/染色	256			
2.14～2.17	京都工芸繊維大学 卒業・修了制作展2019 大学院 デザイン学専攻		(美術)総合	1,703			
2.19～2.22	成安造形大学 卒業制作展2019		(美術)総合	469			
2.24	第19回 五色百人一首 京都府大会		その他	774			
3.15～3.17	第68回 京都染色美術展		染織/染色	1,111			
計35件 使用日数:63日						19,265	

【生涯学習利用分野別件数・入場者数】

	和装 呉服	美 術								工 芸					美術 工芸 総合	総計
		日本画	洋画	書	写真	その他	美術総合	小計	染織	陶芸・金竹・漆	諸工芸	工芸総合	小計			
5 階	件数	-	2	1	10	2	-	4	19	1	-	4	-	5	2	26
	日数	-	9	7	38	10	-	15	79	4	-	19	-	23	15	117
	人数	-	4,355	2,219	11,109	1,507	-	6,746	25,936	428	0	2,769	-	3,197	3,891	33,024
6 階	件数	-	-	-	5	-	20	4	29	4	-	1	1	6	-	35
	日数	-	-	-	11	-	21	13	45	11	-	4	3	18	-	63
	人数	-	-	-	3,823	-	4,295	5,587	13,705	3,024	-	1,726	810	5,560	-	19,265

※6階「その他」は体験学習、落語会、邦楽演奏会等。
※「(美術)総合」に絵画、華道含む。

4) 一般の利用

5階展示室及び6階展示室は美術・工芸作品の展覧会などの他、京物と称される京都の伝統産業製品を紹介することを目的とした展示会、内見会、見本市などの会場としても利用されている。

【一般利用分野別件数・入場者数】

場所	和装・洋服	染織	美術	工芸	その他	計	
5階	件数	4	1	-	-	6	11
	日数	18	2	-	-	13	33
	人数	1,775	1,000	-	-	4,150	6,925
6階	件数	17	-	-	-	-	17
	日数	47	-	-	-	-	47
	人数	4,175	-	-	-	-	4,175

※美術：日本画、洋画、書、写真、華道など

VI-2 別館ホール

旧日本銀行京都支店(重要文化財)の営業室であった別館ホールは、通常は明治時代の代表的な洋風近代建築の内部を公開しているが、一方で多目的ホールとしての機能も持っている。特別展の開会式、音楽会など館主催の事業に使用するとともに、貸会場として展覧会や音楽会、また展示即売会等の商業催事からファッションショーまで様々な催事の利用に供している。

2013年度から開催されているKYOTOGRAPHIEや2017年度から始まったARTISTS'FAIR KYOTOなど、大型の展覧会の開催により新たな客層の賑わいが生まれている。また近年はホールの利用に合わせたサブイベントとして、講義室やウッドデッキの利用も増えている。

【別館利用状況一覧】

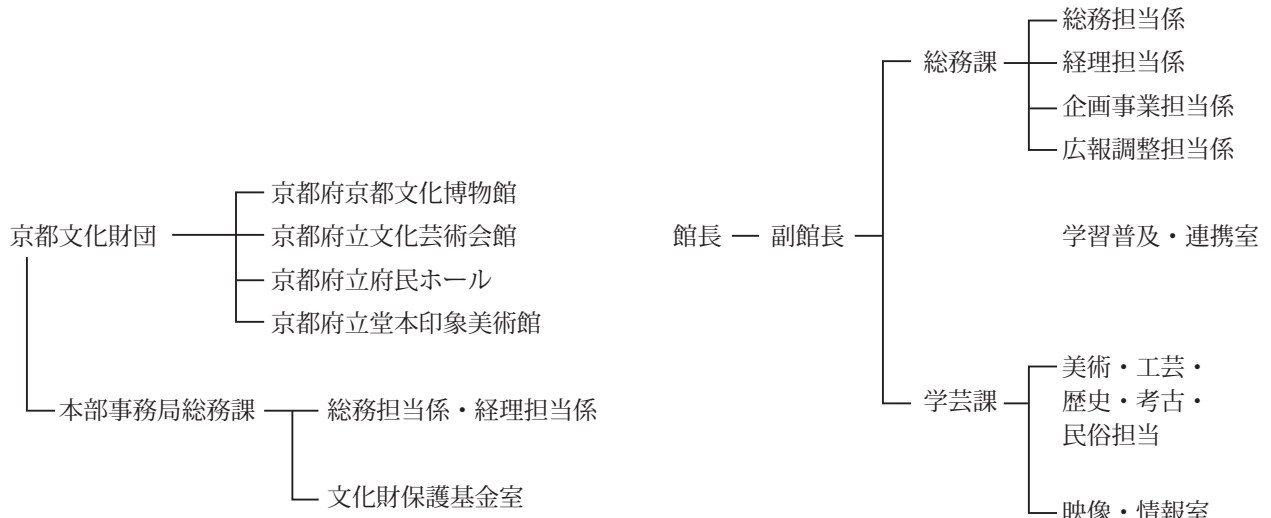
会期	展覧会・音楽会名	会期	展覧会・音楽会名
4.1	混声合唱団アンサンブルアワーズ コンサート	6.23	Classic Summer Concert ～京に響く クラシックのひととき～
4.5～4.6	PLAY and WORK 展	6.24	京都クラウディオ・モンテヴェルディ合唱団 第61回定期演奏会
4.7	フランス歌曲の珠玉～愛の喜び Plaisir d'amour～	6.27～7.1	小道具～映像美術と共に～
4.8	染織光悦會	7.3	Music from CMI
4.28～4.30	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>	7.4	Amo Italia! イタリアの風をあなたに2018 ～ルイジ・アンジェロ・マレスカ氏を迎えて～
4.13～5.13	KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 ジャン＝ポール・グード	7.7	西尾維新大辞展オープニングイベント
5.12～5.13	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>	7.8	粟辻泰史・紀子「ふたりのリサイタル」
5.15	通崎睦美コンサート「今、甦る! 木琴デイズ」vol.9 丘を越えて～歌謡曲とタンゴ	7.14～7.15	京都文化博物館開館30周年記念祇園祭 ミュージアムコンサート
5.18～5.19	LANVIN COLLECTION HIVER 2018 COLLECTION	7.16	京都文化博物館開館30周年記念 同志社女子大学音楽学部生による青山ミュージアムコンサート
5.20～5.29	京都国際音楽学生フェスティバル2018(リハーサル)	7.16	京都文化博物館開館30周年記念 第29回青山に箏曲を聴く夕べ
5.30～	京フィル室内楽コンサートシリーズvol.66 「後期ロマン派の潮流」	7.17	京都文化博物館開館30周年記念 京都市立芸術大学ゆかりの声楽家によるハートフル・スペシャルコンサート
6.1	京都新聞CMソング発表記念コンサート	7.14～7.17	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>
6.2	特別展関連イベント 岡直弥クロマチックハーモニカコンサート	7.14～7.17	京都文化博物館開館30周年記念「ろうじの陶器市」
6.3	フルートアンサンブルメロンジェ トリオの奏～京の初夏によせて～	7.20～7.21	羊をめぐる音楽会vol.2 ～京都芸大卒ひつじ年生まれによるマリンバコンサート
6.9	新井英一 6月の風に吹かれて... 京都文化博物館2018	7.22	本山秀毅 コーラス・ワークショップ2018修了演奏会
6.10	朗読劇「Rのおしながき」	7.27	大久保香・千藤里子 フルードデュオ リサイタルVol.4
6.15	コトリンゴ 雨の箱庭 piano tour 2018	7.28	Students' Piano Concert ピアノを学ぶ子どもたちによる演奏会
6.15～6.17	京都文化博物館開館30周年記念「ろうじの古本市 さきまつり」	7.29	Trio You Heartful Concert
6.16	公開シンポジウム 京町家新条例の適切な運用を考える町家をこれ以上壊さないために その3	8.1	CHONG AMI BIRTHDAY RECITAL VOL.2
6.16～6.17	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>	8.3	ナカナカ×ナカヨシ ピアノ連弾デュオによるジョイントリサイタル
6.17	京都プラスバンド レギュラーコンサート2018	8.5	Felix室内合奏団 第30回演奏会
6.21	文化庁地域文化創生本部発足1周年記念 「宮田亮平長官と文化を語る(和食編)」	8.7～8.23	京都文化博物館開館30周年記念COOL MUSIC SPOT
6.22	田呈媛 音楽博士号取得&初アルバム発売記念リサイタル 中国長笛物語(続編)	8.11	尺八・風の色—琴古流本曲の機微—
6.22～6.24	京都文化博物館開館30周年記念「ろうじの古本市 あとまつり」	8.12	記念シンポジウム 「世界の博物館史と平安博物館—ICOM(国際博物館会議)京都2019を見据えて—」

会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
8.16	第1回京フィルの夕べ 大文字送り火演奏会	12.8	京都表装協会表彰式
8.18	フルート&ピアノ デュオリサイタル	12.9	デジタルリマスター人材育成事業
8.18～8.19	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>	12.12	プレス クリスマスコンサート2018
8.18～8.19	京都文化博物館開館30周年記念 「ろうじの夏休みこどもワークショップ」	12.13	Joyful Bells/ハンドベルコンサート
8.19	西尾維新展イベント	12.14	アストロリコ・アルゼンチンタンゴコンサート
8.24	明治150年記念・全区りレー事業 第7回 明治維新と中京のまち	12.15	京都フランス歌曲協会コンサート
8.25	第19回 夏のひとつき	12.16	西垣正信クリスマスコンサート
8.26	言ノ葉の木	12.18	京都府商工会議所青年部連合会会議
8.29	京フィル室内楽コンサートシリーズ vol.68 「バロック・古典派の室内楽」	12.19・12.20	haruka nakamura 12月のカーテンコールⅢ 京都公演
9.1	大井千世 ピアノリサイタル	12.21	アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニ コンサート
9.2	福永圭子 メゾソプラノリサイタル	12.22～12.23	THE GIFT BOX2018 アーティストが提案する特別なギフト
9.5～9.9	共生の芸術祭「アートと障害のアーカイブ・京都」	12.24	京都室内合唱団クリスマスコンサート
9.12～9.15	むす美展	12.22～12.24	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>
9.15～9.17	京都文化博物館開館30周年記念[ろうじの骨董市]	12.26	Liederabend ～歌の夕べ～
9.15～9.17	ぶんぱくアートマルシェ	1.5	J Mコンサート
9.16	京都バツハ合唱団30周年記念シリーズ<第1回> ～アカペラコンサート CONFLICT AND PEACE ～	1.6	シンポジウム「宝物と政権の歴史的諸相」
9.17	Jazz at Sanjo vol.17	1.12	京都:Re-Searchフォーラム
9.22 9.24	京都アートフリーマーケット2018秋	1.13	ART PROJECT SCHOOL@京都 プロジェクト報告会
9.29	第16回健康塾	1.12～1.14	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>
9.30	松下悦子門下生 歌う会 【台風接近による臨時休館により延期】	1.19	鴨沂高校ワークショップ
10.3	京都文化博物館開館30周年記念 京都画廊連合会シンポジウム 「文化庁は京都に何を求め、京都は文化庁に何を求めるのか」	1.19～2.3	Kyoto Art for Tomorrow 2019—京都府新鋭選抜展—
10.6～10.7	新見知ふみ書展 禅×創造×私	2.1	鴨沂高校研修
10.8	花結び師TAKAYA 「花—あなたは何を感じ誰を想いますか。」	2.2	ぶんぱく講座
10.12～10.14	KPA「メイキング・ワークショップ2019」	2.6～2.9	むす美展
10.16	皇室展 三笠宮彬子女王講演会	2.9	文化庁ワークショップ
10.20	皇室展 音楽会	2.10	ぶんぱく講座
10.20～10.21	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>	2.10	金子三勇士 ピアノリサイタル
10.21	Kotyエレガント ミニフラ フェスティバル	2.11	立命館大学メンネルコールOB会コンサート
10.26	谷山浩子ソロライブツアー 2018	2.14～2.17	京都工芸繊維大学建築学専攻 修了制作展2019
10.27	第10回京都ヒストリカ国際映画祭 ヒストリカ×VR	2.10～2.12	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>
10.28	第10回京都映画企画市	2.20～2.21	成安造形大学卒業制作展関連イベント ファッションショー
10.31	フィルムメーカーズラボ	2.28	ARTISTS' FAIR KYOTO(内覧会)
11.1	フィルムメーカーズラボ/TIFFセミナー	3.1～3.2	ARTISTS' FAIR KYOTO
11.2	フィルムメーカーズラボ映画上映	3.4	京都クロスメディア推進戦略拠点
11.3～11.4	京都ヒストリカ 活弁上映会	3.7	まちカフェ
11.6	近代建築WEEK2018・博学社連携シンポジウム	3.9	学校所蔵考古・資料展講演会
11.7	Jazz & wineの夕べ	3.10	今井順子ソプラノリサイタル
11.8	平沼有梨 feat.古澤巖 光芒～神々の旋律～	3.12	京都市立芸術大学 古典派音楽研究会第2回定期演奏会
11.10～11.11	シャドーボックス教室作品展「稔りの秋に感謝して」	3.13	北野天満宮展講演会
11.13	通崎睦美コンサート「今、甦る!木琴デイズ」vol.10 木琴博覧会へようこそ	3.15～3.17	京都アートフリーマーケット2019春
11.16～11.18	佐々木真弓・アトリエエンジェル ステングラス・ランプ展	3.19 3.20	「PLAY & WORK」展
11.17～11.18	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>	3.21	JEUGIAミュージックサロン京都駅 Recital 2019
11.22	メゾンドブラン・トークショー	3.21～3.24	ぶんぱくアートマルシェ<三条ウッドデッキ>
11.23	音楽のおもちゃ箱の仲間たち「コンサートフェア2018」	3.22	京都市立芸術大学 金管五重奏 Air Mix Brass 第3回演奏会
11.24	第33回 歌の花束	3.23	KYOの響 演は縁のコンサート Vol.5
11.25	松下悦子門下声楽発表会「歌う会」	3.24	アンサンブルセリオーソ 第5回定期演奏会
11.28～12.4	貴久樹 天竺展	3.26 3.31	「板東俘虜収容所」の世界展
12.6～12.9	シャドーボックス展「京都で紡ぐ」		
			入場者数 計 239,919人

VII 管理・運営

VII - 1 組織と職員

1) 組織



※総務担当係及び経理担当係は京都文化財団本部総務課を兼ねる。

2) 京都文化財団

【京都文化財団役員および顧問名簿】

2019年3月31日現在

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
顧問	西脇 隆俊 千 玄室	京都府知事 前京都文化財団副理事長、前茶道裏千家家元	理事	並木 誠士 平林 幸子 深尾 憲一 吉田 忠嗣	京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科教授、美術工芸資料館館長 京都中央信用金庫副会長 弁護士 吉忠株式会社代表取締役社長
理事長	山田 啓二	京都文化博物館館長、前京都府知事	監事	光田 周史 中村 健児	公認会計士 一般社団法人京都銀行協会専務理事
常務理事	神山 俊昭	京都文化博物館副館長			
理事	金田 章裕 小林 正幸 高階絵里加	京都府立京都学・歴史館館長、京都府立大学法人理事長 京友商事株式会社代表取締役会長 京都大学人文科学研究所准教授			

【京都文化財団評議員名簿】

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
評議員会長	長尾 真	元京都大学総長	評議員	金剛 永謹	金剛流宗家
評議員	有馬 頼底	臨濟宗相国寺派管長		田中 恆清	石清水八幡宮宮司
	池坊 専好	華道家元池坊次期家元		鶴田 憲次	洋画家
	今井 政之	陶芸家		永島 宣彦	京都新聞社参与
	上村 淳之	日本画家		名和 修	公益財団法人陽明文庫常務理事、文庫長
	梅原ひまり	ヴァイオリニスト		野中 信夫	元NPO MCEI専務理事
	兒島 宏尚	京都商工会議所専務理事		山内 修一	京都府副知事
	神林 恒道	大阪大学名誉教授		山本 壯太	古典の日推進委員会ゼネラルプロデューサー
	杭迫 柏樹	書家		冷泉 為人	公益財団法人冷泉家時雨亭文庫理事長

3) 京都文化博物館

【京都文化博物館職員名簿】

2019年3月31日現在

所 属	職 名	氏 名	担 当 業 務	備 考
総 務 課	名誉館長	荒巻 禎一		財団理事長・館長 2003.6～2018.6
	館長	山田 啓二	館総括	財団理事長 2018.6～
	副館長	神山 俊昭	館業務総括	事務局長 2011.4～ 財団常務理事 2011.6～
	課長	広井 真弓	課総括	財団本部事務局兼務 2018.6～
	参事	奥野 清人	課総括補助	2014.5～
	課長補佐兼総務担当係長	佐藤 幸央	総務担当業務	財団本部事務局兼務 1991.10～
	課長補佐兼経理担当係長	宮本 幸樹	経理担当業務	財団本部事務局兼務 2012.3～
	課長補佐兼企画事業担当係長	森 雅樹	企画事業担当業務	1992.9～
	課長補佐兼広報調整担当係長	磯野 真知子	広報調整担当業務	2011.4～
	担当係長	海老名 和孝	企画事業担当業務	2015.4～
	主任	高桑 鉄則	企画事業担当業務	2007.4～
	主事	新谷 婦美子	総務担当業務	財団本部事務局兼務 2014.4～
	主事	竹内 文香	広報調整担当業務	2014.4～
	主事	正野 裕文	経理担当業務	財団本部事務局兼務 2018.4～
保護基金室	文化財保護基金室長事務取扱	奥野 清人	基金事業担当業務	2014.5～
学 芸 課	課長	畑 智子	課総括	2006.6～
	課長補佐 主任学芸員	洲鎌佐智子	工芸	1988.5～
	課長補佐 映像・情報室長 主任学芸員	森脇 清隆	映像・情報	1990.7～
	学芸員	林 智子	染織	2008.10～
	学芸員	植田 彩芳子	絵画	2010.8～
	学芸員	西山 剛	歴史・文献	2010.8～
	学芸員	村野 正景	歴史・考古	2011.4～
	学芸員	橋本 章	民俗	2011.10～
	学芸員	森 道彦	絵画	2012.4～
	学芸員	長村 祥知	歴史・文献	2012.6～
	学芸員	大矢 敦子	映像・情報	2016.4～
	学芸員	植田 憲司	映像・情報	2017.4～
	学芸員	清水 智世	絵画	2017.4～

VII-2 施設

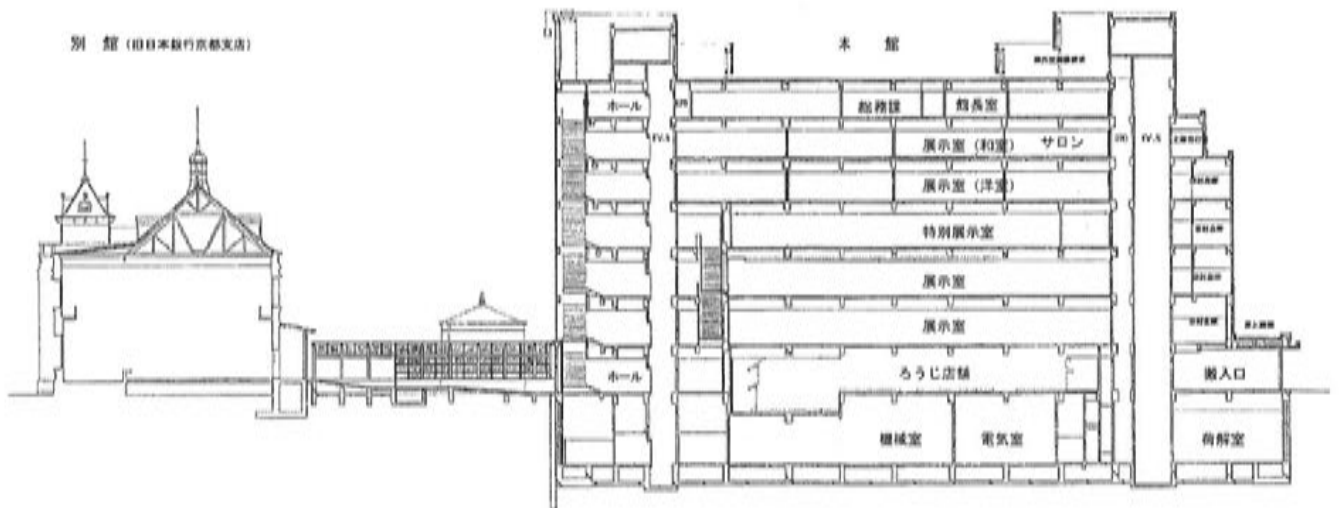
1) 本館関係

所在地：京都市中京区高倉通三条上ル東片町623-1
設計：京都府土木建築部営繕課・株式会社久米建築事務所
施工期間：1986年10月～1988年9月
2010年12月～2011年7月
(リニューアル工事実施)
敷地面積：4,830.0㎡(別館を含む)
建築面積：3,646.5㎡(別館を含む)
延床面積：15,854.7㎡(別館を含む)
本館床面積：13,591.8㎡
(内訳) 地階 2,242.4㎡ / 1階 2,251.7㎡
2階 1,892.8㎡ / 3階 1,908.7㎡
4階 1,442.1㎡ / 5階 1,442.1㎡
6階 1,218.2㎡ / 7階 1,010.4㎡
塔屋 182.8㎡
構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 / 一部鉄骨造

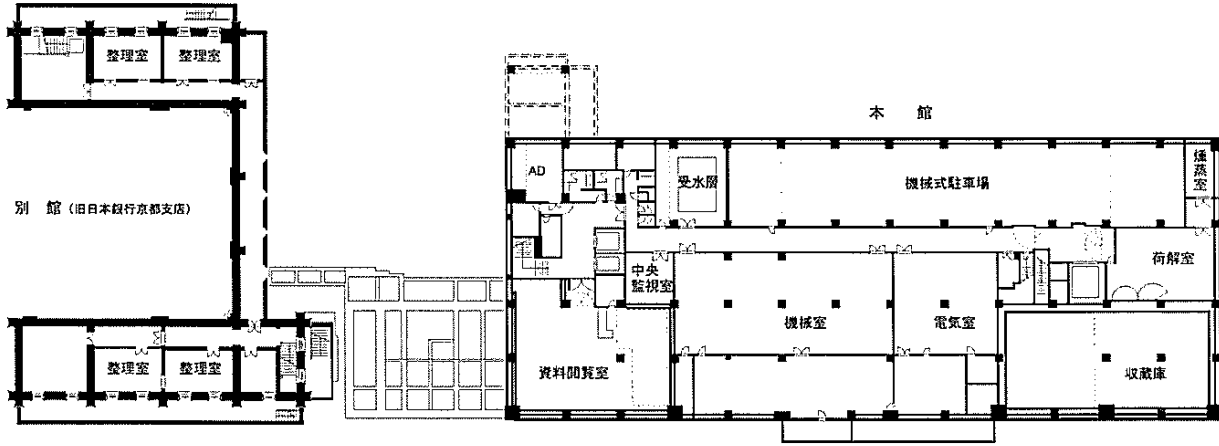
2) 別館関係

所在地：京都市中京区三条通高倉西入ル
菱屋町48番地
設計：辰野金吾・長野宇平治
施工期間：1903(明治36)年9月
～1906(明治39)年6月
延床面積：2,249.3㎡
別館構造：建築面積……819.7㎡
煉瓦造、2階建一部地下1階
スレート・銅板葺、両翼塔屋付
旧金庫構造：建築面積……237.1㎡
煉瓦造、1階建、棧瓦葺
指定：重要文化財
指定名称 旧日本銀行京都支店
指定年月日 1969年3月12日
指定書番号 建第1,708号

【京都文化博物館断面図】

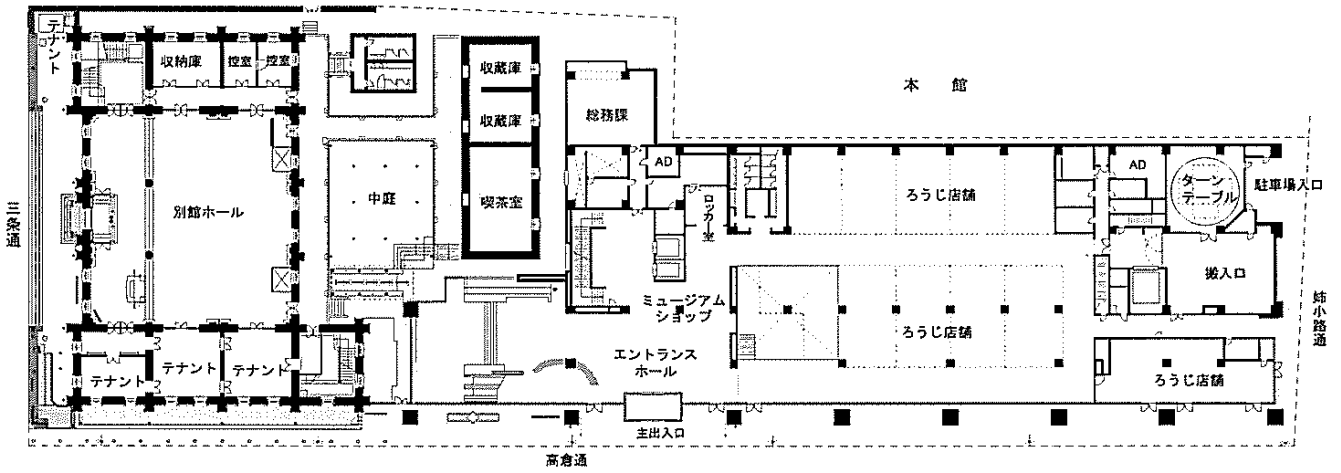


【京都文化博物館 地下1階平面図】



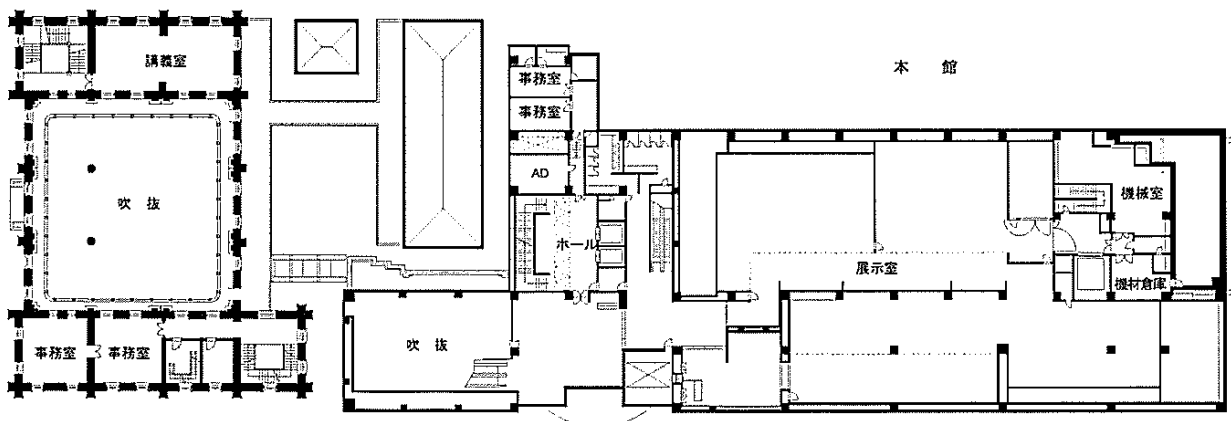
【京都文化博物館 1階平面図】

別館 (旧日本銀行京都支店)

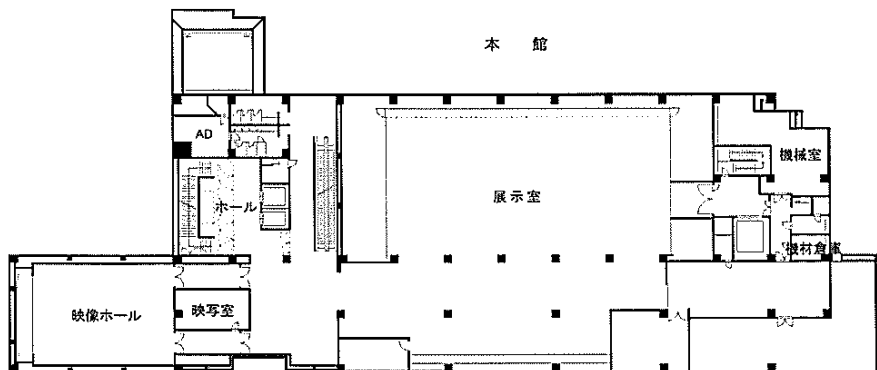


【京都文化博物館 2階平面図】

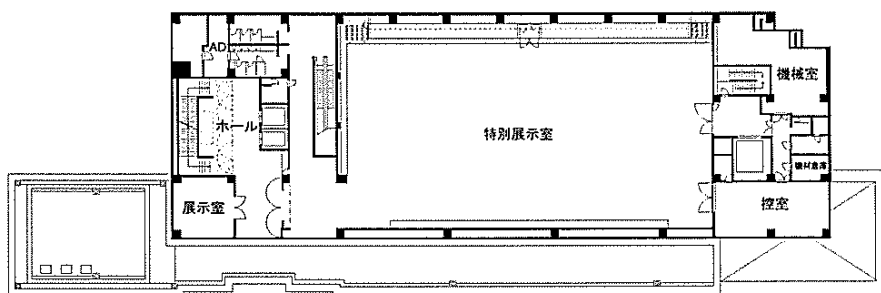
別館 (旧日本銀行京都支店)



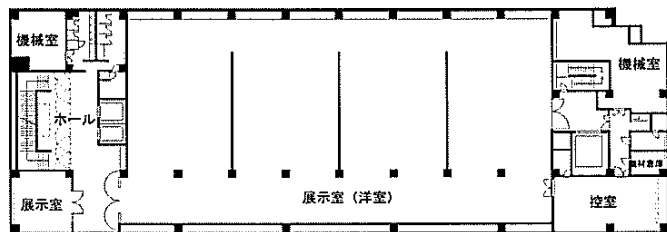
【京都文化博物館 3階平面図】



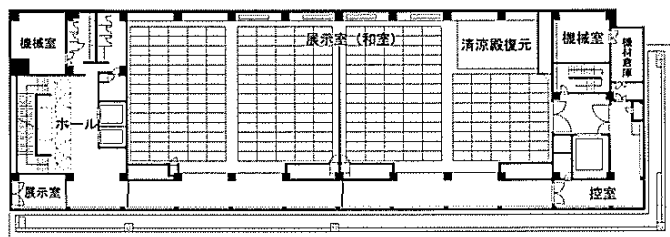
【京都文化博物館 4階平面図】



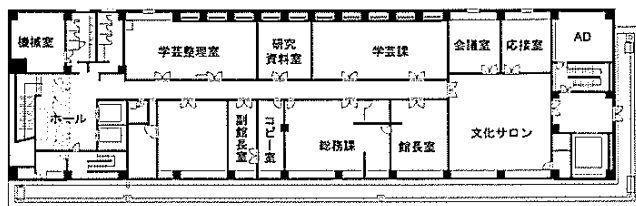
【京都文化博物館 5階平面図】



【京都文化博物館 6階平面図】



【京都文化博物館 7階平面図】



VII - 3 館内店舗

1) ろうじ店舗

「ろうじ店舗」は本館1階にあり、江戸時代末期の京町家の外観を復元したものである。高倉通側には飲食店、西側の路地には京物と呼ばれる伝統工芸品や土産物を扱う物販店が営業している。また、ろうじ店舗各店でつくる「ろうじ店舗博和会」は当館の協力会として催しにあわせて積極的に活動している。本年度のろうじ店舗利用者は147,873名であった。

【ろうじ店舗一覧】

- ◇和紙と和紙小物の店—楽紙館
- ◇京都和雑貨—菰軒
- ◇京のエッセンス16店舗 名店会(順不同)
 - 香老舗—松榮堂
 - 京麩—半兵衛麩

- 京念珠—福永念珠舗
- 京佃煮—野村
- 京扇子—とくの
- 八ッ橋—井筒八ッ橋
- 京風雅便箋—表現社
- ちりめん小物—くろちく
- 竹の匠—高野竹工
- 町屋手拭—永楽屋細辻伊兵衛商店(2018年5月31日退店)

- 京菓子—鼓月
- 宇治茶—福寿園
- 京象嵌—川人象嵌
- 京の額—古澤仙壽堂
- 野菜せんべい—京煎堂
- 京つけもの—西利
- ◇手打ちそば・蕎麦料理—有喜屋
- ◇とにまる ぶんぱく店
- ◇京都なだ万寶館
- ◇京・嵐山上流の蔵—京丹山
- ◇ミュージアムショップ—京都便利堂

2) 別館店舗

【別館店舗一覧】

- ◇前田珈琲文博店
- ◇Contemporary Art JARFO京・文博
- ◇アートギャラリー arton art gallery
- ◇和雑貨—くろちく文博店

3) 博和会・ろうじ店舗行事

【博和会行事】

区分	名称	開催日	入場者数
京都文化博物館開館30周年記念イベント	開館30周年キャッチコピー看板 館内装飾	平成30年5月31日～平成31年3月31日	—
	ろうじの古本市 さきまつり 協力：京都古書研究会	6月15日～17日	7,294
	ろうじの古本市 あとまつり 協力：京都古書研究会	6月22日～24日	10,312
	ろうじの陶器市 協力：五条坂・茶わん坂ネットワーク	7月14日～17日	7,001
	夏休みこどもワークショップ 協力：(株)オフィスイベントラボ	8月18日～19日	242
	ろうじの骨董市 協力：京都古美術研究会	9月15日～17日	5,271
	ブンパククリスマス2018(巨大Xmasツリーの装飾) 点灯式11月30日(金)17:00 ハンドベル演奏『Joyfull Bell』	11月30日～12月26日	—
京都文化博物館開館30周年記念キャンペーン	開館30周年キャッチコピー公募 決定コピー「はんなりと 30年間 おもてなし」	平成30年3月1日～平成30年3月31日	—
	ビンゴキャンペーン ビンゴカード達成者に金券(1,000円)を400枚配布	6月1日～9月30日	—
	特別展「西尾維新大辞展～京都篇～」コラボレーション団扇プレゼント	7月7日～9月17日	—
	ブンパククリスマス2018の投稿公募 Facebook、Twitter、Line@、Instagramの投稿優秀者にプレゼント進呈	11月27日～12月26日	—
懇親会	山田新館長歓迎会	8月2日	—
会員店舗職員向懇親会	納涼会(店舗職員と館職員の交流会)	8月9日	—
	大忘年会(店舗職員と館職員の交流会)	12月27日	—

VIII 2018(平成30)年度 のあゆみ

※事項欄の「FT」はフィルムシアター、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室の略

月 日	事 項	
2018年		
4月 3日	常設上映「近代文学と映画2 女流作家篇」	(～5月6日/FT)
4月 7日	総合展示「祇園祭－蠅螂山の名宝－」	(～6月17日/2階)
4月18日	映画テレビ技術協会京都支部 第70回映像技術賞 上映会とトーク	(18日/FT)
4月27日	ヴェネチア国際映画祭が選んだ京都映画 講演と上映	(～29日/FT)
4月28日	「色彩の画家オットー・ネーベル展 シャガール、カンディンスキー、クレーとともに」開催	(～6月24日/3・4階)
5月 8日	常設上映「社会派サスペンス映画劇場」	(～6月1日/FT)
5月12日	総合展示「桂離宮のモダニズム」	(～7月1日/2階)
5月19日	文化庁ndjc若手映画作家育成プロジェクト 文博特選上映会	(19日/FT)
5月20日	壁の向こうのハリウッドー東ドイツ映画の上映と講演	(20日/FT)
6月 2日	EUフィルムデーズ2018 映画で旅するヨーロッパ	(～24日/FT)
6月16日	ぶんぱく京都講座「石元泰博と桂離宮」	(16日/AL)
6月23日	総合展示「祇園祭・山鉾巡行の歴史と文化ー明治維新と山鉾巡行ー」	(～8月5日/2階)
6月26日	常設上映「戦前名作映画特集」	(～7月6日/FT)
6月30日	トルコ映画の誘惑	(～7月1日/FT)
7月 7日	「西尾維新大辞展～京都篇～」開催	(～9月17日/4階)
7月 7日	総合展示「信長上洛～京都・織田信長入京から450年～」	(～9月2日/2階)
7月 7日	総合展示「京・後藤家の軌跡」	(～9月9日/2階)
7月 7日	常設上映「特撮魂！映画職人の夢と汗」	(～8月30日/FT)
7月 8日	ぶんぱく子ども教室 第1回 祇園祭 お囃子体験教室	(8日/館外)
7月10日	企画展「平安博物館回顧展ー古代学協会と角田文衛の仕事ー」開催	(～9月9日/3階)
7月14日	京都学・歴史館 展覧会「井田照一展」開催	(～9月9日/歴史館)
7月14日	祇園祭ミュージアムコンサート	(14日、15日/AH)
7月16日	同志社女子大学音楽専攻科による宵山ミュージアムコンサート	(16日/AH)
7月16日	第28回宵山に箏曲を聴く夕べ	(16日/AH)
7月16日	祇園祭記念特別上映「祇園祭」	(16日、17日、24日/FT)
7月17日	～ブンパクに響く和の歌ひえ～ 京都市立芸術大学ゆかりの音楽家によるハートフル・スペシャルコンサート	(17日/AH)
8月 2日	第24回京都国際子ども映画祭	(～5日/FT)
8月 7日	『COOL MUSIC SPOT in 京都文化博物館 2017』	(～23日うち10日間/AH)
8月11日	総合展示「祇園祭ー油天神山の名宝ー」	(～10月22日/2階)
8月20日	博物館実習	(～24日/館内)
8月24日	第13回映画の復元と保存に関するワークショップ	(～26日/FT)
8月31日	日本本映像学会関西支部 第40回夏期映画ゼミナール 宮川一夫 生誕百年記念特集 京都・世界の宮川一夫	(～9月2日/FT)
9月 2日	ぶんぱく京都講座「後藤勘兵衛家の軌跡」	(2日/AL)
9月 4日	常設上映「生誕110年記念 映画撮影監督 宮川一夫の世界」	(～10月21日/FT)
9月 9日	総合展示「近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝8」	(～11月4日/2階)
9月15日	総合展示「桂」	(～11月4日/2階)

9月17日	第35回山中貞雄を偲ぶ会 関連上映	(17日/FT)
9月22日	京都アートフリーマーケット2018秋	(~24日/AH他)
10月 2日	「華ひらく 皇室文化 明治150年記念 明治宮廷を彩る技と美」開催	(~11月25日/3・4階)
10月 6日	京都文化博物館開館30周年記念 150年記念 古典芸能 3 DAYS in Bunpaku 第1回 講談の会	(6日/6階)
10月 7日	京都文化博物館開館30周年記念 150年記念 古典芸能 3 DAYS in Bunpaku 第2回 落語会	(7日/6階)
10月 8日	京都文化博物館開館30周年記念 150年記念 古典芸能 3 DAYS in Bunpaku 第3回 日本舞踊への誘い	(8日/6階)
10月22日	常設上映「京都映画三巨匠生誕120年記念 内田吐夢・溝口健二・伊藤大輔」	(~11月25日/FT)
10月26日	第10回京都ヒストリカ国際映画祭	(~11月4日/FT)
10月27日	第11回京都フィルムメーカーズラボ (Kyoto Filmmakers Lab 2018)	(~11月3日/FT他)
10月27日	総合展示「祇園祭—八幡山の名宝—」	(~1月14日/2階)
11月10日	総合展示「京都文化プロジェクト・明治150年記念 伝統と創生—無形文化財保持者たちの作品展—」	(~12月24日/2階)
11月23日	ぶんぱく子ども教室 第2回 工芸美術倉工会展関連ワークショップ 「ベネチアンガラスでペンダントorストラップを作ろう！」	(23日/AL)
11月23日	ぶんぱく子ども教室 第2回 工芸美術倉工会展関連ワークショップ 「マイ漆皿を作ろう！」	(23日/AL)
11月25日	ぶんぱく子ども教室 第2回 工芸美術倉工会展関連ワークショップ 「金銀色の鮮やかな模様のトートバッグを作ろう！」	(25日/AL)
11月27日	第21回京都国際学生映画祭	(~12月2日/FT)
12月 4日	常設上映「【明治150年京都創生】京都文化博物館30周年記念事業 映画でみる明治」	(~27日/FT)
12月 9日	<デジタルリマスター人材育成事業>「京都フィルムリマスターズインキュベータ」	(~11日/FT・AL)
12月15日	京都学・歴史館 展覧会「村田陶苑展」開催	(~3月10日/歴史館)
12月22日	溝口健二生誕120年記念シンポジウム『近松物語』における伝統と革新	(22日/FT)
12月23日	開館30周年記念「片岡秀太郎の歌舞伎ばなし」併催女形-片岡秀太郎 堀出恒夫写真展	(23日/6階)
2019年		
1月 4日	常設上映「京の匠を記録する—伝統産業記録映画特集」	(~10日/FT)
1月 5日	総合展示「小牧源太郎展」	(~3月3日/2階)
1月 5日	総合展示「古社寺保存法の時代」	(~3月3日/2階)
1月11日	常設上映「食べてる映画—映画での食の役割」	(~31日/FT)
1月19日	「Kyoto Art for Tomorrow 2019—京都府新鋭選抜展—」開催	(~2月3日/3階・AH)
1月19日	総合展示「祇園祭—郭巨山の名宝—」	(~3月31日/2階)
2月 1日	常設上映「【没後30年記念特集】作曲家・芥川也寸志の映画音楽世界」	(~28日/FT)
2月 2日	ぶんぱく京都講座「日本の宝を守る—近代社会と文化財保護—」	(2日/AL)
2月10日	ぶんぱく京都講座「小牧源太郎とその時代」	(10日/AL)
2月13日	文化庁ndjc：若手映画作家育成プロジェクト 2018年度 合評上映会	(13日/FT)
2月22日	日本映画テレビ技術協会京都支部 受賞作品を見る会	(22日/FT)
2月23日	「北野天満宮 信仰と名宝 —天神さんの源流—」開催	(~4月14日/3・4階)
3月 1日	常設上映「【明治150年京都創生】幕末から明治へ 映画にみる創生の明治への道」	(~31日/FT)
3月 9日	総合展示「京都府内の学校所蔵 考古・歴史資料展 2」	(~4月21日/2階)
3月15日	京都アートフリーマーケット2019春	(~18日/AH他)
3月16日	京都府内の学校所蔵 考古・歴史資料展関連上映	(16日/FT)
3月23日	ぶんぱく子ども教室 第3回 館内ぐるぐる探検ツアー	(23日/館内)

京都文化博物館 2018(平成30)年度年報

発行日 2019年10月31日
編集・発行 京都府京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL：075-222-0888
FAX：075-222-0889
印刷 株式会社吉川印刷工業所